北海道

再生可能エネルギー供給状況

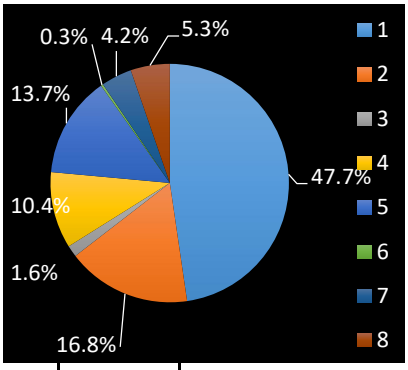
2022年3月末の設備状況をもとに2021年度について推計しました。

主たる再エネ種　供給比率20%以上：◎　同10%以上○

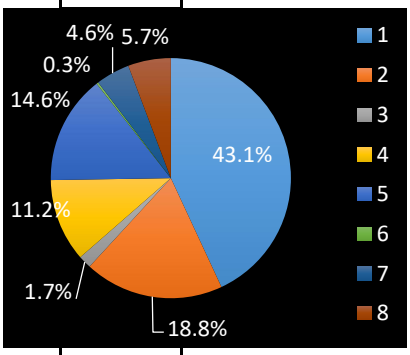
PJ(ペタジュール)＝10^{15}J

	エネルギー種	年間供給量	供給量ランク	再エネ自給率ランク	供給密度ランク	供給比率
◎	1 太陽光発電	29PJ	13	37	45	47.7%
○	2 風力発電	10PJ	3	13	25	16.8%
	3 地熱発電	1PJ	5	6	7	1.6%
○	4 小水力発電	6PJ	7	28	40	10.4%
○	5 バイオマス発電	8PJ	3	19	45	13.7%
	6 太陽熱利用	0PJ	40	47	47	0.3%
	7 地熱利用	3PJ	2	11	28	4.2%
	8.バイオマス熱利用	3PJ	2	24	42	5.3%
	合計（供給量）	60PJ	2			
	再生可能エネルギー自給率			15.5%	再エネ自給率ランク	36
	食料自給率			212.4%	食料自給率ランク	1
	供給密度(TJ/km^2)			0.772	供給密度ランク	47
	民生・農林水産用エネルギー需要（再エネ熱含む）			391PJ		
	区域面積			78,358km2		

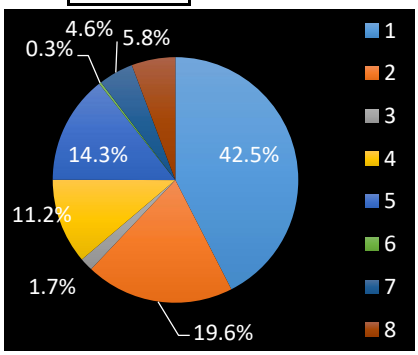
2021年度　60PJ　対前年度比　108.5%



2020年度　56PJ　対前年度比　100.6%



2019年度　55PJ



※　円グラフの数字は、12時の位置から時計回りにエネルギー種の番号に対応します。

再生可能エネルギー自給率・供給密度・食料自給率市区町村別top10

再生可能エネルギー自給率			再生可能エネルギー供給密度			食料自給率		
順位	市区町村	自給率	順位	市区町村	供給密度	順位	市区町村	自給率
☆1	寿都郡寿都町	381.0%	1	江別市	9.9	☆1	河西郡更別村	6880.8%
☆2	勇払郡安平町	321.0%	2	寿都郡寿都町	9.3	☆2	斜里郡小清水町	6495.5%
☆3	有珠郡壮瞥町	245.9%	3	勇払郡安平町	8.5	☆3	斜里郡清里町	5329.8%
☆4	久遠郡せたな町	231.5%	4	室蘭市	6.2	☆4	河東郡士幌町	4533.0%
☆5	檜山郡上ノ国町	223.0%	5	苫小牧市	6.1	☆5	網走郡大空町	4417.8%
☆6	松前郡松前町	212.6%	6	釧路郡釧路町	6.0	☆6	中川郡豊頃町	3723.5%
☆7	磯谷郡蘭越町	192.2%	7	小樽市	4.1	☆7	河西郡中札内村	3421.3%
☆8	白糠郡白糠町	159.6%	8	虻田郡ニセコ町	4.0	☆8	十勝郡浦幌町	3372.2%
☆9	虻田郡ニセコ町	150.4%	9	上川郡東神楽町	3.8	☆9	河東郡鹿追町	2882.3%
☆10	紋別市	148.6%	10	稚内市	3.6	☆10	石狩郡新篠津村	2753.3%

※　再生可能エネルギー自給率とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の民生・農林水産用エネルギー需要で割った値です。

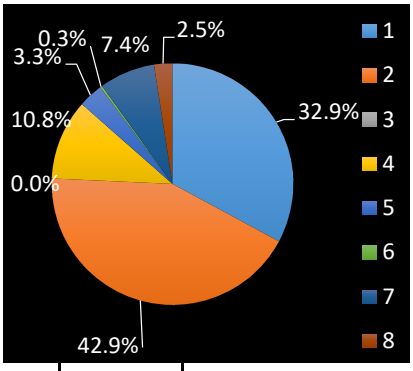
※　再生可能エネルギー供給密度とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の面積で割った値です。

※　食料自給率は、農林水産省が公表している地域食料自給率ソフトを用いてカロリーベースで計算しています。

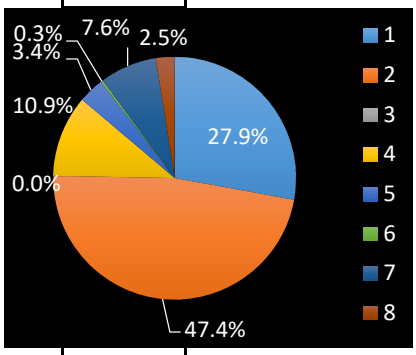
※　自給率が100%を超えている場合には順位に☆がつきます。

青森県

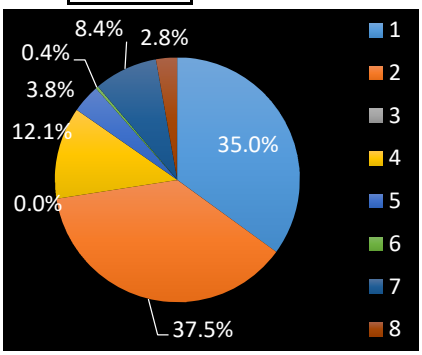
2021年度　29PJ　対前年度比　101.4%



2020年度　28PJ　対前年度比　111.2%



2019年度　25PJ



※ 円グラフの数字は、12時の位置から時計回りにエネルギー種の番号に対応します。

再生可能エネルギー供給状況

2022年3月末の設備状況をもとに2021年度について推計しました。

主たる再生エネ種　供給比率20%以上：◎　同10%以上○

PJ(ペタジュール)＝10^{15}J

	エネルギー種	年間供給量	供給量ランク	再エネ自給率ランク	供給密度ランク	供給比率
◎	1 太陽光発電	9PJ	33	33	38	32.9%
◎	2 風力発電	12PJ	2	2	1	42.9%
	3 地熱発電	0PJ	13	13	13	0.0%
○	4 小水力発電	3PJ	18	21	25	10.8%
	5 バイオマス発電	1PJ	39	41	46	3.3%
	6 太陽熱利用	0PJ	45	46	44	0.3%
	7 地熱利用	2PJ	3	2	2	7.4%
	8.バイオマス熱利用	1PJ	33	25	34	2.5%
	合計（供給量）	29PJ	23			
	再生可能エネルギー自給率			31.1%	再エネ自給率ランク	18
	食料自給率			111.7%	食料自給率ランク	4
	供給密度(TJ/km^2)			2.974	供給密度ランク	36
	民生・農林水産用エネルギー需要（再エネ熱含む）			92PJ		
	区域面積			9,646km2		

再生可能エネルギー自給率・供給密度・食料自給率市区町村別top10

再生可能エネルギー自給率			再生可能エネルギー供給密度			食料自給率		
順位	市区町村	自給率	順位	市区町村	供給密度	順位	市区町村	自給率
☆1	下北郡東通村	468.1%	1	つがる市	10.3	☆1	東津軽郡蓬田村	673.7%
☆2	上北郡六ケ所村	367.7%	2	三沢市	5.6	☆2	つがる市	621.9%
☆3	上北郡横浜町	251.6%	3	八戸市	5.4	☆3	北津軽郡中泊町	506.2%
☆4	三戸郡新郷村	237.9%	4	西津軽郡深浦町	3.1	☆4	東津軽郡平内町	354.8%
☆5	西津軽郡深浦町	225.1%	5	五所川原市	3.1	☆5	北津軽郡鶴田町	353.3%
☆6	上北郡七戸町	214.0%	6	平川市	3.0	☆6	北津軽郡板柳町	322.5%
☆7	下北郡大間町	143.7%	7	南津軽郡田舎館村	3.0	☆7	西津軽郡鰺ケ沢町	291.5%
☆8	つがる市	124.8%	8	青森市	2.7	☆8	三戸郡新郷村	290.3%
9	上北郡六戸町	99.9%	9	南津軽郡藤崎町	2.1	☆9	南津軽郡田舎館村	287.0%
10	上北郡野辺地町	99.1%	10	十和田市	1.7	☆10	南津軽郡藤崎町	250.6%

※ 再生可能エネルギー自給率とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の民生・農林水産用エネルギー需要で割った値です。

※ 再生可能エネルギー供給密度とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の面積で割った値です。

※ 食料自給率は、農林水産省が公表している地域食料自給率ソフトを用いてカロリーベースで計算しています。

※ 自給率が100%を超えている場合には順位に☆がつきます。

岩手県

再生可能エネルギー供給状況

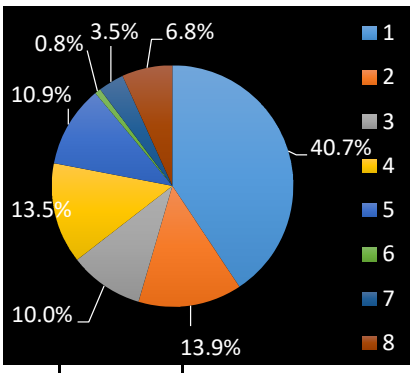
2022年3月末の設備状況をもとに2021年度について推計しました。

主たる再生エネ種　供給比率20%以上：◎　同10%以上○

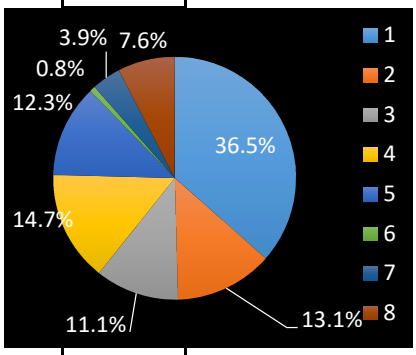
PJ(ペタジュール)＝10^{15}J

	エネルギー種	年間供給量	供給量ランク	再エネ自給率ランク	供給密度ランク	供給比率
◎	1 太陽光発電	11PJ	28	26	41	40.7%
○	2 風力発電	4PJ	5	5	16	13.9%
	3 地熱発電	3PJ	3	3	4	10.0%
○	4 小水力発電	4PJ	11	13	29	13.5%
○	5 バイオマス発電	3PJ	15	5	34	10.9%
	6 太陽熱利用	0PJ	38	35	43	0.8%
	7 地熱利用	1PJ	9	5	18	3.5%
	8.バイオマス熱利用	2PJ	7	3	27	6.8%
	合計（供給量）	28PJ	24			
	再生可能エネルギー自給率			37.0%	再エネ自給率ランク	14
	食料自給率			97.4%	食料自給率ランク	6
	供給密度(TJ/km^2)			1.851	供給密度ランク	43
	民生・農林水産用エネルギー需要（再エネ熱含む）			76PJ		
	区域面積			15,275km2		

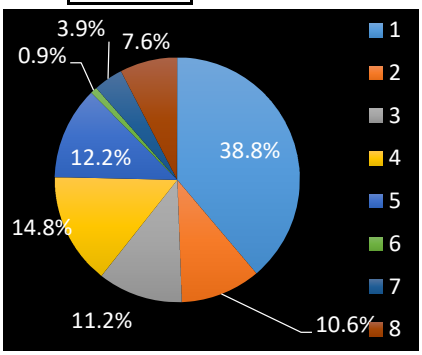
2021年度　28PJ　対前年度比　112.0%



2020年度　25PJ　対前年度比　100.3%



2019年度　25PJ



※　円グラフの数字は、12時の位置から時計回りにエネルギー種の番号に対応します。

再生可能エネルギー自給率・供給密度・食料自給率市区町村別top10

再生可能エネルギー自給率			再生可能エネルギー供給密度			食料自給率		
順位	市区町村	自給率	順位	市区町村	供給密度	順位	市区町村	自給率
☆1	岩手郡葛巻町	506.8%	1	九戸郡野田村	10.7	☆1	胆沢郡金ケ崎町	306.7%
☆2	九戸郡野田村	434.6%	2	紫波郡矢巾町	6.6	☆2	岩手郡雫石町	273.8%
☆3	九戸郡軽米町	280.7%	3	九戸郡軽米町	6.1	☆3	和賀郡西和賀町	270.2%
☆4	二戸郡一戸町	215.4%	4	二戸郡一戸町	5.1	☆4	八幡平市	228.9%
☆5	岩手郡雫石町	188.7%	5	岩手郡雫石町	4.6	☆5	下閉伊郡普代村	202.3%
☆6	八幡平市	141.7%	6	岩手郡葛巻町	4.2	☆6	岩手郡葛巻町	200.4%
☆7	九戸郡洋野町	110.4%	7	胆沢郡金ケ崎町	3.2	☆7	奥州市	186.1%
8	下閉伊郡岩泉町	98.3%	8	滝沢市	3.1	☆8	紫波郡紫波町	181.2%
9	上閉伊郡大槌町	82.2%	9	九戸郡洋野町	3.0	☆9	西磐井郡平泉町	180.7%
10	遠野市	72.4%	10	北上市	2.7	☆10	二戸郡一戸町	169.1%

※　再生可能エネルギー自給率とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の民生・農林水産用エネルギー需要で割った値です。

※　再生可能エネルギー供給密度とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の面積で割った値です。

※　食料自給率は、農林水産省が公表している地域食料自給率ソフトを用いてカロリーベースで計算しています。

※　自給率が100%を超えている場合には順位に☆がつきます。

宮城県

再生可能エネルギー供給状況

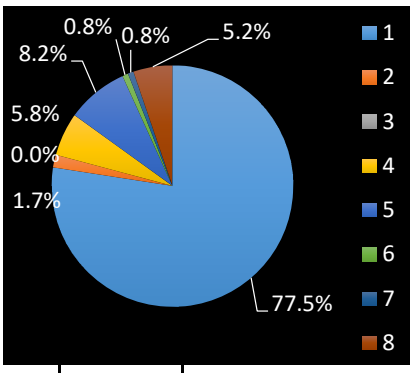
2022年3月末の設備状況をもとに2021年度について推計しました。

主たる再生エネ種　供給比率20%以上：◎　同10%以上〇

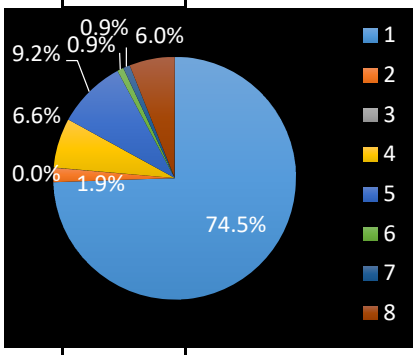
PJ(ペタジュール)＝10^{15}J

	エネルギー種	年間供給量	供給量ランク	再エネ自給率ランク	供給密度ランク	供給比率
◎	1 太陽光発電	26PJ	15	14	17	77.5%
	2 風力発電	1PJ	27	25	29	1.7%
	3 地熱発電	0PJ	11	12	11	0.0%
	4 小水力発電	2PJ	26	27	28	5.8%
	5 バイオマス発電	3PJ	17	16	16	8.2%
	6 太陽熱利用	0PJ	36	38	37	0.8%
	7 地熱利用	0PJ	25	26	26	0.8%
	8.バイオマス熱利用	2PJ	8	14	13	5.2%
	合計（供給量）	34PJ	19			
	再生可能エネルギー自給率			27.8%	再エネ自給率ランク	23
	食料自給率			66.8%	食料自給率ランク	12
	供給密度(TJ/km^2)			4.611	供給密度ランク	20
	民生・農林水産用エネルギー需要（再エネ熱含む）			121PJ		
	区域面積			7,282km2		

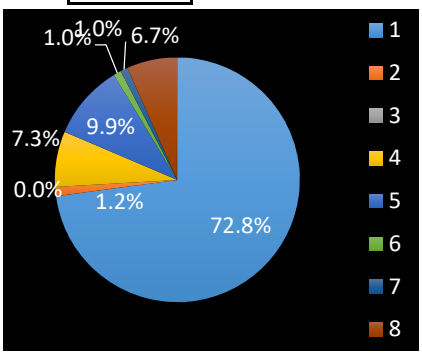
2021年度　34PJ　対前年度比　115.1%



2020年度　29PJ　対前年度比　110.4%



2019年度　26PJ



※　円グラフの数字は、12時の位置から時計回りにエネルギー種の番号に対応します。

再生可能エネルギー自給率・供給密度・食料自給率市区町村別top10

再生可能エネルギー自給率			再生可能エネルギー供給密度			食料自給率		
順位	市区町村	自給率	順位	市区町村	供給密度	順位	市区町村	自給率
☆1	刈田郡七ケ宿町	471.6%	1	宮城郡松島町	14.9	☆1	加美郡色麻町	466.6%
☆2	黒川郡大郷町	370.1%	2	黒川郡大郷町	14.6	☆2	栗原市	294.7%
☆3	伊具郡丸森町	205.5%	3	塩竈市	14.2	☆3	登米市	294.3%
☆4	柴田郡川崎町	144.4%	4	亘理郡亘理町	13.3	☆4	遠田郡美里町	290.7%
☆5	宮城郡松島町	130.4%	5	岩沼市	11.5	☆5	黒川郡大郷町	278.7%
☆6	刈田郡蔵王町	129.1%	6	多賀城市	10.9	☆6	加美郡加美町	275.9%
☆7	黒川郡大和町	122.8%	7	石巻市	8.1	☆7	遠田郡涌谷町	260.7%
☆8	白石市	100.0%	8	仙台市	7.7	☆8	牡鹿郡女川町	252.7%
9	亘理郡亘理町	87.2%	9	黒川郡大和町	7.6	☆9	刈田郡七ケ宿町	216.9%
10	亘理郡山元町	87.1%	10	名取市	7.3	☆10	黒川郡大衡村	194.8%

※　再生可能エネルギー自給率とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の民生・農林水産用エネルギー需要で割った値です。

※　再生可能エネルギー供給密度とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の面積で割った値です。
※　食料自給率は、農林水産省が公表している地域食料自給率ソフトを用いてカロリーベースで計算しています。

※　自給率が100%を超えている場合には順位に☆がつきます。

秋田県

再生可能エネルギー供給状況

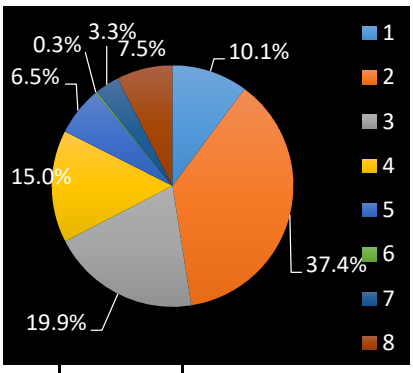
2022年3月末の設備状況をもとに2021年度について推計しました。

主たる再生エネ種　供給比率20%以上：◎　同10%以上○

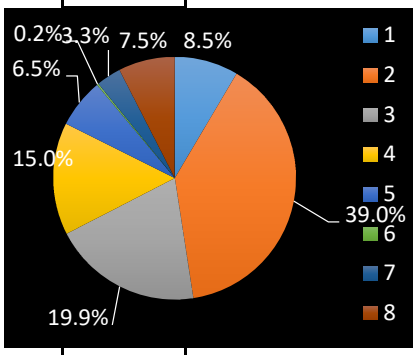
PJ(ペタジュール)＝10^{15}J

	エネルギー種	年間供給量	供給量ランク	再エネ自給率ランク	供給密度ランク	供給比率
○	1 太陽光発電	4PJ	45	42	47	10.1%
◎	2 風力発電	13PJ	1	1	2	37.4%
○	3 地熱発電	7PJ	2	2	2	19.9%
○	4 小水力発電	5PJ	9	3	16	15.0%
	5 バイオマス発電	2PJ	19	10	36	6.5%
	6 太陽熱利用	0PJ	46	42	46	0.3%
	7 地熱利用	1PJ	6	3	9	3.3%
	8.バイオマス熱利用	3PJ	4	1	15	7.5%
	合計（供給量）	35PJ	17			
	再生可能エネルギー自給率			53.6%	再エネ自給率ランク	1
	食料自給率			188.3%	食料自給率ランク	2
	供給密度(TJ/km^2)			2.977	供給密度ランク	34
	民生・農林水産用エネルギー需要（再エネ熱含む）			65PJ		
	区域面積			11,616km2		

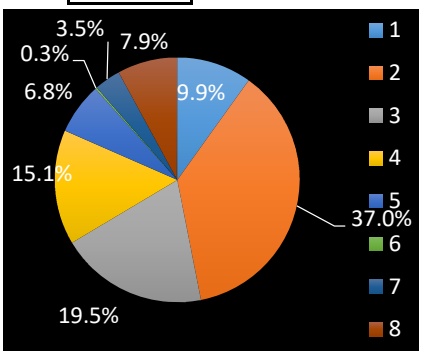
2021年度　35PJ　対前年度比　100.0%



2020年度　35PJ　対前年度比　105.5%



2019年度　33PJ



※　円グラフの数字は、12時の位置から時計回りにエネルギー種の番号に対応します。

再生可能エネルギー自給率・供給密度・食料自給率市区町村別top10

再生可能エネルギー自給率			再生可能エネルギー供給密度			食料自給率		
順位	市区町村	自給率	順位	市区町村	供給密度	順位	市区町村	自給率
☆1	鹿角市	249.4%	1	潟上市	29.0	☆1	南秋田郡大潟村	6945.5%
☆2	にかほ市	192.8%	2	にかほ市	9.6	☆2	仙北郡美郷町	504.8%
☆3	潟上市	183.1%	3	男鹿市	8.4	☆3	山本郡三種町	477.1%
☆4	湯沢市	169.1%	4	鹿角市	6.5	☆4	南秋田郡井川町	387.9%
☆5	雄勝郡東成瀬村	156.3%	5	湯沢市	5.6	☆5	山本郡八峰町	366.4%
☆6	山本郡三種町	148.0%	6	秋田市	5.2	☆6	大仙市	338.0%
☆7	山本郡八峰町	145.4%	7	山本郡三種町	4.9	☆7	雄勝郡羽後町	323.4%
☆8	由利本荘市	106.4%	8	能代市	4.4	☆8	横手市	287.3%
9	男鹿市	96.9%	9	由利本荘市	3.9	☆9	北秋田郡上小阿仁村	278.0%
10	仙北市	76.7%	10	山本郡八峰町	2.5	☆10	山本郡藤里町	267.9%

※　再生可能エネルギー自給率とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の民生・農林水産用エネルギー需要で割った値です。

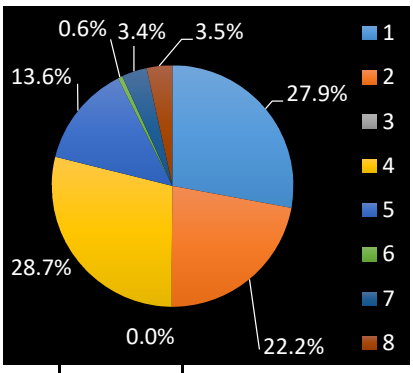
※　再生可能エネルギー供給密度とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の面積で割った値です。

※　食料自給率は、農林水産省が公表している地域食料自給率ソフトを用いてカロリーベースで計算しています。

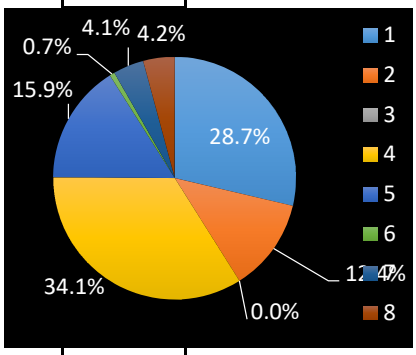
※　自給率が100%を超えている場合には順位に☆がつきます。

山形県

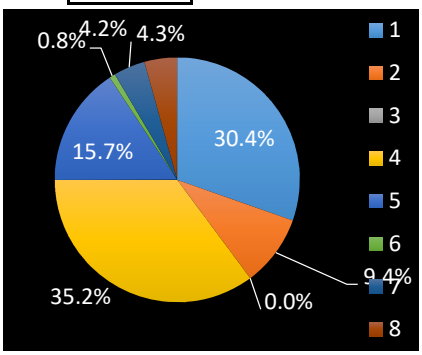
2021年度　12PJ　対前年度比　120.4%



2020年度　10PJ　対前年度比　103.1%



2019年度　10PJ



※ 円グラフの数字は、12時の位置から時計回りにエネルギー種の番号に対応します。

再生可能エネルギー供給状況

2022年3月末の設備状況をもとに2021年度について推計しました。

主たる再生エネ種　供給比率20%以上：◎　同10%以上○

PJ(ペタジュール)＝10^{15}J

	エネルギー種	年間供給量	供給量ランク	再エネ自給率ランク	供給密度ランク	供給比率
◎	1 太陽光発電	3PJ	46	40	46	27.9%
◎	2 風力発電	3PJ	11	7	13	22.2%
	3 地熱発電	0PJ	13	13	13	0.0%
◎	4 小水力発電	3PJ	13	12	22	28.7%
○	5 バイオマス発電	2PJ	30	13	38	13.6%
	6 太陽熱利用	0PJ	47	44	45	0.6%
	7 地熱利用	0PJ	17	10	24	3.4%
	8.バイオマス熱利用	0PJ	38	30	41	3.5%
	合計（供給量）	12PJ	42			
	再生可能エネルギー自給率			20.1%	再エネ自給率ランク	31
	食料自給率			136.8%	食料自給率ランク	3
	供給密度(TJ/km^2)			1.286	供給密度ランク	46
	民生・農林水産用エネルギー需要（再エネ熱含む）			60PJ		
	区域面積			9,323km2		

再生可能エネルギー自給率・供給密度・食料自給率市区町村別top10

再生可能エネルギー自給率			再生可能エネルギー供給密度			食料自給率		
順位	市区町村	自給率	順位	市区町村	供給密度	順位	市区町村	自給率
☆1	西村山郡西川町	220.8%	1	飽海郡遊佐町	4.8	☆1	最上郡鮭川村	595.2%
☆2	飽海郡遊佐町	164.3%	2	酒田市	3.8	☆2	東田川郡三川町	493.9%
☆3	最上郡大蔵村	134.4%	3	東田川郡庄内町	3.4	☆3	東田川郡庄内町	468.1%
☆4	西村山郡朝日町	129.2%	4	新庄市	2.4	☆4	東置賜郡川西町	459.9%
5	東田川郡庄内町	96.7%	5	山形市	2.2	☆5	西置賜郡飯豊町	424.2%
6	酒田市	38.6%	6	天童市	1.8	☆6	最上郡戸沢村	421.0%
7	最上郡最上町	37.4%	7	西村山郡朝日町	1.8	☆7	最上郡金山町	417.4%
8	東置賜郡川西町	33.5%	8	米沢市	1.7	☆8	尾花沢市	397.5%
9	鶴岡市	31.9%	9	鶴岡市	1.6	☆9	最上郡大蔵村	366.3%
10	最上郡真室川町	29.3%	10	東置賜郡川西町	1.5	☆10	飽海郡遊佐町	355.6%

※ 再生可能エネルギー自給率とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の民生・農林水産用エネルギー需要で割った値です。

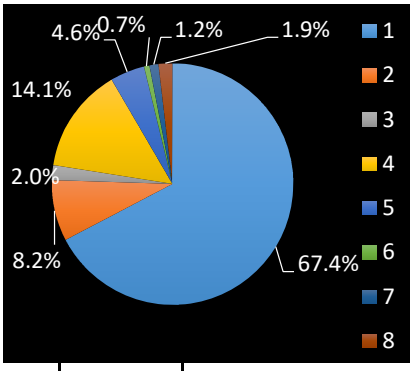
※ 再生可能エネルギー供給密度とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の面積で割った値です。

※ 食料自給率は、農林水産省が公表している地域食料自給率ソフトを用いてカロリーベースで計算しています。

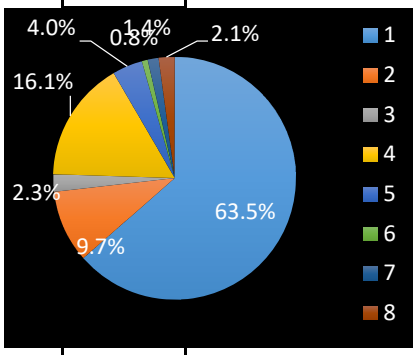
※ 自給率が100%を超えている場合には順位に☆がつきます。

福島県

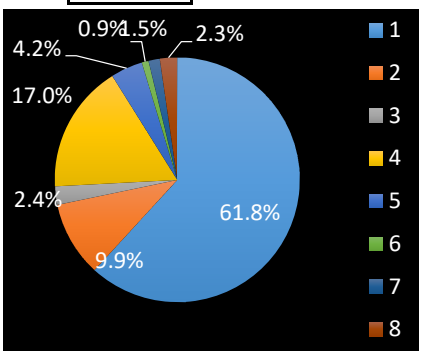
2021年度　45PJ　対前年度比　114.9%



2020年度　39PJ　対前年度比　106.2%



2019年度　37PJ



※ 円グラフの数字は、12時の位置から時計回りにエネルギー種の番号に対応します。

再生可能エネルギー供給状況

2022年3月末の設備状況をもとに2021年度について推計しました。

主たる再生エネ種　供給比率20%以上：◎　同10%以上○

PJ(ペタジュール)＝10^{15}J

	エネルギー種	年間供給量	供給量ランク	再エネ自給率ランク	供給密度ランク	供給比率
◎	1 太陽光発電	30PJ	11	8	28	67.4%
	2 風力発電	4PJ	7	11	15	8.2%
	3 地熱発電	1PJ	6	5	5	2.0%
○	4 小水力発電	6PJ	6	11	15	14.1%
	5 バイオマス発電	2PJ	23	23	42	4.6%
	6 太陽熱利用	0PJ	34	34	40	0.7%
	7 地熱利用	1PJ	13	16	25	1.2%
	8.バイオマス熱利用	1PJ	25	26	37	1.9%
	合計（供給量）	45PJ	9			
	再生可能エネルギー自給率			41.5%	再エネ自給率ランク	7
	食料自給率			69.8%	食料自給率ランク	10
	供給密度(TJ/km^2)			3.255	供給密度ランク	31
	民生・農林水産用エネルギー需要（再エネ熱含む）			108PJ		
	区域面積			13,784km2		

再生可能エネルギー自給率・供給密度・食料自給率市区町村別top10

再生可能エネルギー自給率			再生可能エネルギー供給密度			食料自給率		
順位	市区町村	自給率	順位	市区町村	供給密度	順位	市区町村	自給率
☆1	双葉郡川内村	567.8%	1	西白河郡矢吹町	17.8	☆1	河沼郡湯川村	587.2%
☆2	河沼郡柳津町	505.1%	2	双葉郡富岡町	16.6	☆2	河沼郡会津坂下町	339.8%
☆3	双葉郡楢葉町	346.4%	3	白河市	11.1	☆3	大沼郡会津美里町	305.8%
☆4	南会津郡下郷町	322.2%	4	南相馬市	9.7	☆4	耶麻郡猪苗代町	302.8%
☆5	田村郡小野町	200.7%	5	本宮市	9.2	☆5	岩瀬郡天栄村	270.9%
☆6	田村市	165.5%	6	岩瀬郡鏡石町	9.0	☆6	大沼郡昭和村	249.4%
☆7	石川郡石川町	120.8%	7	石川郡石川町	7.9	☆7	喜多方市	237.2%
☆8	西白河郡矢吹町	118.9%	8	相馬市	7.7	☆8	耶麻郡磐梯町	227.3%
☆9	南相馬市	118.3%	9	田村郡小野町	7.3	☆9	西白河郡泉崎村	220.8%
10	白河市	97.3%	10	西白河郡西郷村	5.9	☆10	西白河郡中島村	208.5%

※ 再生可能エネルギー自給率とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の民生・農林水産用エネルギー需要で割った値です。

※ 再生可能エネルギー供給密度とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の面積で割った値です。

※ 食料自給率は、農林水産省が公表している地域食料自給率ソフトを用いてカロリーベースで計算しています。

※ 2011年3月の東京電力福島第一原発事故による避難指示区域となり、避難のために世帯数が事故前の3分の1以下になっている7つの町村(富岡町、大熊町、双葉町、浪江町、葛尾村、飯舘村、楢葉町)は、エネルギー自給率・食料自給率推計の対象外としています。なお、これらの町村の再生可能エネルギー供給量推計は実施し、県全体の供給量に加えるとともに、供給密度推計を行っています。

※ 自給率が100%を超えている場合には順位に☆がつきます。

茨城県

再生可能エネルギー供給状況

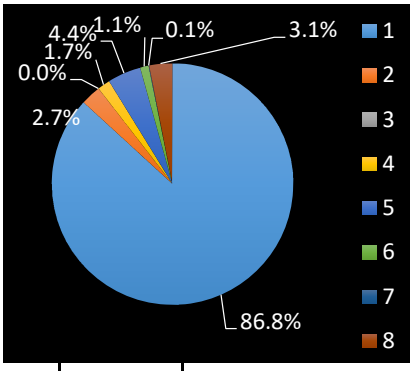
2022年3月末の設備状況をもとに2021年度について推計しました。

主たる再生エネ種　供給比率20%以上：◎　同10%以上○

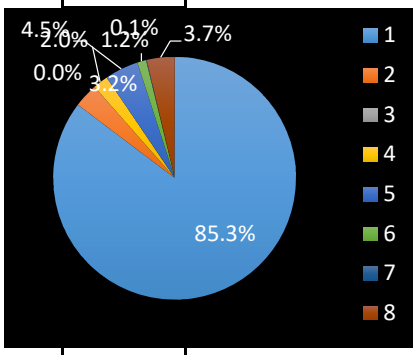
PJ(ペタジュール)＝10^{15}J

	エネルギー種	年間供給量	供給量ランク	再エネ自給率ランク	供給密度ランク	供給比率
◎	1 太陽光発電	59PJ	1	2	1	86.8%
	2 風力発電	2PJ	15	21	12	2.7%
	3 地熱発電	0PJ	13	13	13	0.0%
	4 小水力発電	1PJ	33	35	35	1.7%
	5 バイオマス発電	3PJ	16	25	12	4.4%
	6 太陽熱利用	1PJ	20	29	17	1.1%
	7 地熱利用	0PJ	35	38	38	0.1%
	8.バイオマス熱利用	2PJ	5	15	8	3.1%
	合計（供給量）	68PJ	1			
	再生可能エネルギー自給率			40.5%	再エネ自給率ランク	9
	食料自給率			66.8%	食料自給率ランク	11
	供給密度(TJ/km^2)			11.138	供給密度ランク	3
	民生・農林水産用エネルギー需要（再エネ熱含む）			168PJ		
	区域面積			6,097km2		

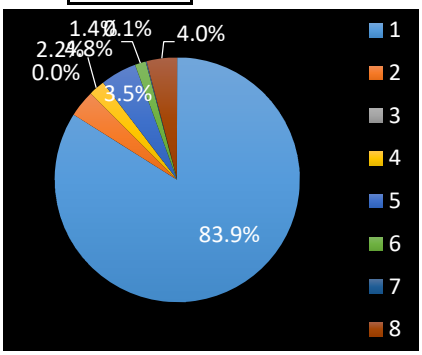
2021年度　68PJ　対前年度比　117.7%



2020年度　58PJ　対前年度比　109.4%



2019年度　53PJ



※　円グラフの数字は、12時の位置から時計回りにエネルギー種の番号に対応します。

再生可能エネルギー自給率・供給密度・食料自給率市区町村別top10

再生可能エネルギー自給率			再生可能エネルギー供給密度			食料自給率		
順位	市区町村	自給率	順位	市区町村	供給密度	順位	市区町村	自給率
☆1	行方市	139.0%	1	神栖市	37.0	☆1	稲敷郡河内町	462.5%
☆2	久慈郡大子町	126.7%	2	牛久市	21.8	☆2	鉾田市	384.8%
☆3	稲敷市	121.6%	3	水戸市	19.6	☆3	行方市	355.3%
☆4	北茨城市	113.9%	4	鹿嶋市	15.9	☆4	稲敷市	283.5%
☆5	桜川市	104.4%	5	つくばみらい市	15.6	☆5	結城郡八千代町	218.0%
6	常陸大宮市	97.0%	6	那珂市	15.5	☆6	北茨城市	190.1%
7	神栖市	93.2%	7	つくば市	15.4	☆7	東茨城郡茨城町	163.2%
8	高萩市	86.7%	8	ひたちなか市	15.1	☆8	神栖市	146.0%
9	鉾田市	84.6%	9	土浦市	15.1	☆9	猿島郡五霞町	128.3%
10	東茨城郡城里町	81.2%	10	稲敷郡阿見町	15.0	☆10	筑西市	118.9%

※　再生可能エネルギー自給率とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の民生・農林水産用エネルギー需要で割った値です。

※　再生可能エネルギー供給密度とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の面積で割った値です。

※　食料自給率は、農林水産省が公表している地域食料自給率ソフトを用いてカロリーベースで計算しています。

※　自給率が100%を超えている場合には順位に☆がつきます。

栃木県

再生可能エネルギー供給状況

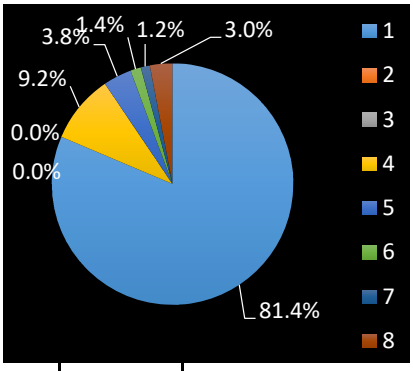
2022年3月末の設備状況をもとに2021年度について推計しました。

主たる再生エネ種　供給比率20%以上：◎　同10%以上○

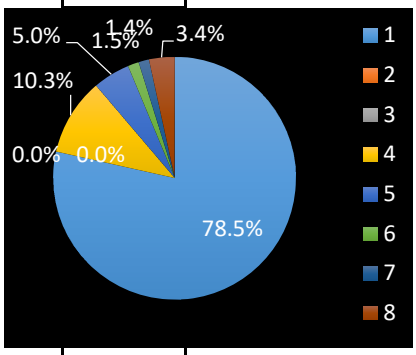
PJ(ペタジュール)＝10^{15}J

	エネルギー種	年間供給量	供給量ランク	再エネ自給率ランク	供給密度ランク	供給比率
◎	1 太陽光発電	34PJ	8	6	10	81.4%
	2 風力発電	0PJ	42	42	42	0.0%
	3 地熱発電	0PJ	13	13	13	0.0%
	4 小水力発電	4PJ	12	18	12	9.2%
	5 バイオマス発電	2PJ	32	32	30	3.8%
	6 太陽熱利用	1PJ	26	25	27	1.4%
	7 地熱利用	1PJ	14	19	14	1.2%
	8.バイオマス熱利用	1PJ	15	18	17	3.0%
	合計（供給量）	42PJ	11			
	再生可能エネルギー自給率			38.7%	再エネ自給率ランク	10
	食料自給率			64.9%	食料自給率ランク	13
	供給密度(TJ/km^2)			6.491	供給密度ランク	12
	民生・農林水産用エネルギー需要（再エネ熱含む）			107PJ		
	区域面積			6,408km2		

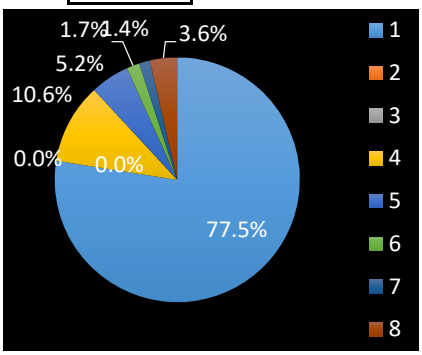
2021年度　42PJ　対前年度比　112.0%



2020年度　37PJ　対前年度比　105.8%



2019年度　35PJ



※　円グラフの数字は、12時の位置から時計回りにエネルギー種の番号に対応します。

再生可能エネルギー自給率・供給密度・食料自給率市区町村別top10

再生可能エネルギー自給率			再生可能エネルギー供給密度			食料自給率		
順位	市区町村	自給率	順位	市区町村	供給密度	順位	市区町村	自給率
☆1	那須烏山市	205.4%	1	下都賀郡壬生町	15.8	☆1	芳賀郡芳賀町	287.3%
☆2	塩谷郡塩谷町	190.5%	2	那須烏山市	14.0	☆2	塩谷郡塩谷町	266.2%
☆3	那須郡那珂川町	152.2%	3	足利市	12.4	☆3	那須郡那須町	221.1%
4	日光市	91.3%	4	佐野市	10.7	☆4	大田原市	193.9%
5	那須郡那須町	86.8%	5	下都賀郡野木町	10.2	☆5	塩谷郡高根沢町	166.7%
6	矢板市	83.1%	6	下野市	9.8	☆6	芳賀郡市貝町	166.6%
7	芳賀郡市貝町	79.1%	7	宇都宮市	9.6	☆7	さくら市	152.4%
8	芳賀郡益子町	70.4%	8	小山市	9.5	☆8	那須郡那珂川町	148.7%
9	那須塩原市	66.2%	9	栃木市	8.9	☆9	芳賀郡茂木町	134.1%
10	佐野市	61.6%	10	矢板市	8.7	☆10	那須塩原市	123.1%

※　再生可能エネルギー自給率とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の民生・農林水産用エネルギー需要で割った値です。

※　再生可能エネルギー供給密度とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の面積で割った値です。

※　食料自給率は、農林水産省が公表している地域食料自給率ソフトを用いてカロリーベースで計算しています。

※　自給率が100%を超えている場合には順位に☆がつきます。

群馬県

再生可能エネルギー供給状況

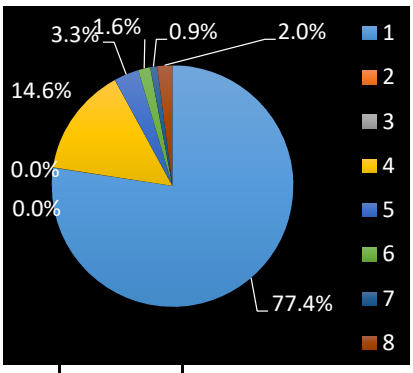
2022年3月末の設備状況をもとに2021年度について推計しました。

主たる再生エネ種　供給比率20%以上：◎　同10%以上○

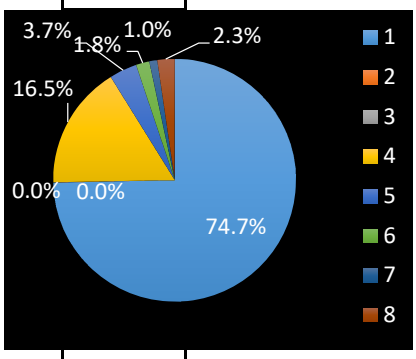
PJ(ペタジュール)＝10^{15}J

	エネルギー種	年間供給量	供給量ランク	再エネ自給率ランク	供給密度ランク	供給比率
◎	1 太陽光発電	37PJ	5	1	9	77.4%
	2 風力発電	0PJ	37	37	37	0.0%
	3 地熱発電	0PJ	13	13	13	0.0%
○	4 小水力発電	7PJ	5	7	3	14.6%
	5 バイオマス発電	2PJ	31	28	29	3.3%
	6 太陽熱利用	1PJ	18	14	18	1.6%
	7 地熱利用	0PJ	15	20	16	0.9%
	8.バイオマス熱利用	1PJ	22	21	26	2.0%
	合計（供給量）	47PJ	8			
	再生可能エネルギー自給率			49.1%	再エネ自給率ランク	3
	食料自給率			28.8%	食料自給率ランク	31
	供給密度(TJ/km^2)			7.420	供給密度ランク	10
	民生・農林水産用エネルギー需要（再エネ熱含む）			96PJ		
	区域面積			6,362km2		

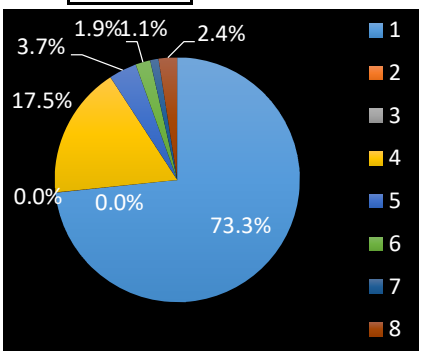
2021年度　47PJ　対前年度比　112.8%



2020年度　42PJ　対前年度比　105.9%



2019年度　39PJ



※　円グラフの数字は、12時の位置から時計回りにエネルギー種の番号に対応します。

再生可能エネルギー自給率・供給密度・食料自給率市区町村別top10

再生可能エネルギー自給率			再生可能エネルギー供給密度			食料自給率		
順位	市区町村	自給率	順位	市区町村	供給密度	順位	市区町村	自給率
☆1	利根郡片品村	886.7%	1	伊勢崎市	23.8	☆1	利根郡昭和村	373.3%
☆2	吾妻郡高山村	383.9%	2	邑楽郡大泉町	23.5	☆2	吾妻郡嬬恋村	320.7%
☆3	吾妻郡嬬恋村	263.7%	3	前橋市	22.4	☆3	邑楽郡板倉町	217.0%
☆4	多野郡神流町	259.4%	4	太田市	21.9	☆4	吾妻郡長野原町	194.5%
☆5	利根郡昭和村	214.0%	5	邑楽郡千代田町	18.3	☆5	利根郡川場村	136.7%
☆6	吾妻郡中之条町	176.1%	6	邑楽郡邑楽町	17.2	☆6	吾妻郡東吾妻町	106.2%
☆7	吾妻郡長野原町	156.9%	7	安中市	13.4	7	邑楽郡千代田町	97.9%
☆8	吾妻郡東吾妻町	153.0%	8	館林市	12.8	8	吾妻郡高山村	97.3%
☆9	安中市	152.3%	9	佐波郡玉村町	12.7	9	邑楽郡明和町	77.8%
☆10	利根郡みなかみ町	141.9%	10	高崎市	12.6	10	邑楽郡邑楽町	71.7%

※　再生可能エネルギー自給率とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の民生・農林水産用エネルギー需要で割った値です。

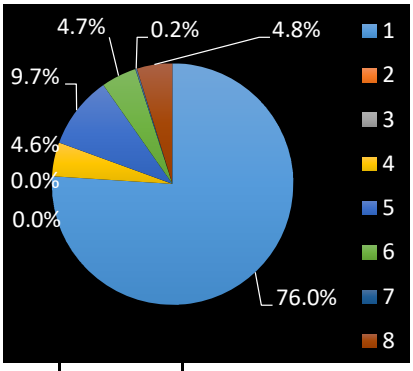
※　再生可能エネルギー供給密度とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の面積で割った値です。

※　食料自給率は、農林水産省が公表している地域食料自給率ソフトを用いてカロリーベースで計算しています。

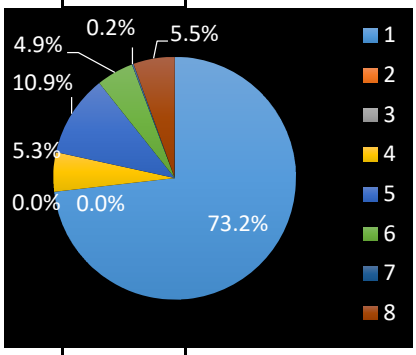
※　自給率が100%を超えている場合には順位に☆がつきます。

埼玉県

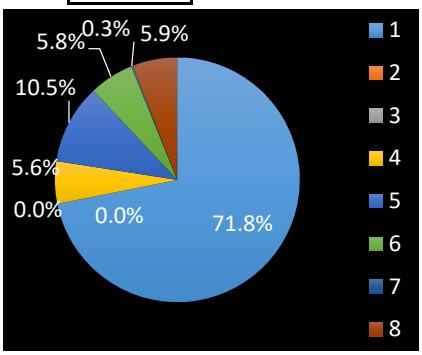
2021年度　34PJ　対前年度比　115.3%



2020年度　30PJ　対前年度比　107.2%



2019年度　28PJ



※ 円グラフの数字は、12時の位置から時計回りにエネルギー種の番号に対応します。

再生可能エネルギー供給状況

2022年3月末の設備状況をもとに2021年度について推計しました。

主たる再生エネ種　供給比率20%以上：◎　同10%以上〇

PJ(ペタジュール)＝10^{15}J

	エネルギー種	年間供給量	供給量ランク	再エネ自給率ランク	供給密度ランク	供給比率
◎	1 太陽光発電	26PJ	14	36	5	76.0%
	2 風力発電	0PJ	42	42	42	0.0%
	3 地熱発電	0PJ	13	13	13	0.0%
	4 小水力発電	2PJ	28	40	20	4.6%
	5 バイオマス発電	3PJ	13	39	7	9.7%
	6 太陽熱利用	2PJ	3	26	4	4.7%
	7 地熱利用	0PJ	34	41	32	0.2%
	8.バイオマス熱利用	2PJ	10	34	5	4.8%
	合計（供給量）	34PJ	18			
	再生可能エネルギー自給率			10.7%	再エネ自給率ランク	42
	食料自給率			9.3%	食料自給率ランク	44
	供給密度(TJ/km^2)			9.059	供給密度ランク	7
	民生・農林水産用エネルギー需要（再エネ熱含む）			322PJ		
	区域面積			3,798km2		

再生可能エネルギー自給率・供給密度・食料自給率市区町村別top10

再生可能エネルギー自給率			再生可能エネルギー供給密度			食料自給率		
順位	市区町村	自給率	順位	市区町村	供給密度	順位	市区町村	自給率
☆1	秩父郡長瀞町	118.3%	1	ふじみ野市	23.4	1	比企郡川島町	99.6%
2	児玉郡美里町	86.6%	2	三郷市	19.7	2	児玉郡美里町	89.7%
3	秩父市	79.4%	3	川口市	19.4	3	比企郡吉見町	80.2%
4	比企郡吉見町	79.0%	4	戸田市	18.9	4	加須市	74.3%
5	児玉郡神川町	68.5%	5	所沢市	16.7	5	羽生市	52.0%
6	比企郡鳩山町	51.6%	6	羽生市	16.4	6	児玉郡上里町	46.9%
7	比企郡川島町	41.4%	7	熊谷市	16.0	7	行田市	43.0%
8	比企郡滑川町	39.7%	8	さいたま市	15.7	8	児玉郡神川町	41.9%
9	羽生市	36.2%	9	本庄市	15.5	9	幸手市	39.0%
10	本庄市	35.4%	10	比企郡吉見町	15.1	10	北葛飾郡杉戸町	37.6%

※ 再生可能エネルギー自給率とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の民生・農林水産用エネルギー需要で割った値です。

※ 再生可能エネルギー供給密度とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の面積で割った値です。

※ 食料自給率は、農林水産省が公表している地域食料自給率ソフトを用いてカロリーベースで計算しています。

※ 自給率が100%を超えている場合には順位に☆がつきます。

千葉県

再生可能エネルギー供給状況

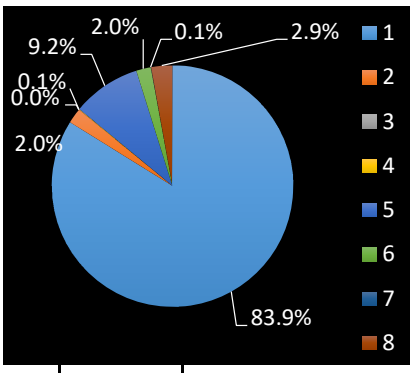
2022年3月末の設備状況をもとに2021年度について推計しました。

主たる再生エネ種　供給比率20%以上：◎　同10%以上〇

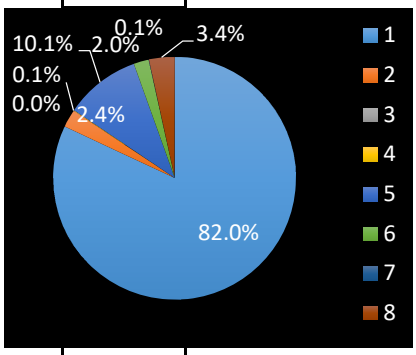
PJ(ペタジュール)＝10^{15}J

	エネルギー種	年間供給量	供給量ランク	再エネ自給率ランク	供給密度ランク	供給比率
◎	1 太陽光発電	43PJ	2	28	2	83.9%
	2 風力発電	1PJ	19	26	19	2.0%
	3 地熱発電	0PJ	13	13	13	0.0%
	4 小水力発電	0PJ	45	45	46	0.1%
	5 バイオマス発電	5PJ	9	31	5	9.2%
	6 太陽熱利用	1PJ	10	32	9	2.0%
	7 地熱利用	0PJ	40	45	40	0.1%
	8.バイオマス熱利用	1PJ	12	36	9	2.9%
	合計（供給量）	51PJ	4			
	再生可能エネルギー自給率			16.6%	再エネ自給率ランク	35
	食料自給率			22.4%	食料自給率ランク	35
	供給密度(TJ/km^2)			9.879	供給密度ランク	5
	民生・農林水産用エネルギー需要（再エネ熱含む）			307PJ		
	区域面積			5,157km2		

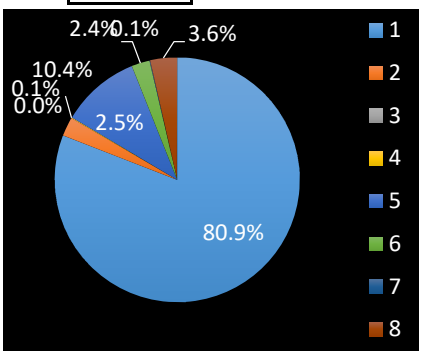
2021年度　51PJ　対前年度比　118.6%



2020年度　43PJ　対前年度比　104.9%



2019年度　41PJ



※　円グラフの数字は、12時の位置から時計回りにエネルギー種の番号に対応します。

再生可能エネルギー自給率・供給密度・食料自給率市区町村別top10

再生可能エネルギー自給率			再生可能エネルギー供給密度			食料自給率		
順位	市区町村	自給率	順位	市区町村	供給密度	順位	市区町村	自給率
☆1	長生郡長南町	142.7%	1	香取郡神崎町	21.9	☆1	香取郡多古町	254.4%
☆2	勝浦市	131.6%	2	流山市	21.8	☆2	香取市	221.1%
3	長生郡睦沢町	91.2%	3	印旛郡酒々井町	20.3	☆3	山武郡芝山町	200.1%
4	長生郡長柄町	86.7%	4	八街市	20.2	☆4	香取郡東庄町	195.9%
5	富津市	79.1%	5	船橋市	18.8	☆5	匝瑳市	189.4%
6	山武郡芝山町	73.8%	6	市川市	18.4	☆6	山武郡横芝光町	180.4%
7	香取郡多古町	68.2%	7	袖ケ浦市	17.9	☆7	長生郡長南町	174.0%
8	山武市	64.6%	8	習志野市	17.3	☆8	旭市	164.1%
9	夷隅郡大多喜町	64.2%	9	市原市	17.1	☆9	香取郡神崎町	155.6%
10	香取市	62.8%	10	野田市	16.4	☆10	山武市	130.5%

※　再生可能エネルギー自給率とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の民生・農林水産用エネルギー需要で割った値です。

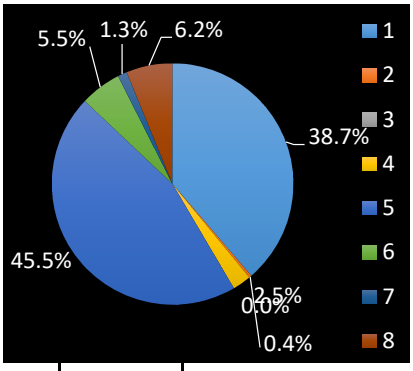
※　再生可能エネルギー供給密度とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の面積で割った値です。

※　食料自給率は、農林水産省が公表している地域食料自給率ソフトを用いてカロリーベースで計算しています。

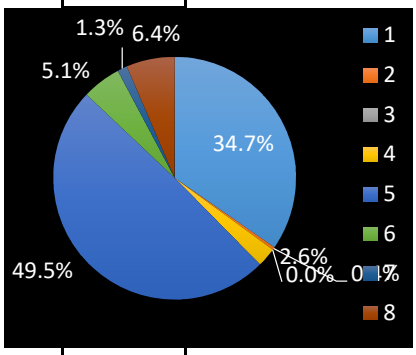
※　自給率が100%を超えている場合には順位に☆がつきます。

東京都

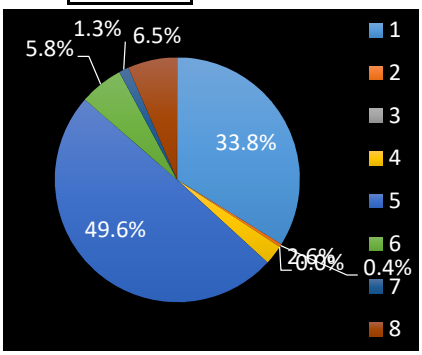
2021年度　21PJ　対前年度比　103.9%



2020年度　20PJ　対前年度比　101.3%



2019年度　20PJ



※ 円グラフの数字は、12時の位置から時計回りにエネルギー種の番号に対応します。

再生可能エネルギー供給状況

2022年3月末の設備状況をもとに2021年度について推計しました。

主たる再生エネ種　供給比率20%以上：◎　同10%以上○

PJ(ペタジュール)＝10^{15}J

	エネルギー種	年間供給量	供給量ランク	再エネ自給率ランク	供給密度ランク	供給比率
◎	1 太陽光発電	8PJ	35	47	16	38.7%
	2 風力発電	0PJ	33	36	30	0.4%
	3 地熱発電	0PJ	13	13	13	0.0%
	4 小水力発電	1PJ	40	44	31	2.5%
◎	5 バイオマス発電	9PJ	2	40	1	45.5%
	6 太陽熱利用	1PJ	9	45	3	5.5%
	7 地熱利用	0PJ	23	39	8	1.3%
	8.バイオマス熱利用	1PJ	13	44	2	6.2%
	合計（供給量）	21PJ	28			
	再生可能エネルギー自給率			2.3%	再エネ自給率ランク	47
	食料自給率			0.5%	食料自給率ランク	47
	供給密度(TJ/km^2)			9.542	供給密度ランク	6
	民生・農林水産用エネルギー需要（再エネ熱含む）			923PJ		
	区域面積			2,181km2		

再生可能エネルギー自給率・供給密度・食料自給率市区町村別top10

再生可能エネルギー自給率			再生可能エネルギー供給密度			食料自給率		
順位	市区町村	自給率	順位	市区町村	供給密度	順位	市区町村	自給率
1	西多摩郡奥多摩町	51.1%	1	中央区	48.0	☆1	青ケ島村	756.3%
2	稲城市	12.2%	2	目黒区	36.9	2	八丈町	35.3%
3	神津島村	11.2%	3	港区	36.3	3	神津島村	28.7%
4	羽村市	9.7%	4	江東区	34.9	4	利島村	16.1%
5	東久留米市	9.4%	5	墨田区	32.0	5	小笠原村	13.4%
6	新島村	7.2%	6	東久留米市	31.6	6	あきる野市	11.1%
7	日野市	6.4%	7	杉並区	30.7	7	三宅村	9.9%
8	八丈町	6.1%	8	豊島区	28.8	8	新島村	9.5%
9	あきる野市	5.6%	9	品川区	28.1	9	御蔵島村	7.8%
10	町田市	5.5%	10	稲城市	27.1	10	大島町	3.0%

※ 再生可能エネルギー自給率とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の民生・農林水産用エネルギー需要で割った値です。

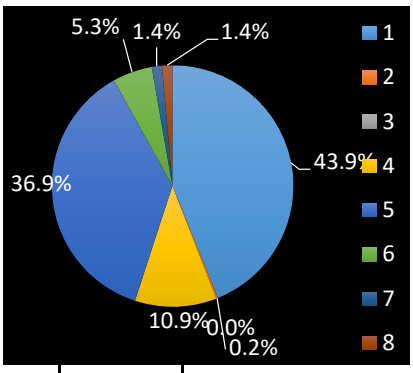
※ 再生可能エネルギー供給密度とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の面積で割った値です。

※ 食料自給率は、農林水産省が公表している地域食料自給率ソフトを用いてカロリーベースで計算しています。

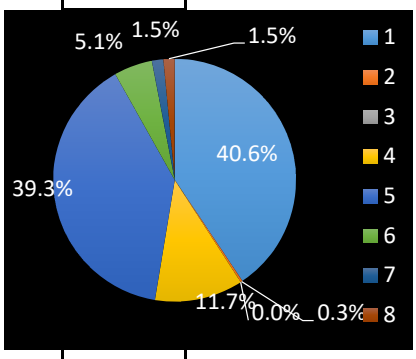
※ 自給率が100%を超えている場合には順位に☆がつきます。

神奈川県

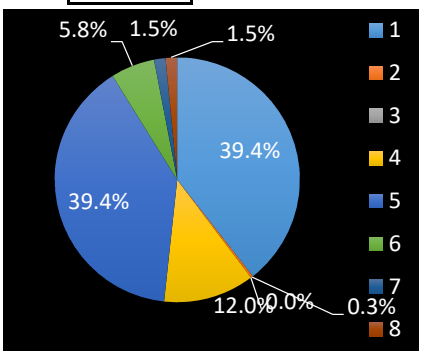
2021年度　27PJ　対前年度比　107.7%



2020年度　25PJ　対前年度比　102.2%



2019年度　25PJ



※ 円グラフの数字は、12時の位置から時計回りにエネルギー種の番号に対応します。

再生可能エネルギー供給状況

2022年3月末の設備状況をもとに2021年度について推計しました。

主たる再生エネ種　供給比率20%以上：◎　同10%以上○

PJ(ペタジュール)＝10^{15}J

	エネルギー種	年間供給量	供給量ランク	再エネ自給率ランク	供給密度ランク	供給比率
◎	1 太陽光発電	12PJ	26	46	11	43.9%
	2 風力発電	0PJ	34	35	31	0.2%
	3 地熱発電	0PJ	13	13	13	0.0%
○	4 小水力発電	3PJ	19	36	2	10.9%
◎	5 バイオマス発電	10PJ	1	18	2	36.9%
	6 太陽熱利用	1PJ	5	33	2	5.3%
	7 地熱利用	0PJ	18	29	6	1.4%
	8.バイオマス熱利用	0PJ	39	45	22	1.4%
	合計（供給量）	27PJ	26			
	再生可能エネルギー自給率			5.8%	再エネ自給率ランク	45
	食料自給率			1.9%	食料自給率ランク	45
	供給密度(TJ/km^2)			11.295	供給密度ランク	2
	民生・農林水産用エネルギー需要（再エネ熱含む）			469PJ		
	区域面積			2,416km2		

再生可能エネルギー自給率・供給密度・食料自給率市区町村別top10

再生可能エネルギー自給率			再生可能エネルギー供給密度			食料自給率		
順位	市区町村	自給率	順位	市区町村	供給密度	順位	市区町村	自給率
☆1	足柄上郡山北町	258.9%	1	川崎市	48.5	1	三浦市	69.1%
2	足柄下郡箱根町	45.2%	2	海老名市	21.9	2	愛甲郡清川村	49.9%
3	足柄上郡中井町	31.9%	3	座間市	19.8	3	足柄上郡中井町	19.0%
4	南足柄市	27.3%	4	茅ヶ崎市	19.2	4	足柄下郡真鶴町	12.0%
5	足柄上郡大井町	25.3%	5	大和市	18.8	5	足柄上郡開成町	11.3%
6	足柄下郡湯河原町	10.5%	6	足柄上郡大井町	16.4	6	足柄上郡大井町	10.6%
7	秦野市	9.7%	7	平塚市	14.3	7	伊勢原市	9.6%
8	愛甲郡愛川町	9.4%	8	綾瀬市	13.2	8	南足柄市	7.7%
9	川崎市	9.2%	9	横浜市	12.8	9	愛甲郡愛川町	7.2%
10	海老名市	8.5%	10	藤沢市	12.5	10	小田原市	6.3%

※ 再生可能エネルギー自給率とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の民生・農林水産用エネルギー需要で割った値です。

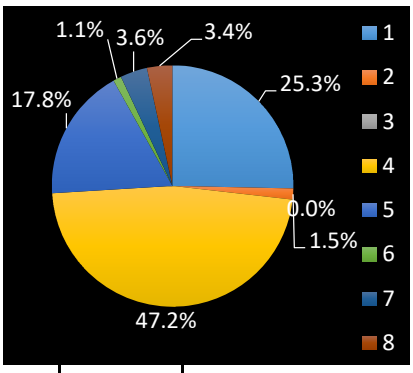
※ 再生可能エネルギー供給密度とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の面積で割った値です。

※ 食料自給率は、農林水産省が公表している地域食料自給率ソフトを用いてカロリーベースで計算しています。

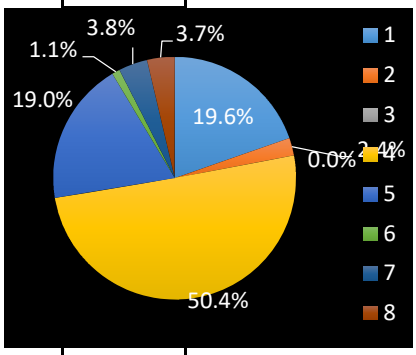
※ 自給率が100%を超えている場合には順位に☆がつきます。

新潟県

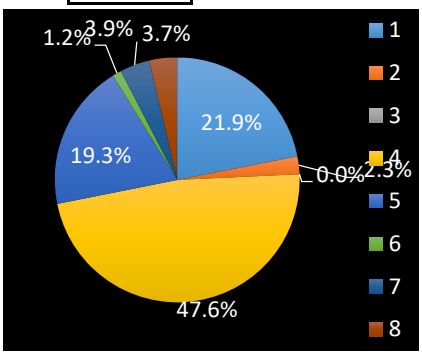
2021年度　19PJ　対前年度比　106.8%



2020年度　18PJ　対前年度比　101.2%



2019年度　18PJ



※ 円グラフの数字は、12時の位置から時計回りにエネルギー種の番号に対応します。

再生可能エネルギー供給状況

2022年3月末の設備状況をもとに2021年度について推計しました。

主たる再生エネ種　供給比率20%以上：◎　同10%以上○

PJ(ペタジュール)＝10^{15}J

	エネルギー種	年間供給量	供給量ランク	再エネ自給率ランク	供給密度ランク	供給比率
◎	1 太陽光発電	5PJ	41	44	44	25.3%
	2 風力発電	0PJ	30	30	32	1.5%
	3 地熱発電	0PJ	13	13	13	0.0%
◎	4 小水力発電	9PJ	3	8	8	47.2%
○	5 バイオマス発電	3PJ	12	14	27	17.8%
	6 太陽熱利用	0PJ	39	40	42	1.1%
	7 地熱利用	1PJ	10	15	22	3.6%
	8.バイオマス熱利用	1PJ	35	35	40	3.4%
	合計（供給量）	19PJ	30			
	再生可能エネルギー自給率			14.6%	再エネ自給率ランク	38
	食料自給率			99.7%	食料自給率ランク	5
	供給密度(TJ/km^2)			1.544	供給密度ランク	45
	民生・農林水産用エネルギー需要（再エネ熱含む）			133PJ		
	区域面積			12,584km2		

再生可能エネルギー自給率・供給密度・食料自給率市区町村別top10

再生可能エネルギー自給率			再生可能エネルギー供給密度			食料自給率		
順位	市区町村	自給率	順位	市区町村	供給密度	順位	市区町村	自給率
☆1	糸魚川市	206.3%	1	糸魚川市	5.9	☆1	中魚沼郡津南町	335.8%
☆2	中魚沼郡津南町	106.5%	2	阿賀野市	5.7	☆2	岩船郡関川村	330.5%
3	東蒲原郡阿賀町	82.2%	3	新潟市	4.5	☆3	阿賀野市	244.4%
4	妙高市	81.0%	4	胎内市	3.8	☆4	胎内市	203.4%
5	胎内市	63.7%	5	妙高市	3.3	☆5	西蒲原郡弥彦村	197.9%
6	南魚沼郡湯沢町	56.2%	6	中魚沼郡津南町	3.2	☆6	佐渡市	197.3%
7	魚沼市	54.7%	7	北蒲原郡聖籠町	3.0	☆7	刈羽郡刈羽村	180.9%
8	阿賀野市	54.1%	8	五泉市	1.7	☆8	村上市	180.4%
9	五泉市	25.8%	9	南魚沼市	1.6	☆9	新発田市	162.6%
10	三島郡出雲崎町	25.1%	10	三条市	1.5	☆10	南魚沼市	158.8%

※ 再生可能エネルギー自給率とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の民生・農林水産用エネルギー需要で割った値です。

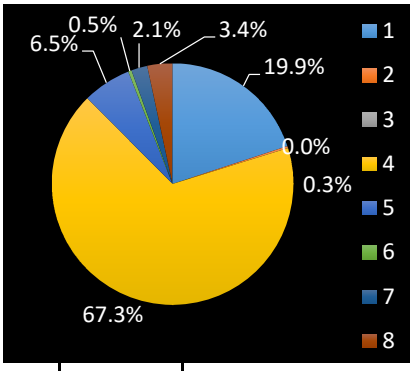
※ 再生可能エネルギー供給密度とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の面積で割った値です。

※ 食料自給率は、農林水産省が公表している地域食料自給率ソフトを用いてカロリーベースで計算しています。

※ 自給率が100%を超えている場合には順位に☆がつきます。

富山県

2021年度　19PJ　対前年度比　101.6%



再生可能エネルギー供給状況

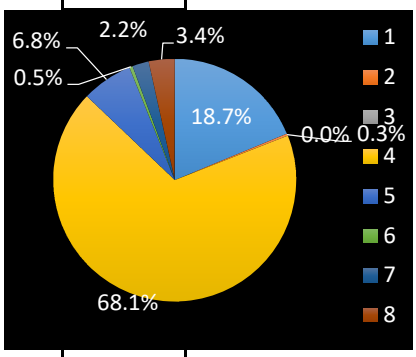
2022年3月末の設備状況をもとに2021年度について推計しました。

主たる再エネ種　供給比率20%以上：◎　同10%以上○

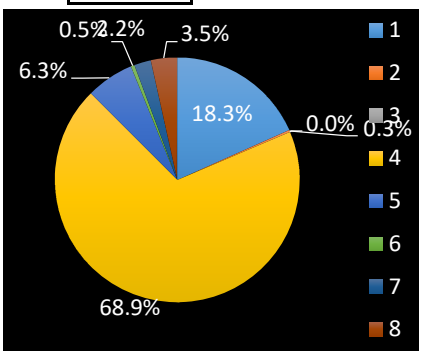
PJ(ペタジュール)＝10^{15}J

	エネルギー種	年間供給量	供給量ランク	再エネ自給率ランク	供給密度ランク	供給比率
○	1 太陽光発電	4PJ	44	39	40	19.9%
	2 風力発電	0PJ	35	33	35	0.3%
	3 地熱発電	0PJ	13	13	13	0.0%
◎	4 小水力発電	13PJ	2	1	1	67.3%
	5 バイオマス発電	1PJ	35	24	23	6.5%
	6 太陽熱利用	0PJ	44	43	41	0.5%
	7 地熱利用	0PJ	16	13	11	2.1%
	8.バイオマス熱利用	1PJ	36	23	25	3.4%
	合計（供給量）	19PJ	31			
	再生可能エネルギー自給率			28.9%	再エネ自給率ランク	21
	食料自給率			71.5%	食料自給率ランク	8
	供給密度(TJ/km^2)			4.523	供給密度ランク	21
	民生・農林水産用エネルギー需要（再エネ熱含む）			67PJ		
	区域面積			4,248km2		

2020年度　19PJ　対前年度比　101.3%



2019年度　19PJ



※　円グラフの数字は、12時の位置から時計回りにエネルギー種の番号に対応します。

再生可能エネルギー自給率・供給密度・食料自給率市区町村別top10

再生可能エネルギー自給率			再生可能エネルギー供給密度			食料自給率		
順位	市区町村	自給率	順位	市区町村	供給密度	順位	市区町村	自給率
☆1	下新川郡朝日町	136.9%	1	滑川市	15.2	☆1	下新川郡入善町	274.3%
2	中新川郡立山町	99.7%	2	魚津市	9.9	☆2	南砺市	198.0%
3	魚津市	77.0%	3	射水市	6.8	☆3	下新川郡朝日町	183.5%
4	中新川郡上市町	71.3%	4	富山市	6.7	☆4	中新川郡立山町	155.5%
5	黒部市	65.9%	5	高岡市	6.5	☆5	小矢部市	153.7%
6	滑川市	50.2%	6	下新川郡入善町	6.4	☆6	砺波市	133.5%
7	下新川郡入善町	33.2%	7	下新川郡朝日町	4.4	7	中新川郡上市町	90.3%
8	富山市	28.4%	8	中新川郡立山町	4.0	8	黒部市	89.0%
9	小矢部市	18.7%	9	黒部市	3.7	9	中新川郡舟橋村	83.9%
10	射水市	14.7%	10	中新川郡舟橋村	2.9	10	氷見市	80.8%

※　再生可能エネルギー自給率とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の民生・農林水産用エネルギー需要で割った値です。

※　再生可能エネルギー供給密度とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の面積で割った値です。

※　食料自給率は、農林水産省が公表している地域食料自給率ソフトを用いてカロリーベースで計算しています。

※　自給率が100%を超えている場合には順位に☆がつきます。

石川県

再生可能エネルギー供給状況

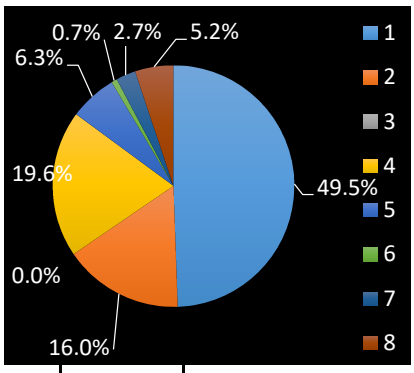
2022年3月末の設備状況をもとに2021年度について推計しました。

主たる再生エネ種　供給比率20%以上：◎　同10%以上○

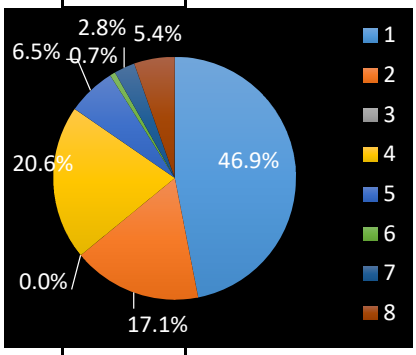
PJ(ペタジュール)＝10^{15}J

	エネルギー種	年間供給量	供給量ランク	再エネ自給率ランク	供給密度ランク	供給比率
◎	1 太陽光発電	7PJ	38	34	35	49.5%
○	2 風力発電	2PJ	13	12	5	16.0%
	3 地熱発電	0PJ	13	13	13	0.0%
○	4 小水力発電	3PJ	21	16	10	19.6%
	5 バイオマス発電	1PJ	40	36	33	6.3%
	6 太陽熱利用	0PJ	43	41	39	0.7%
	7 地熱利用	0PJ	19	17	12	2.7%
	8.バイオマス熱利用	1PJ	34	22	20	5.2%
	合計（供給量）	14PJ	39			
	再生可能エネルギー自給率			19.1%	再エネ自給率ランク	32
	食料自給率			43.4%	食料自給率ランク	21
	供給密度(TJ/km^2)			3.247	供給密度ランク	32
	民生・農林水産用エネルギー需要（再エネ熱含む）			71PJ		
	区域面積			4,186km2		

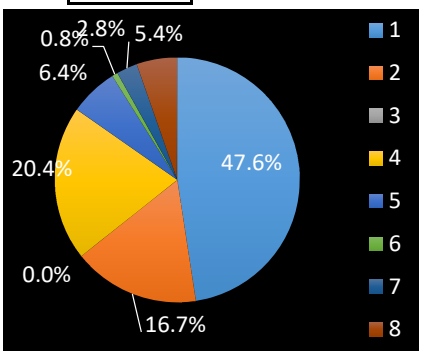
2021年度　14PJ　対前年度比　104.9%



2020年度　13PJ　対前年度比　99.2%



2019年度　13PJ



※　円グラフの数字は、12時の位置から時計回りにエネルギー種の番号に対応します。

再生可能エネルギー自給率・供給密度・食料自給率市区町村別top10

再生可能エネルギー自給率			再生可能エネルギー供給密度			食料自給率		
順位	市区町村	自給率	順位	市区町村	供給密度	順位	市区町村	自給率
☆1	羽咋郡宝達志水町	225.2%	1	羽咋郡宝達志水町	12.7	☆1	羽咋郡志賀町	201.6%
☆2	羽咋郡志賀町	118.3%	2	野々市市	8.3	☆2	能美郡川北町	192.3%
☆3	珠洲市	108.0%	3	かほく市	5.8	☆3	羽咋市	139.8%
4	鳳珠郡穴水町	51.9%	4	羽咋郡志賀町	5.7	☆4	羽咋郡宝達志水町	138.4%
5	白山市	40.6%	5	河北郡内灘町	5.5	☆5	鳳珠郡能登町	130.6%
6	七尾市	40.0%	6	能美郡川北町	5.4	☆6	珠洲市	126.4%
7	鹿島郡中能登町	38.2%	7	七尾市	4.9	☆7	鹿島郡中能登町	116.6%
8	羽咋市	31.3%	8	羽咋市	4.4	8	輪島市	94.3%
9	能美郡川北町	30.1%	9	珠洲市	3.9	9	鳳珠郡穴水町	88.4%
10	かほく市	23.8%	10	金沢市	3.7	10	七尾市	80.7%

※　再生可能エネルギー自給率とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の民生・農林水産用エネルギー需要で割った値です。

※　再生可能エネルギー供給密度とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の面積で割った値です。

※　食料自給率は、農林水産省が公表している地域食料自給率ソフトを用いてカロリーベースで計算しています。

※　自給率が100%を超えている場合には順位に☆がつきます。

福井県

再生可能エネルギー供給状況

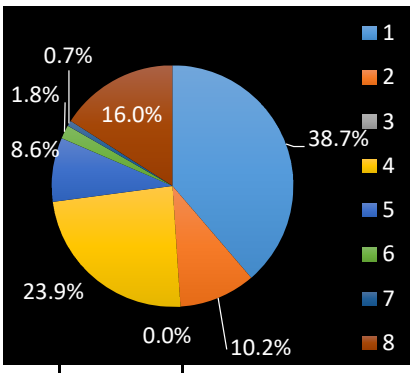
2022年3月末の設備状況をもとに2021年度について推計しました。

主たる再生エネ種　供給比率20%以上：◎　同10%以上○

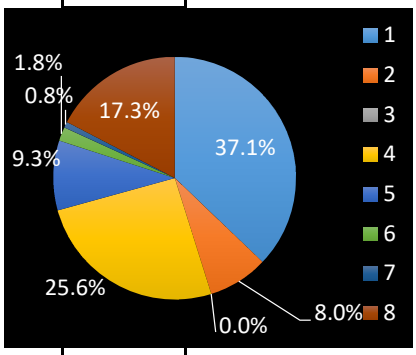
PJ(ペタジュール)＝10^{15}J

	エネルギー種	年間供給量	供給量ランク	再エネ自給率ランク	供給密度ランク	供給比率
◎	1 太陽光発電	3PJ	47	41	43	38.7%
○	2 風力発電	1PJ	24	20	22	10.2%
	3 地熱発電	0PJ	13	13	13	0.0%
◎	4 小水力発電	2PJ	27	20	19	23.9%
	5 バイオマス発電	1PJ	44	37	41	8.6%
	6 太陽熱利用	0PJ	41	36	38	1.8%
	7 地熱利用	0PJ	36	28	36	0.7%
○	8.バイオマス熱利用	1PJ	18	5	10	16.0%
	合計（供給量）	7PJ	46			
	再生可能エネルギー自給率			14.1%	再エネ自給率ランク	39
	食料自給率			60.2%	食料自給率ランク	14
	供給密度(TJ/km^2)			1.741	供給密度ランク	44
	民生・農林水産用エネルギー需要（再エネ熱含む）			52PJ		
	区域面積			4,191km2		

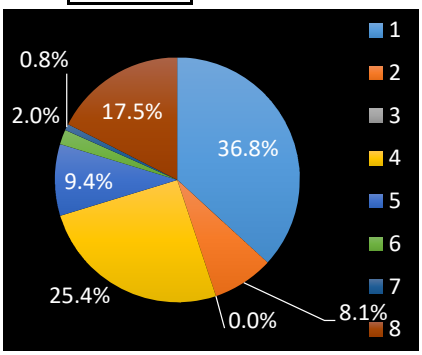
2021年度　7PJ　対前年度比　108.6%



2020年度　7PJ　対前年度比　101.0%



2019年度　7PJ



※　円グラフの数字は、12時の位置から時計回りにエネルギー種の番号に対応します。

再生可能エネルギー自給率・供給密度・食料自給率市区町村別top10

再生可能エネルギー自給率			再生可能エネルギー供給密度			食料自給率		
順位	市区町村	自給率	順位	市区町村	供給密度	順位	市区町村	自給率
1	大野市	69.1%	1	あわら市	9.5	☆1	今立郡池田町	164.6%
2	あわら市	62.5%	2	坂井市	4.5	☆2	大野市	156.8%
3	今立郡池田町	31.0%	3	福井市	3.3	☆3	三方上中郡若狭町	144.4%
4	勝山市	29.9%	4	敦賀市	2.7	☆4	あわら市	130.0%
5	坂井市	20.1%	5	鯖江市	2.3	☆5	南条郡南越前町	122.1%
6	三方郡美浜町	18.3%	6	大野市	1.6	☆6	三方郡美浜町	100.4%
7	敦賀市	13.2%	7	勝山市	1.4	7	大飯郡おおい町	98.1%
8	南条郡南越前町	9.0%	8	越前市	1.0	8	坂井市	92.5%
9	福井市	8.7%	9	三方郡美浜町	0.8	9	勝山市	87.4%
10	丹生郡越前町	7.0%	10	吉田郡永平寺町	0.7	10	丹生郡越前町	79.4%

※　再生可能エネルギー自給率とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の民生・農林水産用エネルギー需要で割った値です。

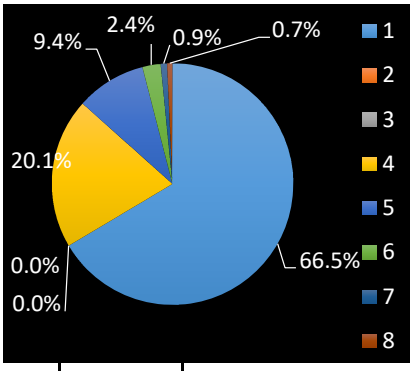
※　再生可能エネルギー供給密度とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の面積で割った値です。

※　食料自給率は、農林水産省が公表している地域食料自給率ソフトを用いてカロリーベースで計算しています。

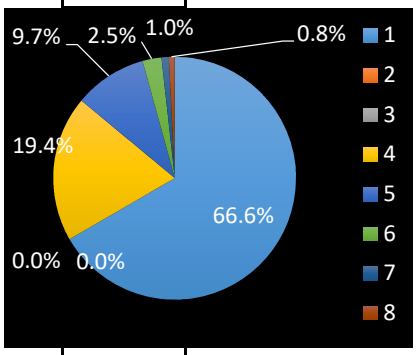
※　自給率が100%を超えている場合には順位に☆がつきます。

山梨県

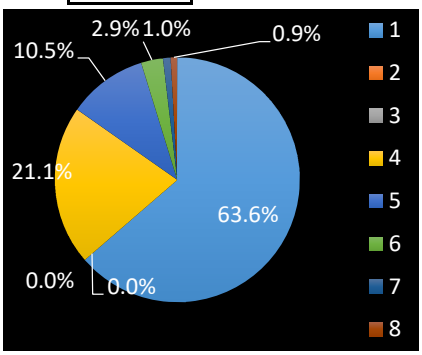
2021年度　16PJ　対前年度比　109.0%



2020年度　15PJ　対前年度比　108.9%



2019年度　14PJ



※ 円グラフの数字は、12時の位置から時計回りにエネルギー種の番号に対応します。

再生可能エネルギー供給状況

2022年3月末の設備状況をもとに2021年度について推計しました。

主たる再生エネ種　供給比率20%以上：◎　同10%以上○

PJ(ペタジュール)＝10^{15}J

	エネルギー種	年間供給量	供給量ランク	再エネ自給率ランク	供給密度ランク	供給比率
◎	1 太陽光発電	11PJ	31	10	27	66.5%
	2 風力発電	0PJ	40	40	40	0.0%
	3 地熱発電	0PJ	13	13	13	0.0%
◎	4 小水力発電	3PJ	15	4	7	20.1%
	5 バイオマス発電	2PJ	33	9	18	9.4%
	6 太陽熱利用	0PJ	31	8	28	2.4%
	7 地熱利用	0PJ	31	21	29	0.9%
	8.バイオマス熱利用	0PJ	45	40	44	0.7%
	合計（供給量）	16PJ	33			
	再生可能エネルギー自給率			37.8%	再エネ自給率ランク	12
	食料自給率			17.5%	食料自給率ランク	38
	供給密度(TJ/km^2)			3.671	供給密度ランク	26
	民生・農林水産用エネルギー需要（再エネ熱含む）			43PJ		
	区域面積			4,461km2		

再生可能エネルギー自給率・供給密度・食料自給率市区町村別top10

再生可能エネルギー自給率			再生可能エネルギー供給密度			食料自給率		
順位	市区町村	自給率	順位	市区町村	供給密度	順位	市区町村	自給率
☆1	南巨摩郡早川町	938.4%	1	甲斐市	21.7	1	北杜市	95.8%
☆2	北杜市	134.7%	2	中巨摩郡昭和町	19.8	2	韮崎市	50.0%
☆3	大月市	114.6%	3	中央市	10.2	3	甲州市	26.5%
4	韮崎市	65.9%	4	南都留郡忍野村	9.4	4	南巨摩郡南部町	23.5%
5	甲州市	63.7%	5	甲府市	7.1	5	中央市	22.9%
6	南都留郡忍野村	59.8%	6	韮崎市	6.4	6	南巨摩郡身延町	20.4%
7	山梨市	58.6%	7	笛吹市	5.6	7	南都留郡富士河口湖町	19.1%
8	南都留郡鳴沢村	53.0%	8	北杜市	5.5	8	笛吹市	18.7%
9	甲斐市	47.5%	9	南アルプス市	4.7	9	山梨市	18.6%
10	南アルプス市	45.5%	10	大月市	4.2	10	南アルプス市	18.0%

※ 再生可能エネルギー自給率とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の民生・農林水産用エネルギー需要で割った値です。

※ 再生可能エネルギー供給密度とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の面積で割った値です。

※ 食料自給率は、農林水産省が公表している地域食料自給率ソフトを用いてカロリーベースで計算しています。

※ 自給率が100%を超えている場合には順位に☆がつきます。

長野県

再生可能エネルギー供給状況

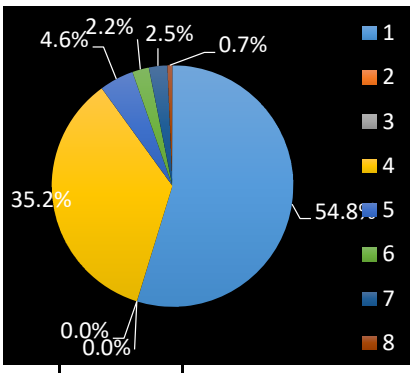
2022年3月末の設備状況をもとに2021年度について推計しました。

主たる再生エネ種　供給比率20%以上：◎　同10%以上○

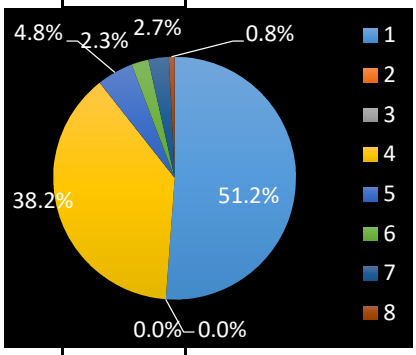
PJ(ペタジュール)＝10^{15}J

	エネルギー種	年間供給量	供給量ランク	再エネ自給率ランク	供給密度ランク	供給比率
◎	1 太陽光発電	22PJ	18	19	34	54.8%
	2 風力発電	0PJ	42	42	42	0.0%
	3 地熱発電	0PJ	13	13	13	0.0%
◎	4 小水力発電	14PJ	1	2	4	35.2%
	5 バイオマス発電	2PJ	29	30	44	4.6%
	6 太陽熱利用	1PJ	13	18	34	2.2%
	7 地熱利用	1PJ	8	9	15	2.5%
	8.バイオマス熱利用	0PJ	40	42	46	0.7%
	合計（供給量）	40PJ	12			
	再生可能エネルギー自給率			33.4%	再エネ自給率ランク	16
	食料自給率			46.1%	食料自給率ランク	19
	供給密度(TJ/km^2)			2.977	供給密度ランク	35
	民生・農林水産用エネルギー需要（再エネ熱含む）			121PJ		
	区域面積			13,562km2		

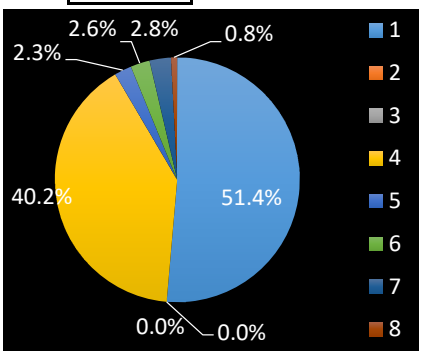
2021年度　40PJ　対前年度比　109.3%



2020年度　37PJ　対前年度比　105.1%



2019年度　35PJ



※　円グラフの数字は、12時の位置から時計回りにエネルギー種の番号に対応します。

再生可能エネルギー自給率・供給密度・食料自給率市区町村別top10

再生可能エネルギー自給率			再生可能エネルギー供給密度			食料自給率		
順位	市区町村	自給率	順位	市区町村	供給密度	順位	市区町村	自給率
☆1	下伊那郡大鹿村	1066.7%	1	小諸市	10.1	☆1	南佐久郡川上村	756.9%
☆2	下伊那郡平谷村	1045.2%	2	諏訪市	9.5	☆2	南佐久郡南牧村	680.2%
☆3	下水内郡栄村	520.4%	3	南佐久郡小海町	8.8	☆3	下水内郡栄村	228.7%
☆4	南佐久郡川上村	400.5%	4	北佐久郡御代田町	7.2	☆4	下高井郡木島平村	217.1%
☆5	南佐久郡小海町	365.3%	5	上伊那郡南箕輪村	6.3	☆5	北佐久郡立科町	195.0%
☆6	下伊那郡泰阜村	231.8%	6	上伊那郡飯島町	6.2	☆6	北安曇郡松川村	180.6%
☆7	北安曇郡小谷村	228.8%	7	東御市	6.1	☆7	南佐久郡北相木村	169.2%
☆8	下伊那郡阿南町	218.9%	8	駒ケ根市	5.6	☆8	上水内郡信濃町	163.0%
☆9	下伊那郡阿智村	204.1%	9	上高井郡小布施町	5.4	☆9	諏訪郡原村	146.2%
☆10	小県郡長和町	186.6%	10	下伊那郡平谷村	5.4	☆10	飯山市	143.9%

※　再生可能エネルギー自給率とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の民生・農林水産用エネルギー需要で割った値です。

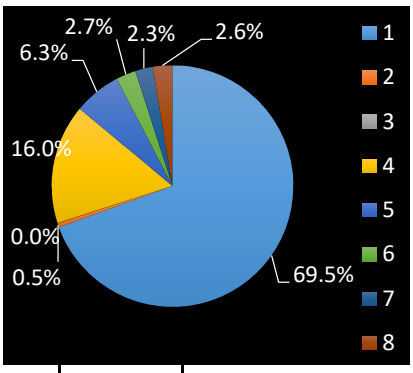
※　再生可能エネルギー供給密度とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の面積で割った値です。

※　食料自給率は、農林水産省が公表している地域食料自給率ソフトを用いてカロリーベースで計算しています。

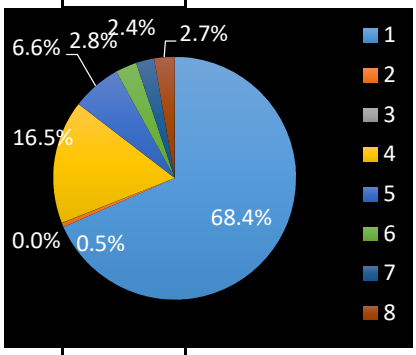
※　自給率が100%を超えている場合には順位に☆がつきます。

岐阜県

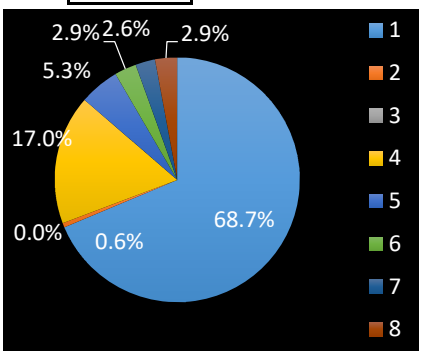
2021年度　29PJ　対前年度比　103.2%



2020年度　29PJ　対前年度比　106.9%



2019年度　27PJ



※ 円グラフの数字は、12時の位置から時計回りにエネルギー種の番号に対応します。

再生可能エネルギー供給状況

2022年3月末の設備状況をもとに2021年度について推計しました。

主たる再生エネ種　供給比率20%以上：◎　同10%以上○

PJ(ペタジュール)＝10^{15}J

	エネルギー種	年間供給量	供給量ランク	再エネ自給率ランク	供給密度ランク	供給比率
◎	1 太陽光発電	20PJ	19	17	33	69.5%
	2 風力発電	0PJ	31	31	34	0.5%
	3 地熱発電	0PJ	8	8	8	0.0%
○	4 小水力発電	5PJ	10	14	17	16.0%
	5 バイオマス発電	2PJ	28	27	39	6.3%
	6 太陽熱利用	1PJ	16	21	33	2.7%
	7 地熱利用	1PJ	11	12	17	2.3%
	8.バイオマス熱利用	1PJ	28	28	35	2.6%
	合計（供給量）	29PJ	22			
	再生可能エネルギー自給率			26.8%	再エネ自給率ランク	25
	食料自給率			22.5%	食料自給率ランク	34
	供給密度(TJ/km^2)			2.775	供給密度ランク	38
	民生・農林水産用エネルギー需要（再エネ熱含む）			110PJ		
	区域面積			10,621km2		

再生可能エネルギー自給率・供給密度・食料自給率市区町村別top10

再生可能エネルギー自給率			再生可能エネルギー供給密度			食料自給率		
順位	市区町村	自給率	順位	市区町村	供給密度	順位	市区町村	自給率
☆1	加茂郡富加町	110.0%	1	瑞穂市	45.2	☆1	海津市	144.9%
2	恵那市	93.0%	2	羽島郡岐南町	18.5	2	安八郡輪之内町	97.4%
3	揖斐郡揖斐川町	92.0%	3	本巣郡北方町	18.1	3	養老郡養老町	79.8%
4	加茂郡白川町	89.2%	4	多治見市	15.4	4	加茂郡東白川村	63.2%
5	加茂郡川辺町	88.3%	5	加茂郡川辺町	15.3	5	揖斐郡揖斐川町	61.3%
6	加茂郡八百津町	77.2%	6	加茂郡富加町	13.8	6	加茂郡白川町	58.6%
7	本巣市	62.8%	7	各務原市	13.5	7	郡上市	54.2%
8	飛騨市	61.5%	8	羽島郡笠松町	12.7	8	高山市	52.3%
9	美濃市	59.4%	9	安八郡安八町	11.3	9	揖斐郡大野町	50.0%
10	加茂郡東白川村	55.3%	10	安八郡神戸町	11.0	10	大野郡白川村	47.6%

※ 再生可能エネルギー自給率とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の民生・農林水産用エネルギー需要で割った値です。

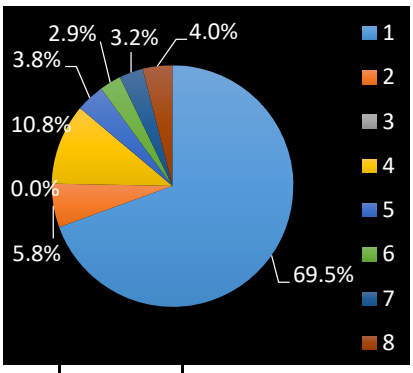
※ 再生可能エネルギー供給密度とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の面積で割った値です。

※ 食料自給率は、農林水産省が公表している地域食料自給率ソフトを用いてカロリーベースで計算しています。

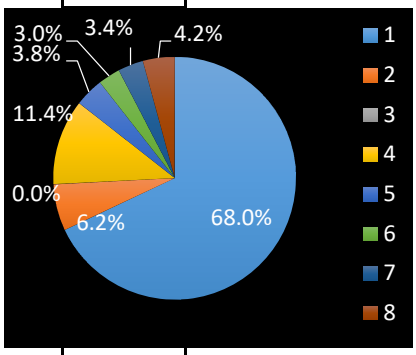
※ 自給率が100%を超えている場合には順位に☆がつきます。

静岡県

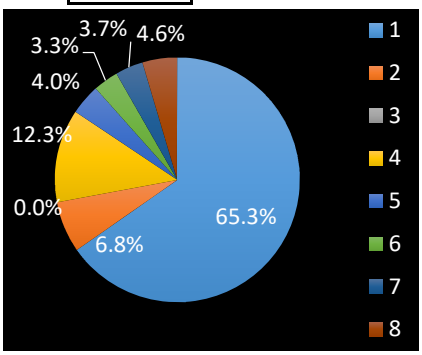
2021年度　50PJ　対前年度比　105.7%



2020年度　47PJ　対前年度比　109.2%



2019年度　43PJ



※ 円グラフの数字は、12時の位置から時計回りにエネルギー種の番号に対応します。

再生可能エネルギー供給状況

2022年3月末の設備状況をもとに2021年度について推計しました。

主たる再生エネ種　供給比率20%以上：◎　同10%以上○

PJ(ペタジュール)＝10^{15}J

	エネルギー種	年間供給量	供給量ランク	再エネ自給率ランク	供給密度ランク	供給比率
◎	1 太陽光発電	35PJ	7	18	13	69.5%
	2 風力発電	3PJ	9	18	9	5.8%
	3 地熱発電	0PJ	9	10	10	0.0%
○	4 小水力発電	5PJ	8	22	9	10.8%
	5 バイオマス発電	2PJ	26	42	31	3.8%
	6 太陽熱利用	1PJ	4	15	12	2.9%
	7 地熱利用	2PJ	4	8	3	3.2%
	8.バイオマス熱利用	2PJ	6	19	12	4.0%
	合計（供給量）	50PJ	5			
	再生可能エネルギー自給率			26.5%	再エネ自給率ランク	27
	食料自給率			14.3%	食料自給率ランク	40
	供給密度(TJ/km^2)			6.410	供給密度ランク	13
	民生・農林水産用エネルギー需要（再エネ熱含む）			188PJ		
	区域面積			7,777km2		

再生可能エネルギー自給率・供給密度・食料自給率市区町村別top10

再生可能エネルギー自給率			再生可能エネルギー供給密度			食料自給率		
順位	市区町村	自給率	順位	市区町村	供給密度	順位	市区町村	自給率
☆1	賀茂郡南伊豆町	201.0%	1	御前崎市	20.5	1	焼津市	54.5%
☆2	賀茂郡河津町	188.3%	2	榛原郡吉田町	19.8	2	周智郡森町	44.4%
☆3	駿東郡小山町	119.3%	3	焼津市	17.2	3	御前崎市	40.1%
4	牧之原市	97.6%	4	牧之原市	17.0	4	袋井市	34.8%
5	御前崎市	87.2%	5	湖西市	16.7	5	菊川市	31.6%
6	賀茂郡東伊豆町	81.8%	6	磐田市	15.8	6	駿東郡小山町	31.4%
7	湖西市	59.1%	7	菊川市	12.9	7	沼津市	29.7%
8	掛川市	57.7%	8	袋井市	12.9	8	富士宮市	28.4%
9	富士宮市	56.3%	9	掛川市	11.4	9	牧之原市	28.0%
10	菊川市	55.8%	10	駿東郡清水町	10.9	10	掛川市	27.8%

※ 再生可能エネルギー自給率とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の民生・農林水産用エネルギー需要で割った値です。

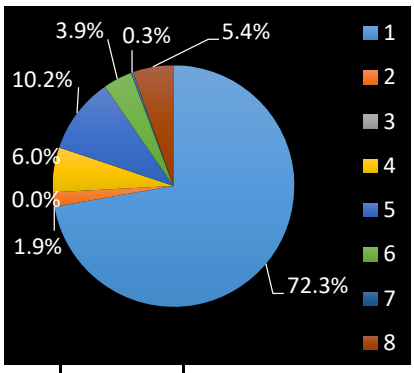
※ 再生可能エネルギー供給密度とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の面積で割った値です。

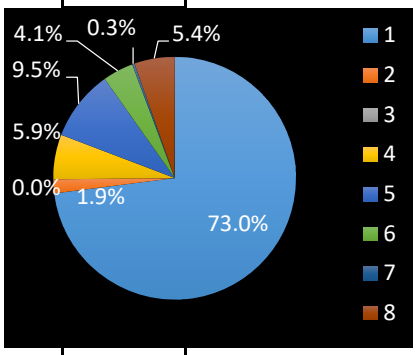
※ 食料自給率は、農林水産省が公表している地域食料自給率ソフトを用いてカロリーベースで計算しています。

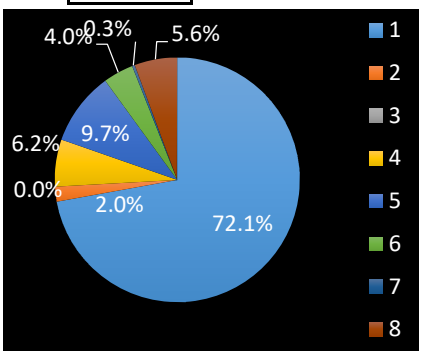
※ 自給率が100%を超えている場合には順位に☆がつきます。

愛知県

2021年度	52PJ	対前年度比	99.0%
2020年度	53PJ	対前年度比	105.1%
2019年度	50PJ		







※ 円グラフの数字は、12時の位置から時計回りにエネルギー種の番号に対応します。

再生可能エネルギー供給状況

2022年3月末の設備状況をもとに2021年度について推計しました。

主たる再生エネ種　供給比率20%以上：◎　同10%以上○

PJ(ペタジュール)＝10^{15}J

	エネルギー種	年間供給量	供給量ランク	再エネ自給率ランク	供給密度ランク	供給比率
◎	1 太陽光発電	38PJ	4	35	4	72.3%
	2 風力発電	1PJ	20	29	20	1.9%
	3 地熱発電	0PJ	13	13	13	0.0%
	4 小水力発電	3PJ	17	33	11	6.0%
○	5 バイオマス発電	5PJ	6	34	4	10.2%
	6 太陽熱利用	2PJ	1	28	5	3.9%
	7 地熱利用	0PJ	29	37	27	0.3%
	8.バイオマス熱利用	3PJ	3	29	3	5.4%
	合計（供給量）	52PJ	3			
	再生可能エネルギー自給率			13.0%	再エネ自給率ランク	41
	食料自給率			10.7%	食料自給率ランク	43
	供給密度(TJ/km^2)			10.078	供給密度ランク	4
	民生・農林水産用エネルギー需要（再エネ熱含む）			402PJ		
	区域面積			5,170km2		

再生可能エネルギー自給率・供給密度・食料自給率市区町村別top10

再生可能エネルギー自給率			再生可能エネルギー供給密度			食料自給率		
順位	市区町村	自給率	順位	市区町村	供給密度	順位	市区町村	自給率
1	田原市	99.6%	1	知多郡武豊町	46.0	☆1	海部郡飛島村	235.2%
2	知多郡美浜町	77.6%	2	高浜市	22.8	☆2	知多郡南知多町	153.9%
3	知多郡武豊町	70.8%	3	名古屋市	22.4	☆3	田原市	138.3%
4	新城市	55.0%	4	知多郡東浦町	21.9	☆4	北設楽郡設楽町	100.5%
5	海部郡飛島村	49.9%	5	半田市	21.6	5	弥富市	63.9%
6	知多郡東浦町	35.1%	6	知多郡美浜町	21.0	6	愛西市	60.0%
7	豊田市	32.1%	7	尾張旭市	19.8	7	知多郡美浜町	47.2%
8	知多郡阿久比町	32.1%	8	春日井市	19.6	8	新城市	46.9%
9	知多郡南知多町	30.8%	9	岩倉市	18.8	9	西尾市	42.5%
10	弥富市	30.8%	10	北名古屋市	18.4	10	額田郡幸田町	30.6%

※ 再生可能エネルギー自給率とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の民生・農林水産用エネルギー需要で割った値です。

※ 再生可能エネルギー供給密度とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の面積で割った値です。

※ 食料自給率は、農林水産省が公表している地域食料自給率ソフトを用いてカロリーベースで計算しています。

※ 自給率が100%を超えている場合には順位に☆がつきます。

三重県

再生可能エネルギー供給状況

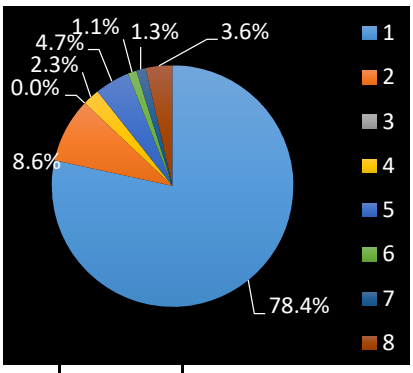
2022年3月末の設備状況をもとに2021年度について推計しました。

主たる再生エネ種　供給比率20%以上：◎　同10%以上○

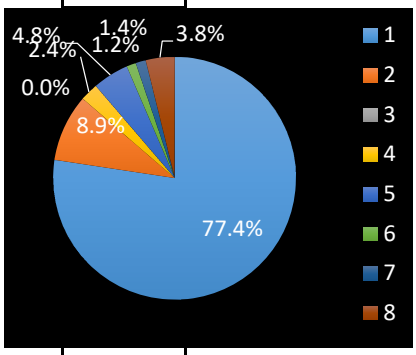
PJ(ペタジュール)＝10^{15}J

	エネルギー種	年間供給量	供給量ランク	再エネ自給率ランク	供給密度ランク	供給比率
◎	1 太陽光発電	35PJ	6	3	8	78.4%
	2 風力発電	4PJ	6	9	3	8.6%
	3 地熱発電	0PJ	13	13	13	0.0%
	4 小水力発電	1PJ	35	32	36	2.3%
	5 バイオマス発電	2PJ	22	20	17	4.7%
	6 太陽熱利用	1PJ	27	27	29	1.1%
	7 地熱利用	1PJ	12	14	10	1.3%
	8.バイオマス熱利用	2PJ	11	11	11	3.6%
	合計（供給量）	44PJ	10			
	再生可能エネルギー自給率			44.0%	再エネ自給率ランク	6
	食料自給率			37.0%	食料自給率ランク	24
	供給密度(TJ/km^2)			7.675	供給密度ランク	9
	民生・農林水産用エネルギー需要（再エネ熱含む）			101PJ		
	区域面積			5,774km2		

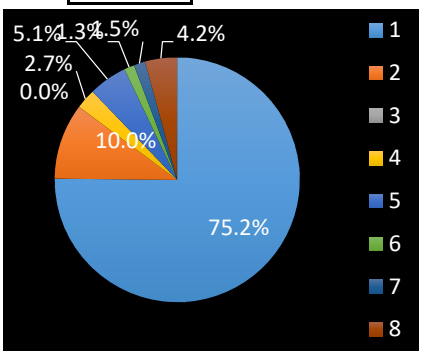
2021年度　44PJ　対前年度比　107.0%



2020年度　41PJ　対前年度比　110.2%



2019年度　38PJ



※　円グラフの数字は、12時の位置から時計回りにエネルギー種の番号に対応します。

再生可能エネルギー自給率・供給密度・食料自給率市区町村別top10

再生可能エネルギー自給率			再生可能エネルギー供給密度			食料自給率		
順位	市区町村	自給率	順位	市区町村	供給密度	順位	市区町村	自給率
☆1	度会郡度会町	383.3%	1	三重郡川越町	115.7	☆1	度会郡南伊勢町	334.8%
☆2	多気郡大台町	162.4%	2	多気郡明和町	21.2	☆2	桑名郡木曽岬町	127.8%
☆3	多気郡多気町	154.3%	3	員弁郡東員町	20.1	☆3	度会郡玉城町	111.7%
☆4	伊賀市	100.3%	4	四日市市	18.1	☆4	多気郡多気町	106.3%
5	多気郡明和町	90.5%	5	鈴鹿市	17.9	☆5	鳥羽市	104.7%
6	いなべ市	86.8%	6	三重郡菰野町	13.8	☆6	多気郡明和町	102.2%
7	鳥羽市	79.8%	7	桑名市	12.7	7	北牟婁郡紀北町	93.5%
8	三重郡菰野町	78.9%	8	三重郡朝日町	11.9	8	南牟婁郡御浜町	93.2%
9	北牟婁郡紀北町	73.5%	9	津市	10.5	9	伊賀市	90.0%
10	志摩市	68.8%	10	志摩市	10.3	10	度会郡大紀町	65.4%

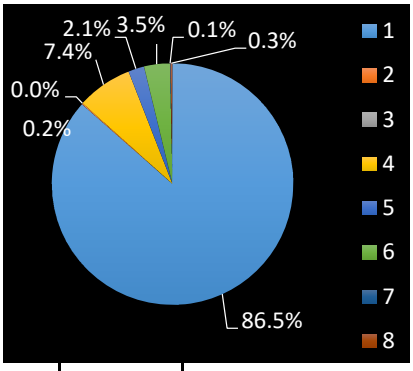
※　再生可能エネルギー自給率とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の民生・農林水産用エネルギー需要で割った値です。

※　再生可能エネルギー供給密度とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の面積で割った値です。
※　食料自給率は、農林水産省が公表している地域食料自給率ソフトを用いてカロリーベースで計算しています。

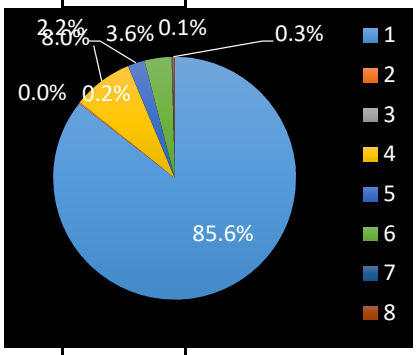
※　自給率が100%を超えている場合には順位に☆がつきます。

滋賀県

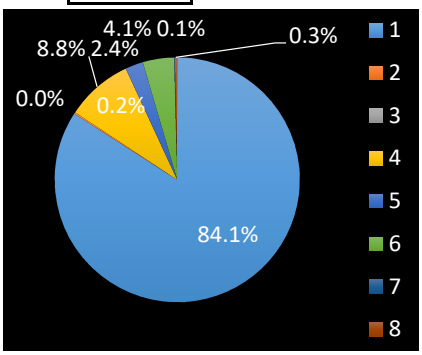
2021年度　13PJ　対前年度比　108.2%



2020年度　12PJ　対前年度比　110.1%



2019年度　11PJ



※ 円グラフの数字は、12時の位置から時計回りにエネルギー種の番号に対応します。

再生可能エネルギー供給状況

2022年3月末の設備状況をもとに2021年度について推計しました。

主たる再生エネ種　供給比率20%以上：◎　同10%以上○

PJ(ペタジュール)＝10^{15}J

	エネルギー種	年間供給量	供給量ランク	再エネ自給率ランク	供給密度ランク	供給比率
◎	1 太陽光発電	11PJ	29	23	21	86.5%
	2 風力発電	0PJ	36	34	36	0.2%
	3 地熱発電	0PJ	13	13	13	0.0%
	4 小水力発電	1PJ	36	29	30	7.4%
	5 バイオマス発電	0PJ	47	47	47	2.1%
	6 太陽熱利用	0PJ	29	23	20	3.5%
	7 地熱利用	0PJ	44	44	44	0.1%
	8.バイオマス熱利用	0PJ	47	47	47	0.3%
	合計（供給量）	13PJ	40			
	再生可能エネルギー自給率			18.5%	再エネ自給率ランク	33
	食料自給率			45.5%	食料自給率ランク	20
	供給密度(TJ/km^2)			3.298	供給密度ランク	30
	民生・農林水産用エネルギー需要（再エネ熱含む）			72PJ		
	区域面積			4,017km2		

再生可能エネルギー自給率・供給密度・食料自給率市区町村別top10

再生可能エネルギー自給率			再生可能エネルギー供給密度			食料自給率		
順位	市区町村	自給率	順位	市区町村	供給密度	順位	市区町村	自給率
1	蒲生郡日野町	65.3%	1	草津市	10.0	☆1	蒲生郡竜王町	164.8%
2	高島市	45.7%	2	犬上郡豊郷町	10.0	☆2	犬上郡甲良町	151.7%
3	米原市	45.6%	3	愛知郡愛荘町	8.9	☆3	高島市	117.1%
4	甲賀市	44.3%	4	犬上郡甲良町	7.8	☆4	東近江市	106.9%
5	犬上郡甲良町	40.4%	5	栗東市	7.6	5	蒲生郡日野町	98.7%
6	愛知郡愛荘町	39.6%	6	守山市	6.4	6	愛知郡愛荘町	93.9%
7	蒲生郡竜王町	37.4%	7	湖南市	5.7	7	近江八幡市	84.2%
8	犬上郡多賀町	34.1%	8	蒲生郡竜王町	5.7	8	長浜市	82.2%
9	東近江市	32.7%	9	蒲生郡日野町	5.6	9	犬上郡多賀町	80.4%
10	犬上郡豊郷町	21.6%	10	彦根市	4.9	10	犬上郡豊郷町	76.6%

※ 再生可能エネルギー自給率とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の民生・農林水産用エネルギー需要で割った値です。

※ 再生可能エネルギー供給密度とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の面積で割った値です。

※ 食料自給率は、農林水産省が公表している地域食料自給率ソフトを用いてカロリーベースで計算しています。

※ 自給率が100%を超えている場合には順位に☆がつきます。

京都府

再生可能エネルギー供給状況

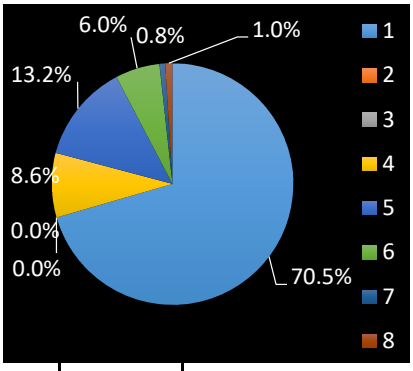
2022年3月末の設備状況をもとに2021年度について推計しました。

主たる再生エネ種　供給比率20%以上：◎　同10%以上○

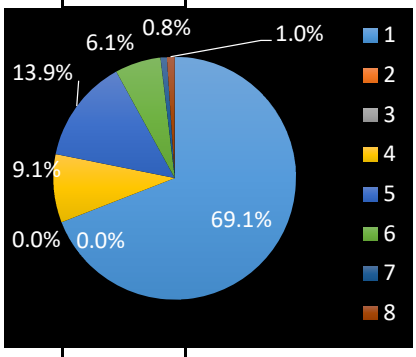
PJ(ペタジュール)＝10^{15}J

	エネルギー種	年間供給量	供給量ランク	再エネ自給率ランク	供給密度ランク	供給比率
◎	1 太陽光発電	7PJ	37	43	36	70.5%
	2 風力発電	0PJ	41	41	41	0.0%
	3 地熱発電	0PJ	13	13	13	0.0%
	4 小水力発電	1PJ	38	37	33	8.6%
○	5 バイオマス発電	1PJ	34	45	22	13.2%
	6 太陽熱利用	1PJ	24	30	15	6.0%
	7 地熱利用	0PJ	33	33	34	0.8%
	8.バイオマス熱利用	0PJ	46	46	45	1.0%
	合計（供給量）	10PJ	44			
	再生可能エネルギー自給率			7.3%	再エネ自給率ランク	44
	食料自給率			11.0%	食料自給率ランク	42
	供給密度(TJ/km^2)			2.261	供給密度ランク	40
	民生・農林水産用エネルギー需要（再エネ熱含む）			141PJ		
	区域面積			4,585km2		

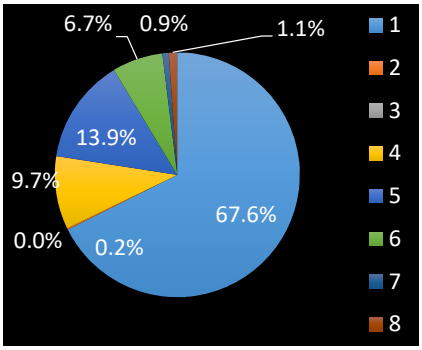
2021年度　10PJ　対前年度比　105.3%



2020年度　10PJ　対前年度比　106.6%



2019年度　9PJ



※　円グラフの数字は、12時の位置から時計回りにエネルギー種の番号に対応します。

再生可能エネルギー自給率・供給密度・食料自給率市区町村別top10

再生可能エネルギー自給率			再生可能エネルギー供給密度			食料自給率		
順位	市区町村	自給率	順位	市区町村	供給密度	順位	市区町村	自給率
☆1	相楽郡南山城村	169.8%	1	木津川市	87.2	☆1	与謝郡伊根町	219.2%
☆2	相楽郡笠置町	103.1%	2	城陽市	11.1	☆2	船井郡京丹波町	129.6%
3	船井郡京丹波町	91.9%	3	向日市	10.0	3	京丹後市	96.2%
4	綴喜郡宇治田原町	62.5%	4	長岡京市	9.1	4	南丹市	90.1%
5	南丹市	33.3%	5	相楽郡精華町	8.9	5	綾部市	80.7%
6	綾部市	26.7%	6	八幡市	7.6	6	与謝郡与謝野町	59.8%
7	相楽郡和束町	23.8%	7	京田辺市	7.0	7	相楽郡南山城村	54.9%
8	木津川市	18.0%	8	宇治市	5.8	8	宮津市	43.2%
9	亀岡市	16.8%	9	久世郡久御山町	5.6	9	福知山市	36.2%
10	相楽郡精華町	15.2%	10	綴喜郡宇治田原町	4.2	10	亀岡市	34.7%

※　再生可能エネルギー自給率とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の民生・農林水産用エネルギー需要で割った値です。

※　再生可能エネルギー供給密度とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の面積で割った値です。

※　食料自給率は、農林水産省が公表している地域食料自給率ソフトを用いてカロリーベースで計算しています。

※　自給率が100%を超えている場合には順位に☆がつきます。

大阪府

再生可能エネルギー供給状況

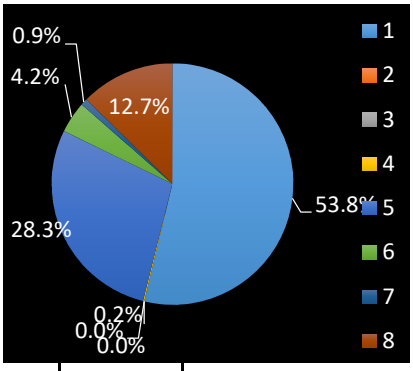
2022年3月末の設備状況をもとに2021年度について推計しました。

主たる再生エネ種　供給比率20%以上：◎　同10%以上○

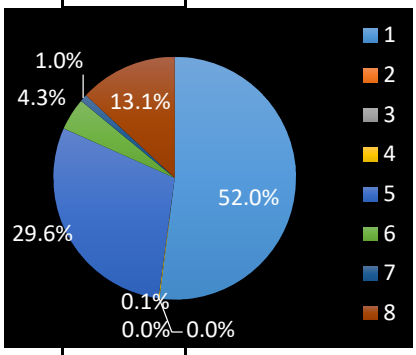
PJ(ペタジュール)＝10^{15}J

	エネルギー種	年間供給量	供給量ランク	再エネ自給率ランク	供給密度ランク	供給比率
◎	1 太陽光発電	15PJ	23	45	3	53.8%
	2 風力発電	0PJ	42	42	42	0.0%
	3 地熱発電	0PJ	13	13	13	0.0%
	4 小水力発電	0PJ	46	46	44	0.2%
◎	5 バイオマス発電	8PJ	4	29	3	28.3%
	6 太陽熱利用	1PJ	8	37	1	4.2%
	7 地熱利用	0PJ	24	35	7	0.9%
○	8.バイオマス熱利用	4PJ	1	27	1	12.7%
	合計（供給量）	28PJ	25			
	再生可能エネルギー自給率			5.7%	再エネ自給率ランク	46
	食料自給率			1.3%	食料自給率ランク	46
	供給密度(TJ/km^2)			14.629	供給密度ランク	1
	民生・農林水産用エネルギー需要（再エネ熱含む）			487PJ		
	区域面積			1,905km2		

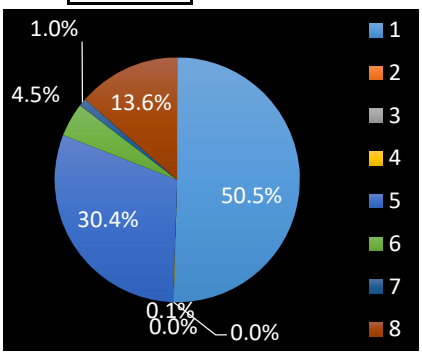
2021年度　28PJ　対前年度比　103.0%



2020年度　27PJ　対前年度比　104.0%



2019年度　26PJ



※　円グラフの数字は、12時の位置から時計回りにエネルギー種の番号に対応します。

再生可能エネルギー自給率・供給密度・食料自給率市区町村別top10

再生可能エネルギー自給率			再生可能エネルギー供給密度			食料自給率		
順位	市区町村	自給率	順位	市区町村	供給密度	順位	市区町村	自給率
1	泉南郡岬町	53.9%	1	豊中市	35.8	1	豊能郡能勢町	95.7%
2	豊能郡能勢町	24.4%	2	泉大津市	31.9	2	南河内郡河南町	37.5%
3	泉南市	20.3%	3	大阪市	31.0	3	南河内郡千早赤阪村	23.5%
4	豊能郡豊能町	19.7%	4	八尾市	25.0	4	南河内郡太子町	10.0%
5	柏原市	16.9%	5	寝屋川市	25.0	5	豊能郡豊能町	9.5%
6	四條畷市	16.8%	6	堺市	24.2	6	阪南市	7.8%
7	南河内郡河南町	16.5%	7	東大阪市	20.7	7	泉南郡岬町	7.4%
8	南河内郡千早赤阪村	15.8%	8	柏原市	19.8	8	泉南市	6.9%
9	南河内郡太子町	14.5%	9	茨木市	18.5	9	泉佐野市	6.8%
10	泉大津市	14.1%	10	四條畷市	18.3	10	岸和田市	5.8%

※　再生可能エネルギー自給率とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の民生・農林水産用エネルギー需要で割った値です。

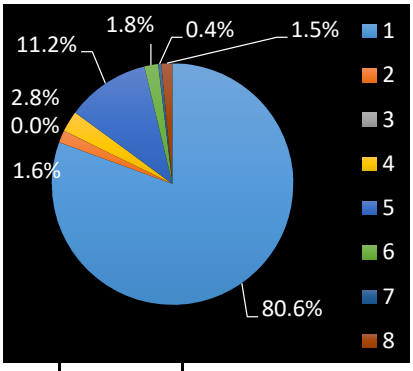
※　再生可能エネルギー供給密度とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の面積で割った値です。

※　食料自給率は、農林水産省が公表している地域食料自給率ソフトを用いてカロリーベースで計算しています。

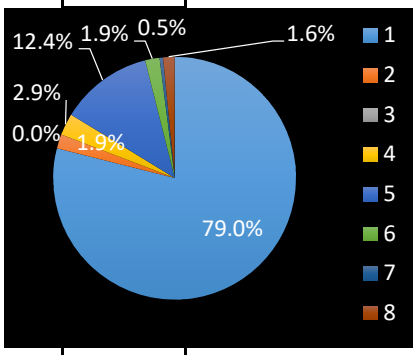
※　自給率が100%を超えている場合には順位に☆がつきます。

兵庫県

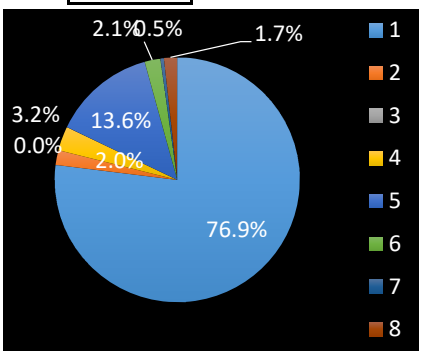
2021年度　47PJ　対前年度比　103.1%



2020年度　46PJ　対前年度比　110.7%



2019年度　41PJ



※ 円グラフの数字は、12時の位置から時計回りにエネルギー種の番号に対応します。

再生可能エネルギー供給状況

2022年3月末の設備状況をもとに2021年度について推計しました。

主たる再生エネ種　供給比率20%以上：◎　同10%以上○

PJ(ペタジュール)＝10^{15}J

	エネルギー種	年間供給量	供給量ランク	再エネ自給率ランク	供給密度ランク	供給比率
◎	1 太陽光発電	38PJ	3	27	12	80.6%
	2 風力発電	1PJ	22	27	28	1.6%
	3 地熱発電	0PJ	13	13	13	0.0%
	4 小水力発電	1PJ	32	38	37	2.8%
○	5 バイオマス発電	5PJ	7	22	10	11.2%
	6 太陽熱利用	1PJ	14	31	25	1.8%
	7 地熱利用	0PJ	28	30	31	0.4%
	8.バイオマス熱利用	1PJ	31	41	33	1.5%
	合計（供給量）	47PJ	6			
	再生可能エネルギー自給率			17.8%	再エネ自給率ランク	34
	食料自給率			14.3%	食料自給率ランク	39
	供給密度(TJ/km^2)			5.636	供給密度ランク	16
	民生・農林水産用エネルギー需要（再エネ熱含む）			267PJ		
	区域面積			8,401km2		

再生可能エネルギー自給率・供給密度・食料自給率市区町村別top10

再生可能エネルギー自給率			再生可能エネルギー供給密度			食料自給率		
順位	市区町村	自給率	順位	市区町村	供給密度	順位	市区町村	自給率
☆1	赤穂郡上郡町	210.0%	1	尼崎市	29.4	☆1	南あわじ市	126.3%
☆2	淡路市	145.0%	2	明石市	25.7	☆2	丹波篠山市	103.2%
☆3	佐用郡佐用町	113.6%	3	加古郡稲美町	22.4	3	美方郡新温泉町	93.0%
☆4	神崎郡神河町	104.7%	4	加古郡播磨町	19.2	4	加西市	90.9%
☆5	加西市	103.8%	5	高砂市	18.0	5	佐用郡佐用町	86.4%
6	赤穂市	95.9%	6	赤穂市	16.6	6	丹波市	85.7%
7	南あわじ市	88.8%	7	淡路市	16.0	7	加東市	78.6%
8	丹波市	84.2%	8	西宮市	15.9	8	淡路市	77.0%
9	多可郡多可町	81.2%	9	小野市	13.7	9	美方郡香美町	76.3%
10	宍粟市	74.6%	10	伊丹市	12.8	10	多可郡多可町	73.1%

※ 再生可能エネルギー自給率とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の民生・農林水産用エネルギー需要で割った値です。

※ 再生可能エネルギー供給密度とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の面積で割った値です。

※ 食料自給率は、農林水産省が公表している地域食料自給率ソフトを用いてカロリーベースで計算しています。

※ 自給率が100%を超えている場合には順位に☆がつきます。

奈良県

再生可能エネルギー供給状況

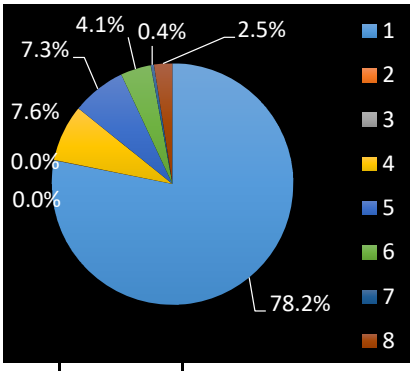
2022年3月末の設備状況をもとに2021年度について推計しました。

主たる再生エネ種　供給比率20%以上：◎　同10%以上○

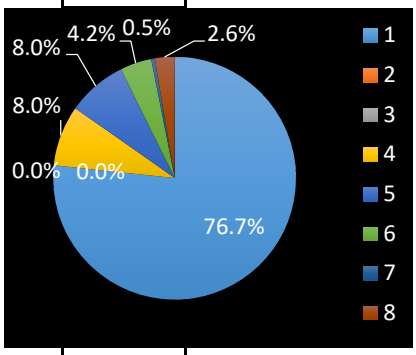
PJ(ペタジュール)＝10^{15}J

	エネルギー種	年間供給量	供給量ランク	再エネ自給率ランク	供給密度ランク	供給比率
◎	1 太陽光発電	7PJ	36	31	32	78.2%
	2 風力発電	0PJ	39	39	39	0.0%
	3 地熱発電	0PJ	13	13	13	0.0%
	4 小水力発電	1PJ	39	31	32	7.6%
	5 バイオマス発電	1PJ	43	43	37	7.3%
	6 太陽熱利用	0PJ	32	24	23	4.1%
	7 地熱利用	0PJ	38	32	37	0.4%
	8.バイオマス熱利用	0PJ	43	38	36	2.5%
	合計（供給量）	10PJ	45			
	再生可能エネルギー自給率			13.8%	再エネ自給率ランク	40
	食料自給率			13.2%	食料自給率ランク	41
	供給密度(TJ/km^2)			2.595	供給密度ランク	39
	民生・農林水産用エネルギー需要（再エネ熱含む）			70PJ		
	区域面積			3,691km2		

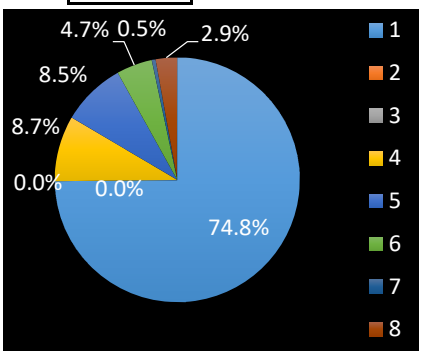
2021年度　10PJ　対前年度比　106.5%



2020年度　9PJ　対前年度比　108.6%



2019年度　8PJ



※　円グラフの数字は、12時の位置から時計回りにエネルギー種の番号に対応します。

再生可能エネルギー自給率・供給密度・食料自給率市区町村別top10

再生可能エネルギー自給率			再生可能エネルギー供給密度			食料自給率		
順位	市区町村	自給率	順位	市区町村	供給密度	順位	市区町村	自給率
☆1	吉野郡上北山村	296.0%	1	吉野郡大淀町	18.7	☆1	宇陀郡御杖村	106.8%
☆2	吉野郡吉野町	158.7%	2	橿原市	12.8	2	五條市	81.1%
3	吉野郡大淀町	80.1%	3	生駒郡安堵町	12.7	3	山辺郡山添村	73.9%
4	山辺郡山添村	46.8%	4	大和高田市	12.2	4	宇陀郡曽爾村	63.8%
5	宇陀郡御杖村	43.0%	5	香芝市	12.1	5	高市郡明日香村	59.4%
6	五條市	41.2%	6	北葛城郡王寺町	11.4	6	宇陀市	47.0%
7	御所市	35.6%	7	磯城郡三宅町	11.1	7	御所市	42.5%
8	宇陀市	30.2%	8	北葛城郡広陵町	10.7	8	磯城郡田原本町	34.0%
9	高市郡高取町	27.4%	9	磯城郡川西町	10.7	9	磯城郡三宅町	32.8%
10	吉野郡下市町	26.6%	10	北葛城郡上牧町	10.3	10	高市郡高取町	31.1%

※　再生可能エネルギー自給率とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の民生・農林水産用エネルギー需要で割った値です。

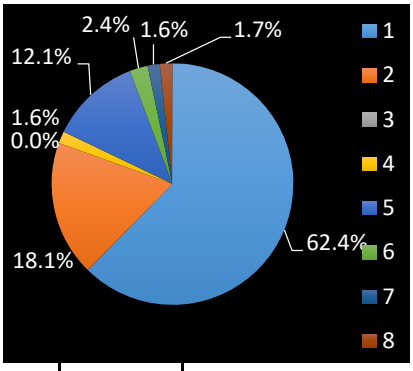
※　再生可能エネルギー供給密度とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の面積で割った値です。

※　食料自給率は、農林水産省が公表している地域食料自給率ソフトを用いてカロリーベースで計算しています。

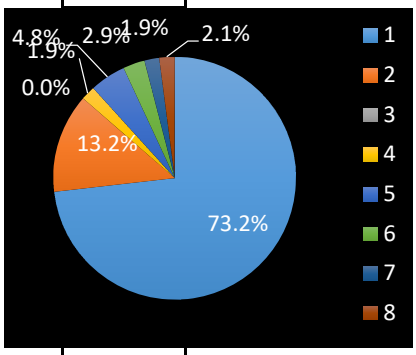
※　自給率が100%を超えている場合には順位に☆がつきます。

和歌山県

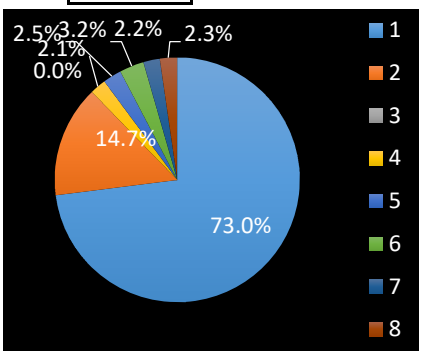
2021年度　16PJ　対前年度比　119.6%



2020年度　14PJ　対前年度比　111.5%



2019年度　12PJ



※ 円グラフの数字は、12時の位置から時計回りにエネルギー種の番号に対応します。

再生可能エネルギー供給状況

2022年3月末の設備状況をもとに2021年度について推計しました。

主たる再生エネ種　供給比率20%以上：◎　同10%以上○

PJ(ペタジュール)＝10^{15}J

	エネルギー種	年間供給量	供給量ランク	再エネ自給率ランク	供給密度ランク	供給比率
◎	1 太陽光発電	10PJ	32	16	31	62.4%
○	2 風力発電	3PJ	8	3	4	18.1%
	3 地熱発電	0PJ	13	13	13	0.0%
	4 小水力発電	0PJ	42	39	43	1.6%
○	5 バイオマス発電	2PJ	24	7	14	12.1%
	6 太陽熱利用	0PJ	30	17	30	2.4%
	7 地熱利用	0PJ	22	18	21	1.6%
	8.バイオマス熱利用	0PJ	41	32	38	1.7%
	合計（供給量）	16PJ	32			
	再生可能エネルギー自給率			31.0%	再エネ自給率ランク	20
	食料自給率			26.0%	食料自給率ランク	33
	供給密度(TJ/km^2)			3.469	供給密度ランク	29
	民生・農林水産用エネルギー需要（再エネ熱含む）			53PJ		
	区域面積			4,725km2		

再生可能エネルギー自給率・供給密度・食料自給率市区町村別top10

再生可能エネルギー自給率			再生可能エネルギー供給密度			食料自給率		
順位	市区町村	自給率	順位	市区町村	供給密度	順位	市区町村	自給率
☆1	日高郡日高川町	438.1%	1	岩出市	17.4	☆1	日高郡みなべ町	132.6%
☆2	日高郡印南町	154.8%	2	有田市	17.2	2	有田郡有田川町	80.5%
☆3	有田郡広川町	139.8%	3	西牟婁郡上富田町	14.8	3	有田郡広川町	80.0%
☆4	西牟婁郡すさみ町	138.1%	4	和歌山市	13.4	4	日高郡印南町	79.3%
☆5	西牟婁郡上富田町	113.8%	5	日高郡美浜町	10.0	5	日高郡日高町	78.6%
6	新宮市	79.6%	6	有田郡広川町	7.3	6	日高郡日高川町	72.0%
7	日高郡由良町	73.1%	7	御坊市	7.0	7	伊都郡かつらぎ町	60.3%
8	有田郡有田川町	66.2%	8	日高郡由良町	6.9	8	紀の川市	54.3%
9	西牟婁郡白浜町	51.9%	9	日高郡日高川町	6.5	9	有田郡湯浅町	53.4%
10	有田市	45.6%	10	新宮市	6.1	10	伊都郡九度山町	51.5%

※ 再生可能エネルギー自給率とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の民生・農林水産用エネルギー需要で割った値です。

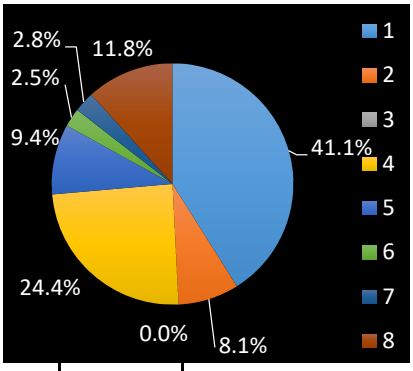
※ 再生可能エネルギー供給密度とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の面積で割った値です。

※ 食料自給率は、農林水産省が公表している地域食料自給率ソフトを用いてカロリーベースで計算しています。

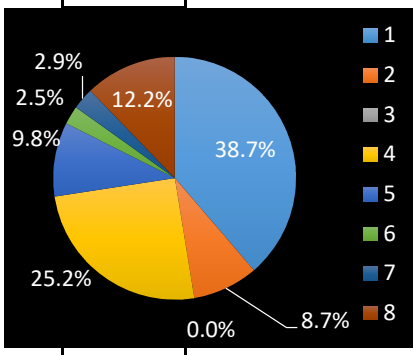
※ 自給率が100%を超えている場合には順位に☆がつきます。

鳥取県

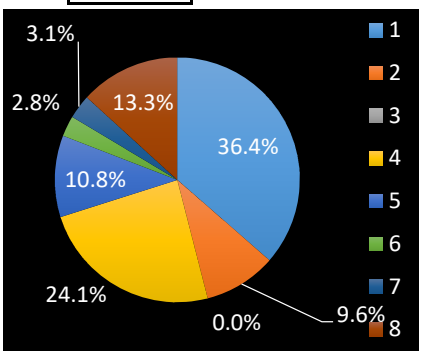
2021年度　11PJ　対前年度比　103.9%



2020年度　10PJ　対前年度比　108.5%



2019年度　10PJ



※ 円グラフの数字は、12時の位置から時計回りにエネルギー種の番号に対応します。

再生可能エネルギー供給状況

2022年3月末の設備状況をもとに2021年度について推計しました。

主たる再生エネ種　供給比率20%以上：◎　同10%以上○

PJ(ペタジュール)＝10^{15}J

	エネルギー種	年間供給量	供給量ランク	再エネ自給率ランク	供給密度ランク	供給比率
◎	1 太陽光発電	4PJ	43	29	37	41.1%
	2 風力発電	1PJ	21	14	17	8.1%
	3 地熱発電	0PJ	12	11	12	0.0%
◎	4 小水力発電	3PJ	22	5	6	24.4%
	5 バイオマス発電	1PJ	37	11	25	9.4%
	6 太陽熱利用	0PJ	37	16	32	2.5%
	7 地熱利用	0PJ	21	7	13	2.8%
○	8.バイオマス熱利用	1PJ	14	2	7	11.8%
	合計（供給量）	11PJ	43			
	再生可能エネルギー自給率			31.1%	再エネ自給率ランク	19
	食料自給率			57.9%	食料自給率ランク	15
	供給密度(TJ/km^2)			3.089	供給密度ランク	33
	民生・農林水産用エネルギー需要（再エネ熱含む）			35PJ		
	区域面積			3,507km2		

再生可能エネルギー自給率・供給密度・食料自給率市区町村別top10

再生可能エネルギー自給率			再生可能エネルギー供給密度			食料自給率		
順位	市区町村	自給率	順位	市区町村	供給密度	順位	市区町村	自給率
☆1	八頭郡若桜町	339.1%	1	境港市	33.9	☆1	日野郡日南町	301.7%
☆2	西伯郡伯耆町	124.6%	2	米子市	15.1	☆2	日野郡江府町	189.0%
☆3	西伯郡大山町	101.7%	3	東伯郡北栄町	5.9	☆3	西伯郡大山町	185.0%
4	日野郡江府町	75.8%	4	西伯郡伯耆町	5.3	☆4	境港市	165.0%
5	東伯郡三朝町	72.3%	5	西伯郡大山町	4.2	☆5	東伯郡琴浦町	120.2%
6	八頭郡八頭町	58.6%	6	鳥取市	3.4	☆6	西伯郡伯耆町	118.3%
7	東伯郡琴浦町	51.1%	7	東伯郡琴浦町	3.1	☆7	東伯郡北栄町	109.8%
8	東伯郡北栄町	47.6%	8	八頭郡若桜町	3.1	☆8	岩美郡岩美町	109.5%
9	日野郡日南町	44.0%	9	東伯郡湯梨浜町	2.9	9	日野郡日野町	98.4%
10	境港市	40.2%	10	西伯郡日吉津村	2.9	10	八頭郡八頭町	97.7%

※ 再生可能エネルギー自給率とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の民生・農林水産用エネルギー需要で割った値です。

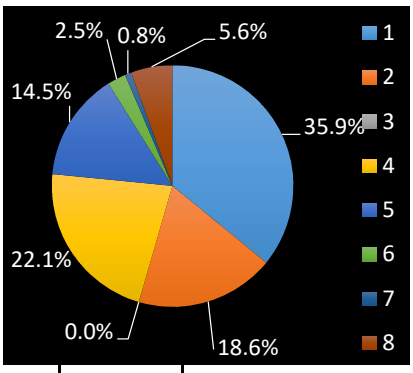
※ 再生可能エネルギー供給密度とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の面積で割った値です。

※ 食料自給率は、農林水産省が公表している地域食料自給率ソフトを用いてカロリーベースで計算しています。

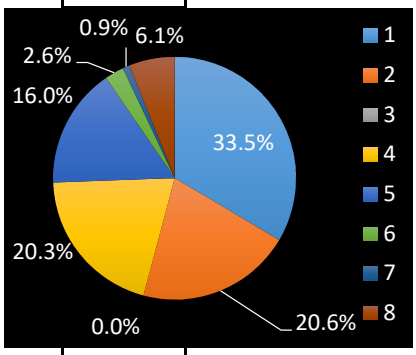
※ 自給率が100%を超えている場合には順位に☆がつきます。

島根県

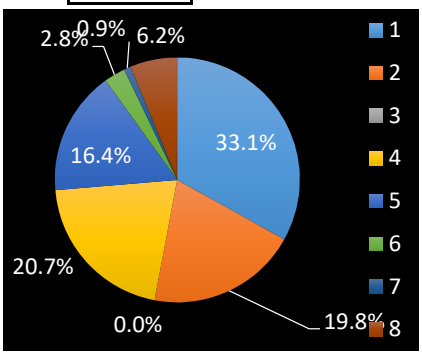
2021年度　13PJ　対前年度比　108.8%



2020年度　12PJ　対前年度比　102.5%



2019年度　11PJ



※ 円グラフの数字は、12時の位置から時計回りにエネルギー種の番号に対応します。

再生可能エネルギー供給状況

2022年3月末の設備状況をもとに2021年度について推計しました。

主たる再生エネ種　供給比率20%以上：◎　同10%以上○

PJ(ペタジュール)＝10^{15}J

	エネルギー種	年間供給量	供給量ランク	再エネ自給率ランク	供給密度ランク	供給比率
◎	1 太陽光発電	5PJ	42	32	42	35.9%
○	2 風力発電	2PJ	12	4	10	18.6%
	3 地熱発電	0PJ	13	13	13	0.0%
◎	4 小水力発電	3PJ	20	9	18	22.1%
○	5 バイオマス発電	2PJ	27	4	26	14.5%
	6 太陽熱利用	0PJ	35	20	36	2.5%
	7 地熱利用	0PJ	32	25	35	0.8%
	8.バイオマス熱利用	1PJ	32	10	30	5.6%
	合計（供給量）	13PJ	41			
	再生可能エネルギー自給率			28.5%	再エネ自給率ランク	22
	食料自給率			57.7%	食料自給率ランク	16
	供給密度(TJ/km^2)			1.909	供給密度ランク	42
	民生・農林水産用エネルギー需要（再エネ熱含む）			45PJ		
	区域面積			6,708km2		

再生可能エネルギー自給率・供給密度・食料自給率市区町村別top10

再生可能エネルギー自給率			再生可能エネルギー供給密度			食料自給率		
順位	市区町村	自給率	順位	市区町村	供給密度	順位	市区町村	自給率
☆1	江津市	169.4%	1	江津市	8.8	☆1	隠岐郡西ノ島町	423.0%
2	鹿足郡津和野町	70.2%	2	出雲市	3.9	☆2	飯石郡飯南町	301.3%
3	邑智郡邑南町	67.6%	3	松江市	3.2	☆3	隠岐郡隠岐の島町	236.5%
4	雲南市	56.7%	4	浜田市	2.7	☆4	仁多郡奥出雲町	220.4%
5	邑智郡美郷町	42.2%	5	雲南市	2.1	☆5	邑智郡邑南町	176.9%
6	浜田市	42.1%	6	隠岐郡海士町	1.5	☆6	鹿足郡吉賀町	127.9%
7	仁多郡奥出雲町	35.1%	7	邑智郡邑南町	1.3	7	安来市	100.0%
8	安来市	28.9%	8	安来市	1.3	8	大田市	91.0%
9	隠岐郡海士町	26.4%	9	鹿足郡津和野町	1.2	9	鹿足郡津和野町	88.4%
10	出雲市	24.0%	10	益田市	1.0	10	邑智郡美郷町	85.3%

※ 再生可能エネルギー自給率とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の民生・農林水産用エネルギー需要で割った値です。

※ 再生可能エネルギー供給密度とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の面積で割った値です。

※ 食料自給率は、農林水産省が公表している地域食料自給率ソフトを用いてカロリーベースで計算しています。

※ 自給率が100%を超えている場合には順位に☆がつきます。

岡山県

再生可能エネルギー供給状況

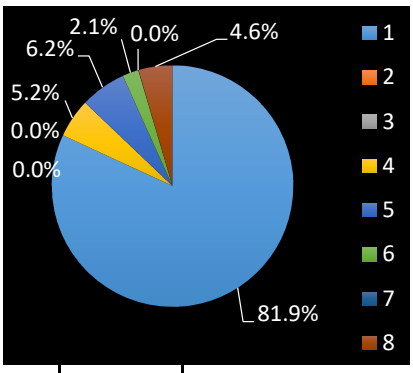
2022年3月末の設備状況をもとに2021年度について推計しました。

主たる再生エネ種　供給比率20%以上：◎　同10%以上○

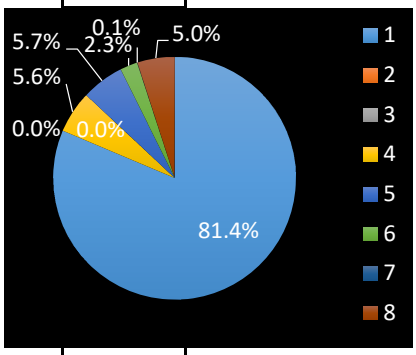
PJ(ペタジュール)＝10^{15}J

	エネルギー種	年間供給量	供給量ランク	再エネ自給率ランク	供給密度ランク	供給比率
◎	1 太陽光発電	31PJ	10	4	14	81.9%
	2 風力発電	0PJ	42	42	42	0.0%
	3 地熱発電	0PJ	13	13	13	0.0%
	4 小水力発電	2PJ	25	26	27	5.2%
	5 バイオマス発電	2PJ	18	15	20	6.2%
	6 太陽熱利用	1PJ	15	11	21	2.1%
	7 地熱利用	0PJ	43	42	43	0.0%
	8.バイオマス熱利用	2PJ	9	7	14	4.6%
	合計（供給量）	38PJ	15			
	再生可能エネルギー自給率			41.4%	再エネ自給率ランク	8
	食料自給率			32.5%	食料自給率ランク	28
	供給密度(TJ/km^2)			5.287	供給密度ランク	17
	民生・農林水産用エネルギー需要（再エネ熱含む）			91PJ		
	区域面積			7,107km2		

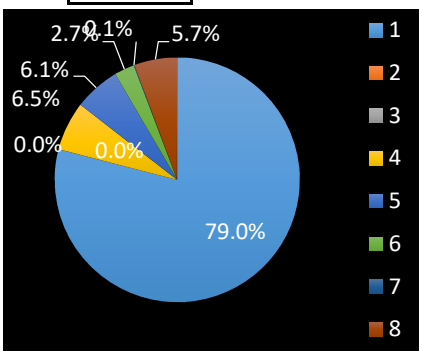
2021年度　38PJ　対前年度比　108.9%



2020年度　35PJ　対前年度比　115.1%



2019年度　30PJ



※　円グラフの数字は、12時の位置から時計回りにエネルギー種の番号に対応します。

再生可能エネルギー自給率・供給密度・食料自給率市区町村別top10

再生可能エネルギー自給率			再生可能エネルギー供給密度			食料自給率		
順位	市区町村	自給率	順位	市区町村	供給密度	順位	市区町村	自給率
☆1	美作市	316.1%	1	瀬戸内市	25.6	☆1	真庭郡新庄村	205.0%
☆2	和気郡和気町	272.8%	2	都窪郡早島町	23.1	☆2	加賀郡吉備中央町	192.7%
☆3	久米郡久米南町	256.2%	3	笠岡市	12.7	☆3	勝田郡奈義町	163.4%
☆4	勝田郡奈義町	221.5%	4	和気郡和気町	11.3	☆4	久米郡久米南町	141.1%
☆5	瀬戸内市	201.8%	5	倉敷市	11.1	☆5	苫田郡鏡野町	138.8%
☆6	苫田郡鏡野町	158.5%	6	勝田郡奈義町	10.6	☆6	勝田郡勝央町	113.9%
☆7	真庭市	136.7%	7	玉野市	9.6	☆7	久米郡美咲町	111.3%
☆8	加賀郡吉備中央町	124.3%	8	浅口郡里庄町	9.4	☆8	美作市	100.9%
☆9	久米郡美咲町	120.3%	9	浅口市	9.3	☆9	真庭市	100.0%
10	赤磐市	90.3%	10	美作市	8.8	10	英田郡西粟倉村	90.2%

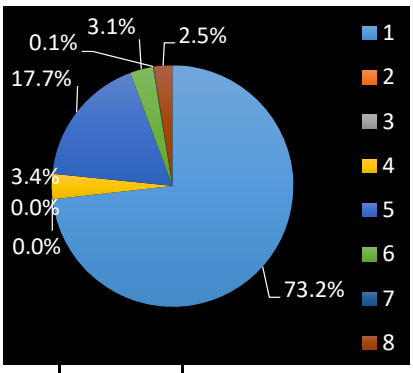
※　再生可能エネルギー自給率とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の民生・農林水産用エネルギー需要で割った値です。

※　再生可能エネルギー供給密度とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の面積で割った値です。
※　食料自給率は、農林水産省が公表している地域食料自給率ソフトを用いてカロリーベースで計算しています。

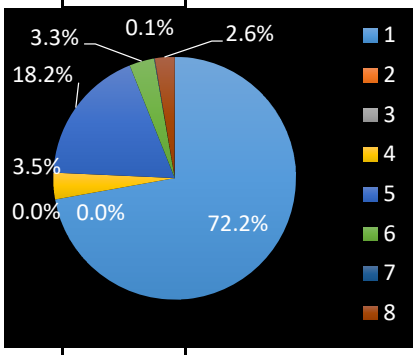
※　自給率が100%を超えている場合には順位に☆がつきます。

広島県

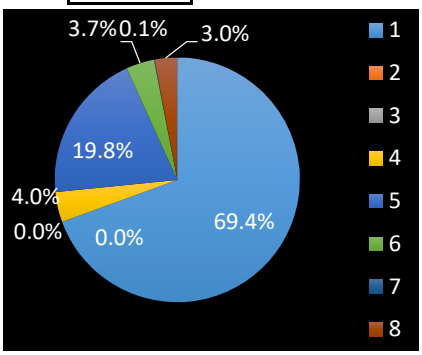
2021年度　31PJ　対前年度比　104.9%



2020年度　30PJ　対前年度比　112.8%



2019年度　26PJ



※ 円グラフの数字は、12時の位置から時計回りにエネルギー種の番号に対応します。

再生可能エネルギー供給状況

2022年3月末の設備状況をもとに2021年度について推計しました。

主たる再生エネ種　供給比率20%以上：◎　同10%以上○

PJ(ペタジュール)＝10^{15}J

	エネルギー種	年間供給量	供給量ランク	再エネ自給率ランク	供給密度ランク	供給比率
◎	1 太陽光発電	23PJ	17	25	24	73.2%
	2 風力発電	0PJ	42	42	42	0.0%
	3 地熱発電	0PJ	13	13	13	0.0%
	4 小水力発電	1PJ	34	34	39	3.4%
○	5 バイオマス発電	6PJ	5	8	8	17.7%
	6 太陽熱利用	1PJ	11	22	19	3.1%
	7 地熱利用	0PJ	42	43	42	0.1%
	8.バイオマス熱利用	1PJ	27	33	32	2.5%
	合計（供給量）	31PJ	20			
	再生可能エネルギー自給率			20.9%	再エネ自給率ランク	29
	食料自給率			19.5%	食料自給率ランク	36
	供給密度(TJ/km^2)			3.688	供給密度ランク	25
	民生・農林水産用エネルギー需要（再エネ熱含む）			149PJ		
	区域面積			8,480km2		

再生可能エネルギー自給率・供給密度・食料自給率市区町村別top10

再生可能エネルギー自給率			再生可能エネルギー供給密度			食料自給率		
順位	市区町村	自給率	順位	市区町村	供給密度	順位	市区町村	自給率
☆1	山県郡北広島町	120.9%	1	安芸郡海田町	26.7	☆1	世羅郡世羅町	264.3%
2	神石郡神石高原町	92.0%	2	安芸郡府中町	22.9	☆2	山県郡北広島町	231.6%
3	安芸高田市	79.0%	3	呉市	13.4	☆3	庄原市	210.4%
4	世羅郡世羅町	70.2%	4	安芸郡熊野町	7.3	☆4	神石郡神石高原町	174.9%
5	庄原市	69.9%	5	福山市	7.1	☆5	安芸高田市	170.3%
6	廿日市市	52.7%	6	東広島市	6.0	☆6	三次市	119.3%
7	三次市	49.4%	7	廿日市市	5.5	7	江田島市	90.8%
8	豊田郡大崎上島町	45.1%	8	尾道市	5.5	8	山県郡安芸太田町	62.7%
9	呉市	41.7%	9	豊田郡大崎上島町	4.4	9	三原市	49.4%
10	東広島市	39.9%	10	広島市	4.1	10	東広島市	33.9%

※ 再生可能エネルギー自給率とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の民生・農林水産用エネルギー需要で割った値です。

※ 再生可能エネルギー供給密度とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の面積で割った値です。

※ 食料自給率は、農林水産省が公表している地域食料自給率ソフトを用いてカロリーベースで計算しています。

※ 自給率が100%を超えている場合には順位に☆がつきます。

山口県

再生可能エネルギー供給状況

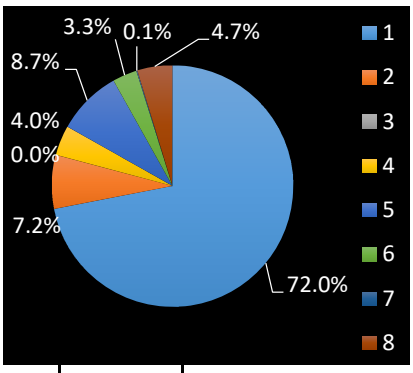
2022年3月末の設備状況をもとに2021年度について推計しました。

主たる再生エネ種　供給比率20%以上：◎　同10%以上○

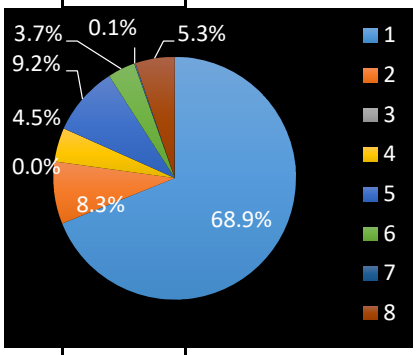
PJ(ペタジュール)＝10^{15}J

	エネルギー種	年間供給量	供給量ランク	再エネ自給率ランク	供給密度ランク	供給比率
◎	1 太陽光発電	17PJ	22	12	23	72.0%
	2 風力発電	2PJ	16	15	14	7.2%
	3 地熱発電	0PJ	13	13	13	0.0%
	4 小水力発電	1PJ	37	30	38	4.0%
	5 バイオマス発電	2PJ	21	12	19	8.7%
	6 太陽熱利用	1PJ	17	4	16	3.3%
	7 地熱利用	0PJ	41	36	41	0.1%
	8.バイオマス熱利用	1PJ	19	12	18	4.7%
	合計（供給量）	24PJ	27			
	再生可能エネルギー自給率			33.4%	再エネ自給率ランク	17
	食料自給率			28.0%	食料自給率ランク	32
	供給密度(TJ/km^2)			3.892	供給密度ランク	24
	民生・農林水産用エネルギー需要（再エネ熱含む）			71PJ		
	区域面積			6,113km2		

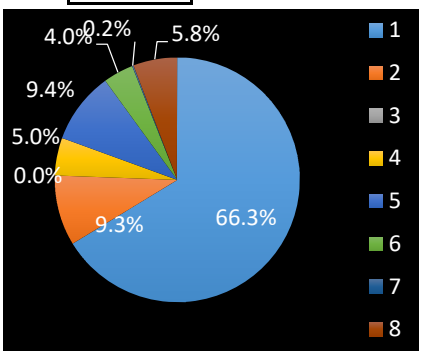
2021年度　24PJ　対前年度比　111.4%



2020年度　21PJ　対前年度比　111.1%



2019年度　19PJ



※　円グラフの数字は、12時の位置から時計回りにエネルギー種の番号に対応します。

再生可能エネルギー自給率・供給密度・食料自給率市区町村別top10

再生可能エネルギー自給率			再生可能エネルギー供給密度			食料自給率		
順位	市区町村	自給率	順位	市区町村	供給密度	順位	市区町村	自給率
☆1	美祢市	147.2%	1	熊毛郡平生町	32.7	☆1	阿武郡阿武町	229.4%
☆2	熊毛郡平生町	121.0%	2	山陽小野田市	14.0	☆2	美祢市	123.6%
3	山陽小野田市	65.6%	3	防府市	10.5	3	長門市	81.2%
4	熊毛郡田布施町	56.5%	4	下松市	10.4	4	萩市	79.6%
5	柳井市	44.1%	5	宇部市	8.9	5	山口市	46.6%
6	防府市	36.2%	6	熊毛郡田布施町	6.2	6	大島郡周防大島町	39.8%
7	大島郡周防大島町	34.9%	7	下関市	5.6	7	柳井市	34.6%
8	岩国市	33.0%	8	柳井市	5.6	8	熊毛郡田布施町	27.6%
9	下松市	31.7%	9	光市	5.5	9	下関市	27.2%
10	宇部市	30.7%	10	美祢市	3.9	10	山陽小野田市	20.7%

※　再生可能エネルギー自給率とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の民生・農林水産用エネルギー需要で割った値です。

※　再生可能エネルギー供給密度とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の面積で割った値です。

※　食料自給率は、農林水産省が公表している地域食料自給率ソフトを用いてカロリーベースで計算しています。

※　自給率が100%を超えている場合には順位に☆がつきます。

徳島県

再生可能エネルギー供給状況

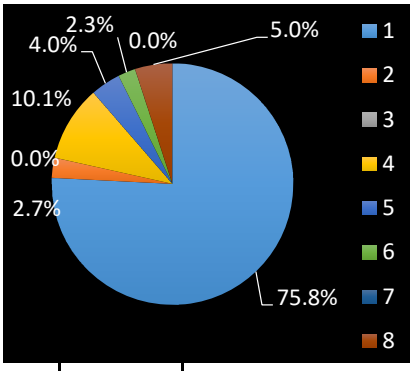
2022年3月末の設備状況をもとに2021年度について推計しました。

主たる再生エネ種　供給比率20%以上：◎　同10%以上○

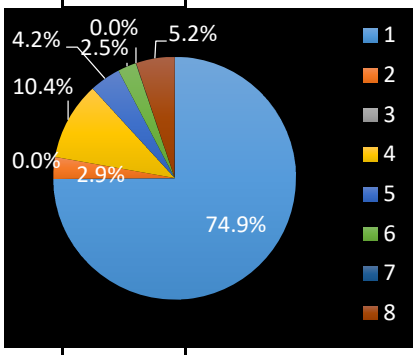
PJ(ペタジュール)＝10^{15}J

	エネルギー種	年間供給量	供給量ランク	再エネ自給率ランク	供給密度ランク	供給比率
◎	1 太陽光発電	11PJ	30	9	25	75.8%
	2 風力発電	0PJ	29	22	26	2.7%
	3 地熱発電	0PJ	13	13	13	0.0%
○	4 小水力発電	1PJ	30	19	24	10.1%
	5 バイオマス発電	1PJ	45	33	43	4.0%
	6 太陽熱利用	0PJ	33	13	31	2.3%
	7 地熱利用	0PJ	47	46	47	0.0%
	8.バイオマス熱利用	1PJ	30	9	19	5.0%
	合計（供給量）	15PJ	35			
	再生可能エネルギー自給率			34.7%	再エネ自給率ランク	15
	食料自給率			33.6%	食料自給率ランク	27
	供給密度(TJ/km^2)			3.516	供給密度ランク	27
	民生・農林水産用エネルギー需要（再エネ熱含む）			42PJ		
	区域面積			4,147km2		

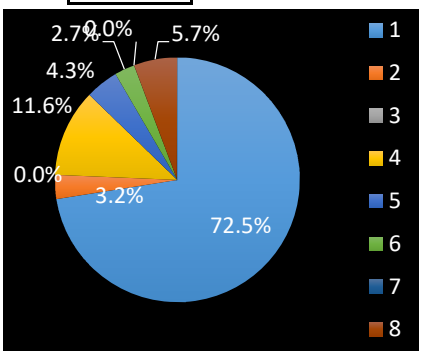
2021年度　15PJ　対前年度比　103.0%



2020年度　14PJ　対前年度比　111.1%



2019年度　13PJ



※　円グラフの数字は、12時の位置から時計回りにエネルギー種の番号に対応します。

再生可能エネルギー自給率・供給密度・食料自給率市区町村別top10

再生可能エネルギー自給率			再生可能エネルギー供給密度			食料自給率		
順位	市区町村	自給率	順位	市区町村	供給密度	順位	市区町村	自給率
☆1	名東郡佐那河内村	498.6%	1	小松島市	32.0	☆1	阿波市	121.4%
☆2	阿波市	141.8%	2	板野郡北島町	20.0	2	勝浦郡勝浦町	81.9%
☆3	三好市	123.2%	3	板野郡松茂町	12.1	3	海部郡海陽町	79.7%
4	板野郡上板町	75.2%	4	板野郡藍住町	11.9	4	名東郡佐那河内村	71.2%
5	美馬市	74.7%	5	板野郡上板町	11.3	5	板野郡上板町	64.1%
6	阿南市	53.2%	6	阿波市	10.5	6	板野郡板野町	55.2%
7	小松島市	51.6%	7	名西郡石井町	10.4	7	阿南市	53.8%
8	吉野川市	49.6%	8	名東郡佐那河内村	9.7	8	小松島市	49.3%
9	美馬郡つるぎ町	45.6%	9	徳島市	9.5	9	美馬市	47.8%
10	那賀郡那賀町	44.1%	10	鳴門市	7.4	10	板野郡松茂町	47.8%

※　再生可能エネルギー自給率とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の民生・農林水産用エネルギー需要で割った値です。

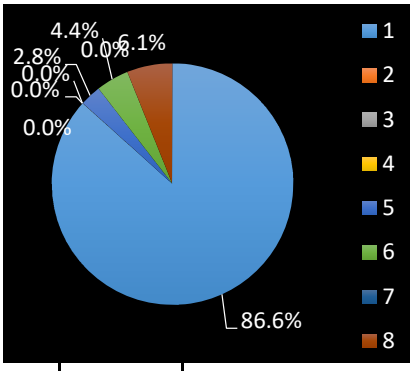
※　再生可能エネルギー供給密度とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の面積で割った値です。

※　食料自給率は、農林水産省が公表している地域食料自給率ソフトを用いてカロリーベースで計算しています。

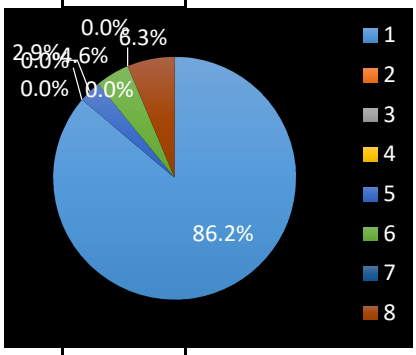
※　自給率が100%を超えている場合には順位に☆がつきます。

香川県

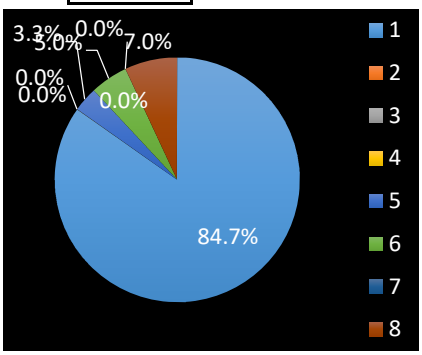
2021年度　14PJ　対前年度比　103.5%



2020年度　13PJ　対前年度比　110.2%



2019年度　12PJ



※ 円グラフの数字は、12時の位置から時計回りにエネルギー種の番号に対応します。

再生可能エネルギー供給状況

2022年3月末の設備状況をもとに2021年度について推計しました。

主たる再生エネ種　供給比率20%以上：◎　同10%以上○

PJ(ペタジュール)＝10^{15}J

	エネルギー種	年間供給量	供給量ランク	再エネ自給率ランク	供給密度ランク	供給比率
◎	1 太陽光発電	12PJ	27	15	6	86.6%
	2 風力発電	0PJ	38	38	38	0.0%
	3 地熱発電	0PJ	13	13	13	0.0%
	4 小水力発電	0PJ	47	47	47	0.0%
	5 バイオマス発電	0PJ	46	46	32	2.8%
	6 太陽熱利用	1PJ	25	5	7	4.4%
	7 地熱利用	0PJ	46	47	46	0.0%
	8.バイオマス熱利用	1PJ	26	13	4	6.1%
	合計（供給量）	14PJ	38			
	再生可能エネルギー自給率			24.6%	再エネ自給率ランク	28
	食料自給率			31.1%	食料自給率ランク	30
	供給密度(TJ/km^2)			7.280	供給密度ランク	11
	民生・農林水産用エネルギー需要（再エネ熱含む）			56PJ		
	区域面積			1,877km2		

再生可能エネルギー自給率・供給密度・食料自給率市区町村別top10

再生可能エネルギー自給率			再生可能エネルギー供給密度			食料自給率		
順位	市区町村	自給率	順位	市区町村	供給密度	順位	市区町村	自給率
☆1	仲多度郡まんのう町	100.2%	1	綾歌郡宇多津町	18.3	☆1	仲多度郡まんのう町	114.1%
2	三豊市	63.4%	2	坂出市	10.7	2	綾歌郡綾川町	87.7%
3	さぬき市	43.2%	3	高松市	10.1	3	香川郡直島町	81.6%
4	綾歌郡綾川町	40.9%	4	三豊市	9.8	4	三豊市	65.3%
5	小豆郡小豆島町	35.9%	5	丸亀市	9.8	5	東かがわ市	61.1%
6	東かがわ市	35.4%	6	仲多度郡多度津町	8.6	6	さぬき市	60.8%
7	木田郡三木町	34.9%	7	観音寺市	8.3	7	観音寺市	58.9%
8	坂出市	32.1%	8	善通寺市	7.9	8	木田郡三木町	51.4%
9	観音寺市	31.2%	9	仲多度郡琴平町	6.9	9	善通寺市	35.3%
10	仲多度郡多度津町	20.6%	10	さぬき市	6.6	10	仲多度郡琴平町	31.6%

※ 再生可能エネルギー自給率とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の民生・農林水産用エネルギー需要で割った値です。

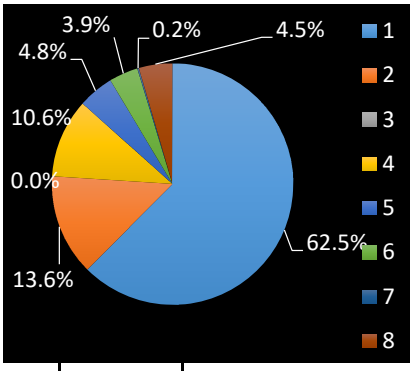
※ 再生可能エネルギー供給密度とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の面積で割った値です。

※ 食料自給率は、農林水産省が公表している地域食料自給率ソフトを用いてカロリーベースで計算しています。

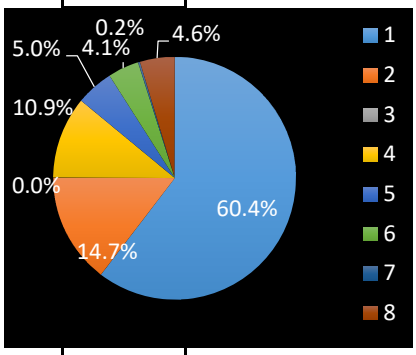
※ 自給率が100%を超えている場合には順位に☆がつきます。

愛媛県

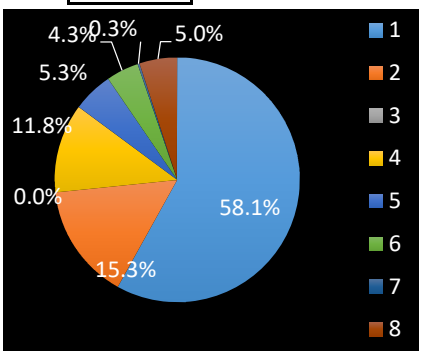
2021年度　20PJ　対前年度比　103.3%



2020年度　19PJ　対前年度比　107.9%



2019年度　18PJ



※　円グラフの数字は、12時の位置から時計回りにエネルギー種の番号に対応します。

再生可能エネルギー供給状況

2022年3月末の設備状況をもとに2021年度について推計しました。

主たる再生エネ種　供給比率20%以上：◎　同10%以上○

PJ(ペタジュール)＝10^{15}J

	エネルギー種	年間供給量	供給量ランク	再エネ自給率ランク	供給密度ランク	供給比率
◎	1 太陽光発電	12PJ	24	22	29	62.5%
○	2 風力発電	3PJ	10	10	7	13.6%
	3 地熱発電	0PJ	13	13	13	0.0%
○	4 小水力発電	2PJ	24	23	23	10.6%
	5 バイオマス発電	1PJ	38	35	40	4.8%
	6 太陽熱利用	1PJ	19	6	14	3.9%
	7 地熱利用	0PJ	37	31	39	0.2%
	8.バイオマス熱利用	1PJ	23	17	23	4.5%
	合計（供給量）	20PJ	29			
	再生可能エネルギー自給率			26.8%	再エネ自給率ランク	26
	食料自給率			34.8%	食料自給率ランク	26
	供給密度(TJ/km^2)			3.490	供給密度ランク	28
	民生・農林水産用エネルギー需要（再エネ熱含む）			74PJ		
	区域面積			5,676km2		

再生可能エネルギー自給率・供給密度・食料自給率市区町村別top10

再生可能エネルギー自給率			再生可能エネルギー供給密度			食料自給率		
順位	市区町村	自給率	順位	市区町村	供給密度	順位	市区町村	自給率
☆1	西宇和郡伊方町	278.2%	1	西宇和郡伊方町	15.8	☆1	南宇和郡愛南町	260.4%
☆2	上浮穴郡久万高原町	169.5%	2	伊予郡松前町	14.1	☆2	西予市	113.3%
3	西条市	60.1%	3	松山市	8.6	☆3	西宇和郡伊方町	108.1%
4	南宇和郡愛南町	55.5%	4	新居浜市	8.0	☆4	上浮穴郡久万高原町	107.5%
5	西予市	46.8%	5	西条市	6.7	5	北宇和郡松野町	98.0%
6	北宇和郡松野町	34.4%	6	今治市	5.4	6	宇和島市	93.2%
7	新居浜市	31.8%	7	南宇和郡愛南町	3.0	7	北宇和郡鬼北町	90.7%
8	北宇和郡鬼北町	30.3%	8	宇和島市	2.4	8	八幡浜市	77.8%
9	今治市	28.4%	9	四国中央市	2.2	9	西条市	61.9%
10	宇和島市	26.2%	10	越智郡上島町	2.1	10	伊予郡松前町	52.2%

※　再生可能エネルギー自給率とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の民生・農林水産用エネルギー需要で割った値です。

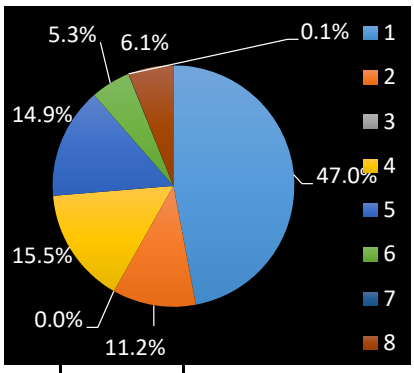
※　再生可能エネルギー供給密度とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の面積で割った値です。

※　食料自給率は、農林水産省が公表している地域食料自給率ソフトを用いてカロリーベースで計算しています。

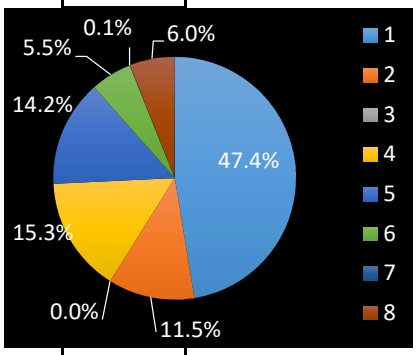
※　自給率が100%を超えている場合には順位に☆がつきます。

高知県

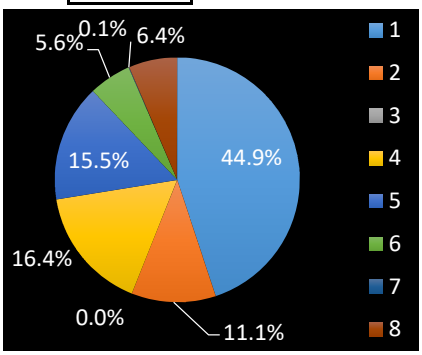
2021年度　14PJ　対前年度比　99.1%



2020年度　14PJ　対前年度比　107.1%



2019年度　13PJ



※ 円グラフの数字は、12時の位置から時計回りにエネルギー種の番号に対応します。

再生可能エネルギー供給状況

2022年3月末の設備状況をもとに2021年度について推計しました。

主たる再生エネ種　供給比率20%以上：◎　同10%以上○

PJ(ペタジュール)＝10^{15}J

	エネルギー種	年間供給量	供給量ランク	再エネ自給率ランク	供給密度ランク	供給比率
◎	1 太陽光発電	7PJ	39	21	39	47.0%
○	2 風力発電	2PJ	17	8	18	11.2%
	3 地熱発電	0PJ	13	13	13	0.0%
○	4 小水力発電	2PJ	23	10	26	15.5%
○	5 バイオマス発電	2PJ	20	2	24	14.9%
	6 太陽熱利用	1PJ	21	2	24	5.3%
	7 地熱利用	0PJ	45	40	45	0.1%
	8.バイオマス熱利用	1PJ	24	4	29	6.1%
	合計（供給量）	14PJ	37			
	再生可能エネルギー自給率			37.7%	再エネ自給率ランク	13
	食料自給率			40.4%	食料自給率ランク	23
	供給密度(TJ/km^2)			1.966	供給密度ランク	41
	民生・農林水産用エネルギー需要（再エネ熱含む）			37PJ		
	区域面積			7,104km2		

再生可能エネルギー自給率・供給密度・食料自給率市区町村別top10

再生可能エネルギー自給率			再生可能エネルギー供給密度			食料自給率		
順位	市区町村	自給率	順位	市区町村	供給密度	順位	市区町村	自給率
☆1	幡多郡大月町	295.4%	1	高知市	11.9	☆1	幡多郡大月町	255.0%
☆2	吾川郡仁淀川町	268.6%	2	幡多郡大月町	10.4	☆2	幡多郡三原村	209.1%
☆3	長岡郡大豊町	266.2%	3	土佐市	4.9	☆3	高岡郡四万十町	160.2%
☆4	高岡郡檮原町	178.7%	4	南国市	4.8	☆4	安芸郡北川村	137.8%
☆5	高岡郡津野町	138.0%	5	安芸郡芸西村	3.9	☆5	幡多郡黒潮町	137.0%
☆6	香美市	112.5%	6	高岡郡佐川町	3.8	☆6	土佐郡土佐町	135.0%
7	高岡郡佐川町	80.2%	7	安芸郡田野町	3.1	☆7	安芸郡東洋町	117.4%
8	宿毛市	70.8%	8	高岡郡日高村	2.8	☆8	安芸郡安田町	115.1%
9	室戸市	68.7%	9	安芸郡奈半利町	2.8	☆9	高岡郡中土佐町	102.2%
10	安芸郡芸西村	60.3%	10	香美市	2.7	10	宿毛市	97.1%

※ 再生可能エネルギー自給率とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の民生・農林水産用エネルギー需要で割った値です。

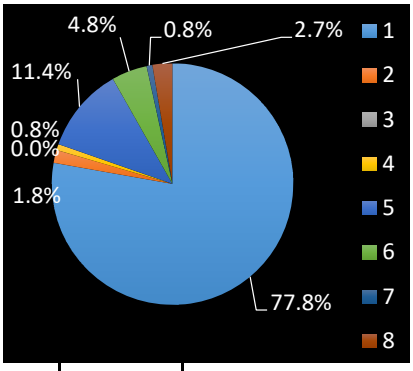
※ 再生可能エネルギー供給密度とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の面積で割った値です。

※ 食料自給率は、農林水産省が公表している地域食料自給率ソフトを用いてカロリーベースで計算しています。

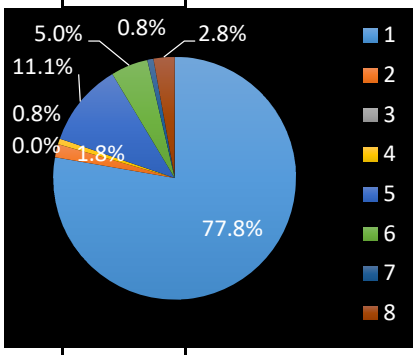
※ 自給率が100%を超えている場合には順位に☆がつきます。

福岡県

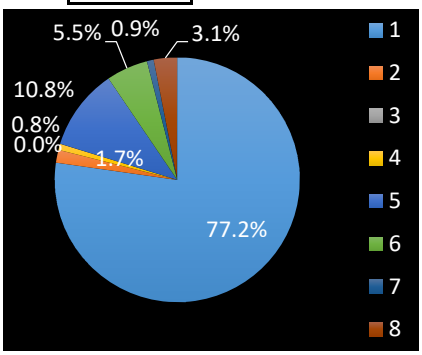
2021年度　40PJ　対前年度比　104.5%



2020年度　38PJ　対前年度比　110.4%



2019年度　34PJ



※ 円グラフの数字は、12時の位置から時計回りにエネルギー種の番号に対応します。

再生可能エネルギー供給状況

2022年3月末の設備状況をもとに2021年度について推計しました。

主たる再生エネ種　供給比率20%以上：◎　同10%以上○

PJ(ペタジュール)＝10^{15}J

	エネルギー種	年間供給量	供給量ランク	再エネ自給率ランク	供給密度ランク	供給比率
◎	1 太陽光発電	31PJ	9	30	7	77.8%
	2 風力発電	1PJ	25	28	24	1.8%
	3 地熱発電	0PJ	13	13	13	0.0%
	4 小水力発電	0PJ	41	42	41	0.8%
○	5 バイオマス発電	5PJ	10	26	6	11.4%
	6 太陽熱利用	2PJ	2	19	6	4.8%
	7 地熱利用	0PJ	20	27	19	0.8%
	8.バイオマス熱利用	1PJ	20	37	16	2.7%
	合計（供給量）	40PJ	13			
	再生可能エネルギー自給率			15.5%	再エネ自給率ランク	37
	食料自給率			18.2%	食料自給率ランク	37
	供給密度(TJ/km^2)			7.753	供給密度ランク	8
	民生・農林水産用エネルギー需要（再エネ熱含む）			257PJ		
	区域面積			5,127km2		

再生可能エネルギー自給率・供給密度・食料自給率市区町村別top10

再生可能エネルギー自給率			再生可能エネルギー供給密度			食料自給率		
順位	市区町村	自給率	順位	市区町村	供給密度	順位	市区町村	自給率
☆1	田川郡川崎町	126.0%	1	春日市	52.5	☆1	築上郡上毛町	182.4%
☆2	田川郡赤村	123.3%	2	田川郡川崎町	23.5	☆2	みやま市	154.4%
☆3	築上郡上毛町	121.6%	3	田川郡糸田町	18.5	☆3	朝倉郡筑前町	133.6%
☆4	京都郡みやこ町	108.1%	4	大牟田市	18.1	☆4	柳川市	129.8%
☆5	嘉麻市	103.6%	5	鞍手郡小竹町	17.4	☆5	三潴郡大木町	125.6%
6	宮若市	90.6%	6	糟屋郡志免町	14.7	☆6	田川郡赤村	124.4%
7	鞍手郡小竹町	84.7%	7	筑後市	14.0	☆7	京都郡みやこ町	121.4%
8	田川郡大任町	83.5%	8	嘉穂郡桂川町	13.5	☆8	築上郡築上町	120.6%
9	みやま市	63.8%	9	糟屋郡粕屋町	13.3	☆9	朝倉市	108.8%
10	嘉穂郡桂川町	61.4%	10	北九州市	13.2	☆10	三井郡大刀洗町	103.4%

※ 再生可能エネルギー自給率とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の民生・農林水産用エネルギー需要で割った値です。

※ 再生可能エネルギー供給密度とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の面積で割った値です。

※ 食料自給率は、農林水産省が公表している地域食料自給率ソフトを用いてカロリーベースで計算しています。

※ 自給率が100%を超えている場合には順位に☆がつきます。

佐賀県

再生可能エネルギー供給状況

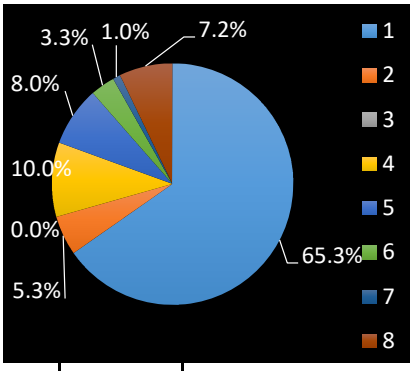
2022年3月末の設備状況をもとに2021年度について推計しました。

主たる再生エネ種　供給比率20%以上：◎　同10%以上○

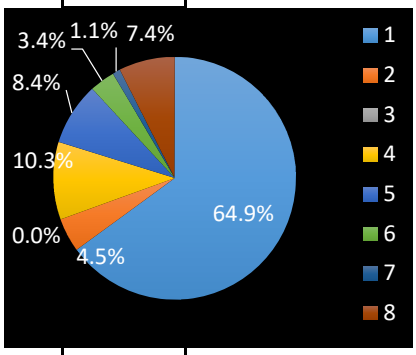
PJ(ペタジュール)＝10^{15}J

	エネルギー種	年間供給量	供給量ランク	再エネ自給率ランク	供給密度ランク	供給比率
◎	1 太陽光発電	9PJ	34	20	15	65.3%
	2 風力発電	1PJ	23	19	11	5.3%
	3 地熱発電	0PJ	13	13	13	0.0%
	4 小水力発電	1PJ	31	24	13	10.0%
	5 バイオマス発電	1PJ	36	17	13	8.0%
	6 太陽熱利用	0PJ	28	10	10	3.3%
	7 地熱利用	0PJ	30	23	20	1.0%
	8.バイオマス熱利用	1PJ	21	6	6	7.2%
	合計（供給量）	14PJ	36			
	再生可能エネルギー自給率			27.5%	再エネ自給率ランク	24
	食料自給率			89.5%	食料自給率ランク	7
	供給密度(TJ/km^2)			5.872	供給密度ランク	15
	民生・農林水産用エネルギー需要（再エネ熱含む）			52PJ		
	区域面積			2,441km2		

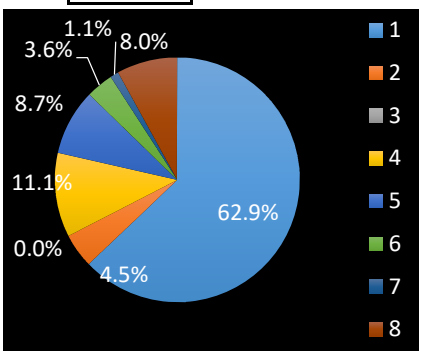
2021年度　14PJ　対前年度比　103.7%



2020年度　14PJ　対前年度比　107.5%



2019年度　13PJ



※　円グラフの数字は、12時の位置から時計回りにエネルギー種の番号に対応します。

再生可能エネルギー自給率・供給密度・食料自給率市区町村別top10

再生可能エネルギー自給率			再生可能エネルギー供給密度			食料自給率		
順位	市区町村	自給率	順位	市区町村	供給密度	順位	市区町村	自給率
1	伊万里市	57.6%	1	三養基郡上峰町	14.9	☆1	杵島郡白石町	446.9%
2	藤津郡太良町	46.3%	2	杵島郡大町町	10.9	☆2	神埼市	186.9%
3	多久市	45.7%	3	鳥栖市	8.8	☆3	杵島郡江北町	172.6%
4	神埼市	45.6%	4	伊万里市	8.2	☆4	藤津郡太良町	165.8%
5	東松浦郡玄海町	43.8%	5	佐賀市	8.1	☆5	小城市	155.6%
6	嬉野市	40.4%	6	三養基郡みやき町	7.2	☆6	東松浦郡玄海町	139.7%
7	三養基郡上峰町	37.3%	7	三養基郡基山町	6.3	☆7	三養基郡みやき町	130.5%
8	唐津市	35.9%	8	神埼市	6.2	☆8	鹿島市	111.2%
9	杵島郡大町町	35.1%	9	唐津市	5.3	9	三養基郡上峰町	89.7%
10	武雄市	32.7%	10	嬉野市	5.1	10	佐賀市	88.4%

※　再生可能エネルギー自給率とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の民生・農林水産用エネルギー需要で割った値です。

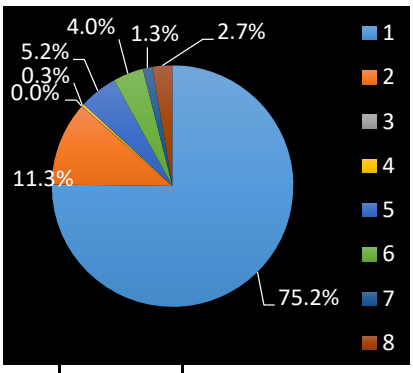
※　再生可能エネルギー供給密度とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の面積で割った値です。

※　食料自給率は、農林水産省が公表している地域食料自給率ソフトを用いてカロリーベースで計算しています。

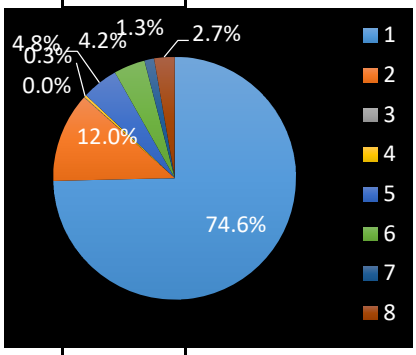
※　自給率が100%を超えている場合には順位に☆がつきます。

長崎県

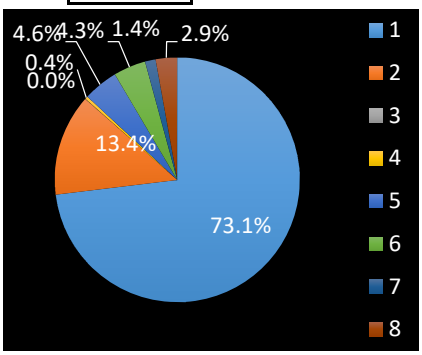
2021年度　16PJ　対前年度比　100.8%



2020年度　16PJ　対前年度比　105.5%



2019年度　15PJ



※　円グラフの数字は、12時の位置から時計回りにエネルギー種の番号に対応します。

再生可能エネルギー供給状況

2022年3月末の設備状況をもとに2021年度について推計しました。

主たる再生エネ種　供給比率20%以上：◎　同10%以上○

PJ(ペタジュール)＝10^{15}J

	エネルギー種	年間供給量	供給量ランク	再エネ自給率ランク	供給密度ランク	供給比率
◎	1 太陽光発電	12PJ	25	24	20	75.2%
○	2 風力発電	2PJ	14	16	8	11.3%
	3 地熱発電	0PJ	10	9	9	0.0%
	4 小水力発電	0PJ	44	43	45	0.3%
	5 バイオマス発電	1PJ	41	38	35	5.2%
	6 太陽熱利用	1PJ	23	12	13	4.0%
	7 地熱利用	0PJ	26	24	23	1.3%
	8.バイオマス熱利用	0PJ	37	31	31	2.7%
	合計（供給量）	16PJ	34			
	再生可能エネルギー自給率			20.5%	再エネ自給率ランク	30
	食料自給率			35.1%	食料自給率ランク	25
	供給密度(TJ/km^2)			3.903	供給密度ランク	23
	民生・農林水産用エネルギー需要（再エネ熱含む）			78PJ		
	区域面積			4,131km2		

再生可能エネルギー自給率・供給密度・食料自給率市区町村別top10

再生可能エネルギー自給率			再生可能エネルギー供給密度			食料自給率		
順位	市区町村	自給率	順位	市区町村	供給密度	順位	市区町村	自給率
1	平戸市	63.7%	1	西彼杵郡時津町	17.3	☆1	平戸市	177.8%
2	東彼杵郡東彼杵町	53.5%	2	大村市	12.2	☆2	南松浦郡新上五島町	168.3%
3	西海市	50.7%	3	北松浦郡佐々町	7.5	☆3	雲仙市	116.2%
4	五島市	45.4%	4	諫早市	6.4	4	北松浦郡小値賀町	82.7%
5	南島原市	41.8%	5	長崎市	6.0	5	壱岐市	81.0%
6	北松浦郡佐々町	37.7%	6	佐世保市	5.9	6	松浦市	76.4%
7	雲仙市	32.4%	7	島原市	5.9	7	南島原市	74.6%
8	松浦市	32.3%	8	南島原市	5.6	8	東彼杵郡東彼杵町	73.2%
9	大村市	30.4%	9	西彼杵郡長与町	5.2	9	五島市	66.4%
10	諫早市	28.3%	10	平戸市	4.9	10	西海市	63.8%

※　再生可能エネルギー自給率とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の民生・農林水産用エネルギー需要で割った値です。

※　再生可能エネルギー供給密度とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の面積で割った値です。
※　食料自給率は、農林水産省が公表している地域食料自給率ソフトを用いてカロリーベースで計算しています。

※　自給率が100%を超えている場合には順位に☆がつきます。

熊本県

再生可能エネルギー供給状況

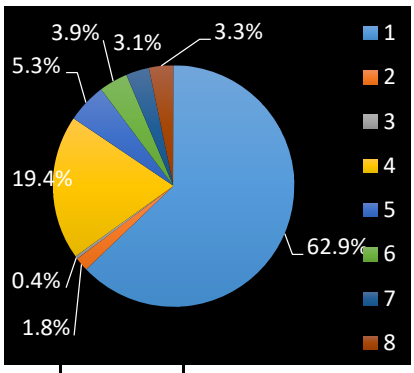
2022年3月末の設備状況をもとに2021年度について推計しました。

主たる再生エネ種　供給比率20%以上：◎　同10%以上○

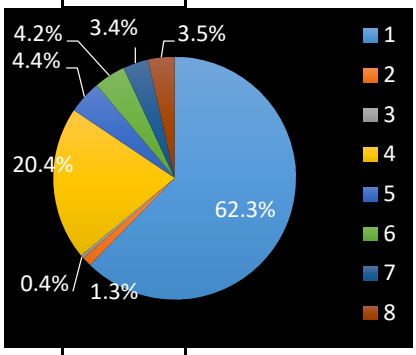
PJ(ペタジュール)＝10^{15}J

	エネルギー種	年間供給量	供給量ランク	再エネ自給率ランク	供給密度ランク	供給比率
◎	1 太陽光発電	23PJ	16	11	19	62.9%
	2 風力発電	1PJ	26	23	27	1.8%
	3 地熱発電	0PJ	7	7	6	0.4%
○	4 小水力発電	7PJ	4	6	5	19.4%
	5 バイオマス発電	2PJ	25	21	28	5.3%
	6 太陽熱利用	1PJ	7	3	8	3.9%
	7 地熱利用	1PJ	7	6	5	3.1%
	8.バイオマス熱利用	1PJ	16	16	21	3.3%
	合計（供給量）	36PJ	16			
	再生可能エネルギー自給率			38.6%	再エネ自給率ランク	11
	食料自給率			52.0%	食料自給率ランク	18
	供給密度(TJ/km^2)			5.115	供給密度ランク	19
	民生・農林水産用エネルギー需要（再エネ熱含む）			94PJ		
	区域面積			7,135km2		

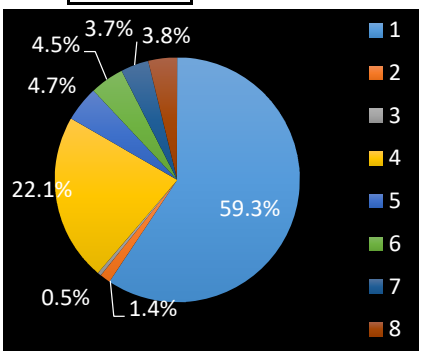
2021年度　36PJ　対前年度比　108.4%



2020年度　34PJ　対前年度比　108.2%



2019年度　31PJ



※　円グラフの数字は、12時の位置から時計回りにエネルギー種の番号に対応します。

再生可能エネルギー自給率・供給密度・食料自給率市区町村別top10

再生可能エネルギー自給率			再生可能エネルギー供給密度			食料自給率		
順位	市区町村	自給率	順位	市区町村	供給密度	順位	市区町村	自給率
☆1	球磨郡水上村	954.9%	1	熊本市	30.4	☆1	阿蘇郡産山村	240.0%
☆2	球磨郡五木村	923.4%	2	荒尾市	30.2	☆2	上益城郡山都町	202.2%
☆3	球磨郡相良村	276.9%	3	菊池郡大津町	24.9	☆3	阿蘇郡南阿蘇村	179.2%
☆4	阿蘇郡小国町	276.0%	4	玉名郡長洲町	17.9	☆4	阿蘇市	177.7%
☆5	上益城郡山都町	209.2%	5	合志市	17.0	☆5	上益城郡嘉島町	162.9%
☆6	玉名郡和水町	177.6%	6	上益城郡益城町	16.7	☆6	球磨郡あさぎり町	148.4%
☆7	菊池郡大津町	140.3%	7	水俣市	12.3	☆7	玉名郡和水町	142.7%
☆8	球磨郡錦町	135.9%	8	菊池市	10.6	☆8	球磨郡多良木町	137.3%
☆9	阿蘇郡西原村	125.0%	9	上益城郡甲佐町	10.4	☆9	玉名郡玉東町	134.9%
☆10	上益城郡甲佐町	122.8%	10	菊池郡菊陽町	9.8	☆10	八代郡氷川町	133.7%

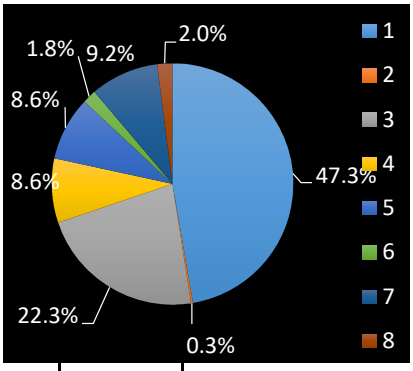
※　再生可能エネルギー自給率とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の民生・農林水産用エネルギー需要で割った値です。

※　再生可能エネルギー供給密度とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の面積で割った値です。
※　食料自給率は、農林水産省が公表している地域食料自給率ソフトを用いてカロリーベースで計算しています。

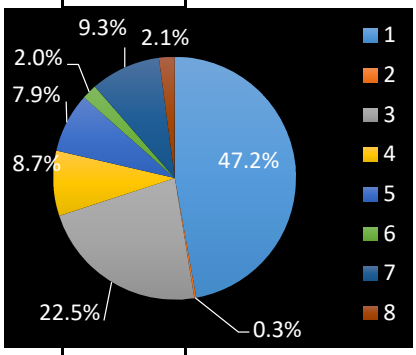
※　自給率が100%を超えている場合には順位に☆がつきます。

大分県

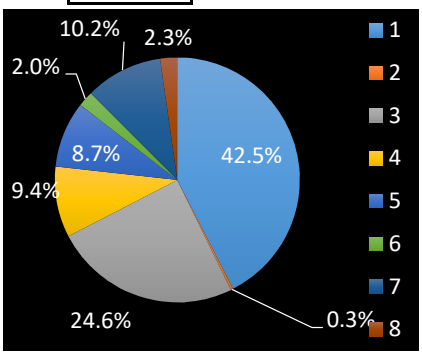
2021年度　38PJ　対前年度比　101.9%



2020年度　37PJ　対前年度比　109.4%



2019年度　34PJ



※ 円グラフの数字は、12時の位置から時計回りにエネルギー種の番号に対応します。

再生可能エネルギー供給状況

2022年3月末の設備状況をもとに2021年度について推計しました。

主たる再生エネ種　供給比率20%以上：◎　同10%以上〇

PJ(ペタジュール)＝10^{15}J

	エネルギー種	年間供給量	供給量ランク	再エネ自給率ランク	供給密度ランク	供給比率
◎	1 太陽光発電	18PJ	21	13	22	47.3%
	2 風力発電	0PJ	32	32	33	0.3%
◎	3 地熱発電	8PJ	1	1	1	22.3%
	4 小水力発電	3PJ	16	15	14	8.6%
	5 バイオマス発電	3PJ	14	3	11	8.6%
	6 太陽熱利用	1PJ	22	9	22	1.8%
	7 地熱利用	3PJ	1	1	1	9.2%
	8.バイオマス熱利用	1PJ	29	20	28	2.0%
	合計（供給量）	38PJ	14			
	再生可能エネルギー自給率			49.6%	再エネ自給率ランク	2
	食料自給率			41.2%	食料自給率ランク	22
	供給密度(TJ/km^2)			5.956	供給密度ランク	14
	民生・農林水産用エネルギー需要（再エネ熱含む）			76PJ		
	区域面積			6,341km2		

再生可能エネルギー自給率・供給密度・食料自給率市区町村別top10

再生可能エネルギー自給率			再生可能エネルギー供給密度			食料自給率		
順位	市区町村	自給率	順位	市区町村	供給密度	順位	市区町村	自給率
☆1	玖珠郡九重町	1157.8%	1	玖珠郡九重町	34.6	☆1	竹田市	214.5%
☆2	速見郡日出町	120.1%	2	別府市	26.5	☆2	宇佐市	150.3%
☆3	豊後大野市	114.7%	3	速見郡日出町	25.2	☆3	玖珠郡九重町	142.9%
4	玖珠郡玖珠町	89.8%	4	大分市	12.3	☆4	豊後大野市	130.5%
5	杵築市	81.6%	5	由布市	7.0	☆5	国東市	120.9%
6	由布市	78.4%	6	杵築市	5.0	6	豊後高田市	99.4%
7	宇佐市	59.8%	7	宇佐市	4.7	7	玖珠郡玖珠町	96.2%
8	日田市	55.7%	8	豊後大野市	4.4	8	杵築市	95.7%
9	豊後高田市	55.2%	9	日田市	3.8	9	由布市	67.0%
10	国東市	49.2%	10	豊後高田市	3.8	10	佐伯市	59.9%

※ 再生可能エネルギー自給率とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の民生・農林水産用エネルギー需要で割った値です。

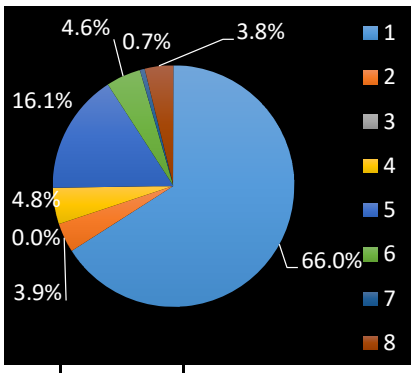
※ 再生可能エネルギー供給密度とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の面積で割った値です。

※ 食料自給率は、農林水産省が公表している地域食料自給率ソフトを用いてカロリーベースで計算しています。

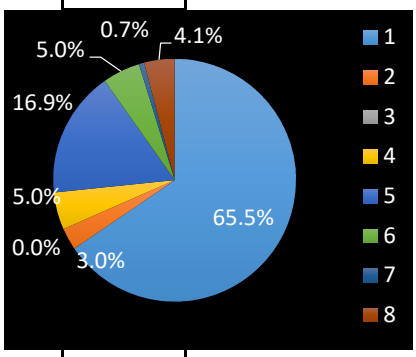
※ 自給率が100%を超えている場合には順位に☆がつきます。

宮崎県

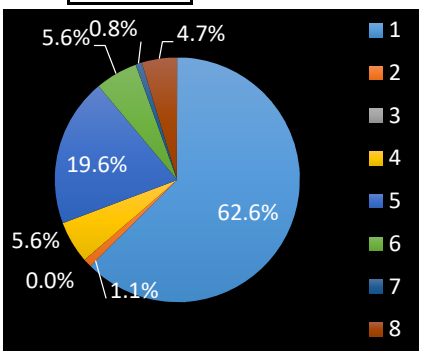
2021年度　31PJ　対前年度比　105.5%



2020年度　29PJ　対前年度比　115.6%



2019年度　25PJ



※ 円グラフの数字は、12時の位置から時計回りにエネルギー種の番号に対応します。

再生可能エネルギー供給状況

2022年3月末の設備状況をもとに2021年度について推計しました。

主たる再生エネ種　供給比率20%以上：◎　同10%以上○

PJ(ペタジュール)＝10^{15}J

	エネルギー種	年間供給量	供給量ランク	再エネ自給率ランク	供給密度ランク	供給比率
◎	1 太陽光発電	20PJ	20	5	26	66.0%
	2 風力発電	1PJ	18	17	23	3.9%
	3 地熱発電	0PJ	13	13	13	0.0%
	4 小水力発電	2PJ	29	25	34	4.8%
○	5 バイオマス発電	5PJ	8	1	9	16.1%
	6 太陽熱利用	1PJ	6	1	11	4.6%
	7 地熱利用	0PJ	27	22	30	0.7%
	8.バイオマス熱利用	1PJ	17	8	24	3.8%
	合計（供給量）	31PJ	21			
	再生可能エネルギー自給率			47.8%	再エネ自給率ランク	5
	食料自給率			53.3%	食料自給率ランク	17
	供給密度(TJ/km^2)			4.004	供給密度ランク	22
	民生・農林水産用エネルギー需要（再エネ熱含む）			65PJ		
	区域面積			7,735km2		

再生可能エネルギー自給率・供給密度・食料自給率市区町村別top10

再生可能エネルギー自給率			再生可能エネルギー供給密度			食料自給率		
順位	市区町村	自給率	順位	市区町村	供給密度	順位	市区町村	自給率
☆1	児湯郡西米良村	508.4%	1	児湯郡川南町	18.2	☆1	えびの市	177.2%
☆2	西臼杵郡五ケ瀬町	235.2%	2	児湯郡高鍋町	12.3	☆2	東臼杵郡美郷町	158.3%
☆3	児湯郡都農町	173.8%	3	東諸県郡国富町	11.5	☆3	児湯郡川南町	150.0%
☆4	児湯郡川南町	166.0%	4	日向市	11.5	☆4	串間市	134.1%
☆5	東諸県郡国富町	161.5%	5	宮崎市	9.8	☆5	西都市	110.6%
☆6	串間市	134.5%	6	児湯郡都農町	8.9	☆6	児湯郡木城町	110.3%
☆7	東臼杵郡門川町	103.3%	7	児湯郡新富町	8.4	7	西臼杵郡五ケ瀬町	94.6%
8	日向市	96.5%	8	都城市	6.4	8	児湯郡都農町	91.2%
9	西臼杵郡日之影町	91.9%	9	東臼杵郡門川町	6.4	9	西諸県郡高原町	91.0%
10	日南市	87.7%	10	日南市	5.0	10	児湯郡新富町	90.3%

※ 再生可能エネルギー自給率とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の民生・農林水産用エネルギー需要で割った値です。

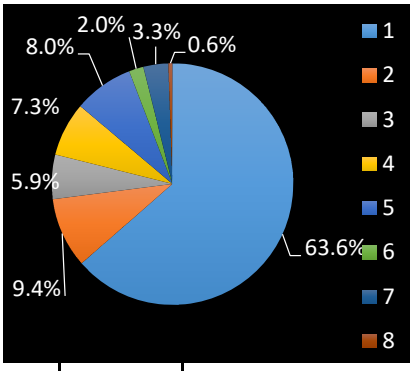
※ 再生可能エネルギー供給密度とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の面積で割った値です。

※ 食料自給率は、農林水産省が公表している地域食料自給率ソフトを用いてカロリーベースで計算しています。

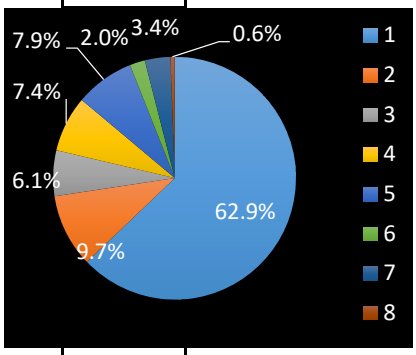
※ 自給率が100%を超えている場合には順位に☆がつきます。

鹿児島県

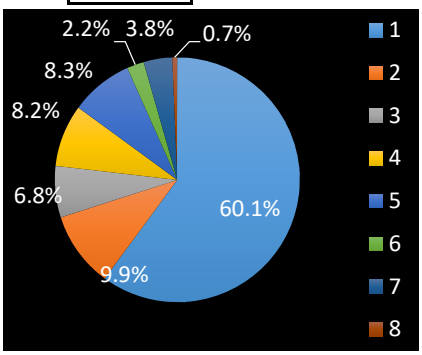
2021年度　47PJ　対前年度比　102.4%



2020年度　46PJ　対前年度比　111.3%



2019年度　42PJ



※ 円グラフの数字は、12時の位置から時計回りにエネルギー種の番号に対応します。

再生可能エネルギー供給状況

2022年3月末の設備状況をもとに2021年度について推計しました。

主たる再生エネ種　供給比率20%以上：◎　同10%以上○

PJ(ペタジュール)＝10^{15}J

	エネルギー種	年間供給量	供給量ランク	再エネ自給率ランク	供給密度ランク	供給比率
◎	1 太陽光発電	30PJ	12	7	18	63.6%
	2 風力発電	4PJ	4	6	6	9.4%
	3 地熱発電	3PJ	4	4	3	5.9%
	4 小水力発電	3PJ	14	17	21	7.3%
	5 バイオマス発電	4PJ	11	6	15	8.0%
	6 太陽熱利用	1PJ	12	7	26	2.0%
	7 地熱利用	2PJ	5	4	4	3.3%
	8.バイオマス熱利用	0PJ	42	39	43	0.6%
	合計（供給量）	47PJ	7			
	再生可能エネルギー自給率			49.0%	再エネ自給率ランク	4
	食料自給率			71.2%	食料自給率ランク	9
	供給密度(TJ/km^2)			5.149	供給密度ランク	18
	民生・農林水産用エネルギー需要（再エネ熱含む）			97PJ		
	区域面積			9,187km2		

再生可能エネルギー自給率・供給密度・食料自給率市区町村別top10

再生可能エネルギー自給率			再生可能エネルギー供給密度			食料自給率		
順位	市区町村	自給率	順位	市区町村	供給密度	順位	市区町村	自給率
☆1	姶良郡湧水町	232.6%	1	指宿市	17.5	☆1	熊毛郡中種子町	801.6%
☆2	肝属郡南大隅町	192.4%	2	曽於郡大崎町	17.2	☆2	大島郡天城町	614.5%
☆3	曽於郡大崎町	174.6%	3	霧島市	12.1	☆3	大島郡喜界町	593.4%
☆4	出水郡長島町	160.5%	4	枕崎市	11.5	☆4	大島郡伊仙町	551.8%
☆5	南九州市	130.9%	5	鹿児島市	9.6	☆5	大島郡知名町	478.8%
☆6	肝属郡肝付町	126.5%	6	姶良郡湧水町	9.3	☆6	大島郡和泊町	477.8%
☆7	南さつま市	118.2%	7	出水郡長島町	8.8	☆7	出水郡長島町	392.0%
☆8	霧島市	100.7%	8	南九州市	8.0	☆8	熊毛郡南種子町	354.2%
9	薩摩郡さつま町	94.1%	9	鹿屋市	7.7	☆9	大島郡徳之島町	294.6%
10	指宿市	89.9%	10	南さつま市	7.6	☆10	曽於郡大崎町	291.7%

※ 再生可能エネルギー自給率とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の民生・農林水産用エネルギー需要で割った値です。

※ 再生可能エネルギー供給密度とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の面積で割った値です。

※ 食料自給率は、農林水産省が公表している地域食料自給率ソフトを用いてカロリーベースで計算しています。

※ 自給率が100%を超えている場合には順位に☆がつきます。

沖縄県

再生可能エネルギー供給状況

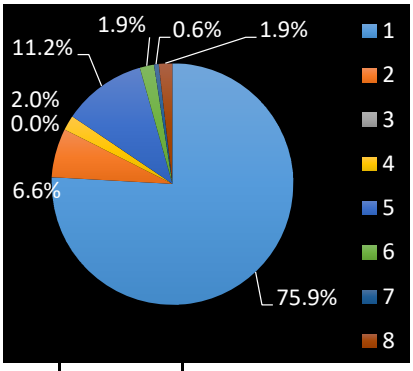
2022年3月末の設備状況をもとに2021年度について推計しました。

主たる再生エネ種　供給比率20%以上：◎　同10%以上○

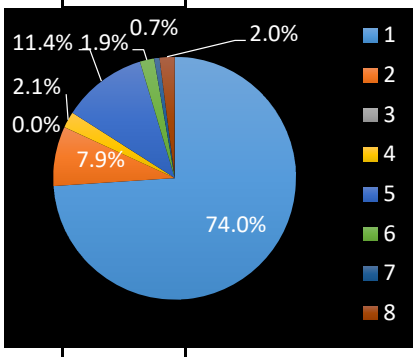
PJ(ペタジュール)＝10^{15}J

	エネルギー種	年間供給量	供給量ランク	再エネ自給率ランク	供給密度ランク	供給比率
◎	1 太陽光発電	5PJ	40	38	30	75.9%
	2 風力発電	0PJ	28	24	21	6.6%
	3 地熱発電	0PJ	13	13	13	0.0%
	4 小水力発電	0PJ	43	41	42	2.0%
○	5 バイオマス発電	1PJ	42	44	21	11.2%
	6 太陽熱利用	0PJ	42	39	35	1.9%
	7 地熱利用	0PJ	39	34	33	0.6%
	8.バイオマス熱利用	0PJ	44	43	39	1.9%
	合計（供給量）	7PJ	47			
	再生可能エネルギー自給率			8.9%	再エネ自給率ランク	43
	食料自給率			32.3%	食料自給率ランク	29
	供給密度(TJ/km^2)			2.865	供給密度ランク	37
	民生・農林水産用エネルギー需要（再エネ熱含む）			74PJ		
	区域面積			2,281km2		

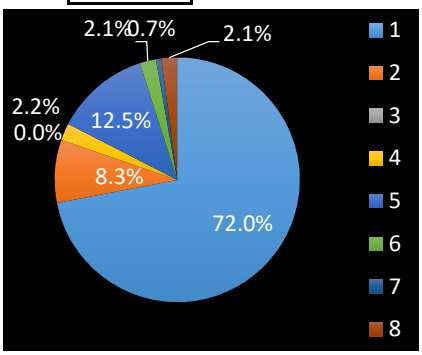
2021年度　7PJ　対前年度比　106.9%



2020年度　6PJ　対前年度比　105.1%



2019年度　6PJ



※　円グラフの数字は、12時の位置から時計回りにエネルギー種の番号に対応します。

再生可能エネルギー自給率・供給密度・食料自給率市区町村別top10

再生可能エネルギー自給率			再生可能エネルギー供給密度			食料自給率		
順位	市区町村	自給率	順位	市区町村	供給密度	順位	市区町村	自給率
☆1	国頭郡東村	135.5%	1	島尻郡南風原町	47.1	☆1	島尻郡南大東村	3336.1%
2	国頭郡大宜味村	80.2%	2	沖縄市	13.0	☆2	島尻郡北大東村	2050.1%
3	国頭郡伊江村	65.5%	3	宜野湾市	11.9	☆3	宮古郡多良間村	1589.4%
4	国頭郡今帰仁村	54.6%	4	糸満市	9.2	☆4	島尻郡伊是名村	1110.5%
5	国頭郡宜野座村	39.0%	5	うるま市	9.0	☆5	八重山郡竹富町	450.7%
6	宮古郡多良間村	33.8%	6	浦添市	8.7	☆6	島尻郡久米島町	411.3%
7	八重山郡与那国町	31.6%	7	豊見城市	8.2	☆7	宮古島市	323.8%
8	国頭郡本部町	30.4%	8	島尻郡与那原町	7.5	☆8	島尻郡伊平屋村	287.1%
9	国頭郡国頭村	27.8%	9	那覇市	7.2	☆9	八重山郡与那国町	195.7%
10	島尻郡南風原町	26.5%	10	島尻郡八重瀬町	6.5	☆10	島尻郡粟国村	121.3%

※　再生可能エネルギー自給率とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の民生・農林水産用エネルギー需要で割った値です。

※　再生可能エネルギー供給密度とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の面積で割った値です。

※　食料自給率は、農林水産省が公表している地域食料自給率ソフトを用いてカロリーベースで計算しています。

※　自給率が100%を超えている場合には順位に☆がつきます。